

明治二十年十一月

元老院會議筆記

第五百五十九号

記録課





1638

元老院會議筆記

○第五百五十九號議案制町村 禁傍聽

○明治二十年十一月二十二日 第一讀會

議長 東久世 通昭

出席議員

司 法 省 文 庫

和 部 門  
三 部 門  
四 部 門  
四 部 門  
五 部 門

門 部 號 函 架 冊

四番  
六番  
八番  
九番  
十番  
十三番  
十四番  
十五番  
十七番  
二十二番  
二十三番

石井 忠亮  
宮本 小一  
楠本 正隆  
榎村 正直  
大給 恒  
伊集院兼寬  
渡邊 清  
大久保一翁  
壬生 基修  
中村 正直  
久我 通久

二十四番  
二十五番  
二十六番  
二十七番  
二十八番  
三十一番  
三十三番  
三十四番  
三十五番  
三十七番  
四十番

大迫 貞清  
中島 錫園  
河田 景直  
尾崎 三官  
原田 一道  
長谷部辰連  
津田 出  
小畑 美稻  
津田 真道  
山口 尙芳  
綿貫 吉直

司法省文庫  
第 5242 號

XB100  
G 1  
1 2

第五五九號

町村制



四十一番	長岡 護美	五十六番	林 友幸
四十三番	田邊 太一	五十七番	神山 郡廉
四十四番	坂本 政均	五十八番	鍋島 直彬
四十五番	時任 爲基	五十九番	長松 幹
四十八番	鳥尾小彌太	六十番	伊丹 重賢
四十九番	神田 孝平	六十一番	楫取 素彦
五十番	三浦 安	六十三番	渡邊 驥
五十一番	井田 讓	六十八番	岡内 重俊
五十二番	由利 公正	六十九番	上杉 茂憲
五十四番	加藤 弘之	七十一番	何 禮之

内閣委員	法制局參事官	曾禰 荒助
番外一番	法制局參事官	水野 遵
番外二番	内務書記官	白根 專一
番外三番	内務大臣秘書官	大森 鐘一
番外四番	内務省參事官	荒川 邦藏
番外五番		

午前第十時開場  
 議長 第五百五十九號議案第一讀會ヲ開ク本案ハ頗ル浩瀚ナルヲ以テ便宜ノ爲メ通談

文及ヒ目錄ノミヲ朗讀セシム  
 書記官 西山 朗讀  
 眞平

町村制  
 右其院議定ニ付ス  
 明治二十年十一月十六日

元老院議長伯爵大木喬任殿  
 内閣總理大臣伯爵伊藤博文

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其區域

第二款 町村屬民及其權利義務

第三款 町村條例

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織選任



第二款 町村吏員ノ職務權限

第三款 給料及退隱料

第四章 町村有財産ノ管理

第一款 町村有財産及町村稅

第二款 町村ノ歳入出豫算及決算

第五章 町村内各部落ノ行政

第六章 町村組合

第七章 町村行政ノ監督

第八章 附則

左案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ此ニ載録ス

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其區域

第一條 此法律ハ東京京都大坂及市制ヲ施行スル地ヲ除キ總テ町村ニ施行スルモノトス

第二條 町村ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡町村公共ノ事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス

第三條 凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但將來其變更ヲ要スルコトアルト

キハ此法律ニ準據ス可シ

第四條 町村ノ廢置分合ヲ要スルトキハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議決シ內務大臣ノ許可ヲ受ク可シ

町村境界ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル町村會及地主ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ議決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ヲ變更スルモノハ府縣參事會之ヲ議決ス

町村ノ資力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘス又ハ其他總テ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ハラヌ町村ヲ合併シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアル可シ

本條ノ處分ニ付其町村ノ財産處分ヲ要スルトキハ併セテ之ヲ議決ス可シ

第五條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ郡參事會之ヲ裁決ス其數郡ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二款 町村屬民及其權利義務

第六條 凡町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其町村屬民トス

凡町村屬民タル者ハ此法律ニ從ヒ公同ノ營造物并町村財産ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但民法上特別ノ權利及義務アル者ハ此限ニ在ラス

第七條 凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)町村ノ屬民トナリ(二)其町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)其町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二



圓以上ヲ納ムル者ハ其町村住民トス其公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムルニケ年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

此法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサル者ヲ云フ

第八條 凡町村住民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ヲ擔任スルノ權利アリ又其名譽職ヲ擔任スルハ町村住民ノ義務ナリトス

左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
  - 二 營業ノ爲メニ常ニ其町村内ニ居ルコトヲ得サル者
  - 三 年齡滿六十歲以上ノ者
  - 四 官職ノ爲メニ町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
  - 五 四年間無給ニシテ町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間無給ニシテ町村議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者
  - 六 其他町村會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者
- 前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セス又ハ其職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ町村會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其町村住民タルノ權ヲ停止シ且同年期間其負擔ス可キ町村費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得

分一ヲ増課スルコトヲ得

前項町村會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九條 町村住民タル者第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其住民タルノ權ヲ失フモノトス

町村住民タル者身代限處分中又ハ公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重輕罪ノ爲メ裁判上ノ訊問若クハ勾留中又ハ租稅滯納處分ヲ受ケテ猶之ヲ完納セサル間ハ其住民タルノ權ヲ停止ス

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス  
町村住民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニ在ル者本條ノ場合ニ當ルトキハ其職務ヲ解ク可キモノトス

第三款 町村條例

第十條 町村ノ事務及町村屬民ノ權利義務ニ關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設クルコトヲ許セル事項ハ各町村ニ於テ特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得

町村ニ於テハ其町村ノ設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設クルコトヲ得  
町村條例及規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス且之ヲ發行スルトキハ地方慣行ノ公告式ニ依ル可シ



圓以上ヲ納ムル者ハ其町村住民トス其公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムルニケ年ノ制限ヲ特免

第一讀會 明治二十年十一月二十二日

### 第二章 町村會

#### 第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其町村ノ選舉人其被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員ハ其町村ノ人口ニ準シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム但町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

- 一 人口千五百未滿ノ町村ニ於テハ 議員八人
- 一 人口千五百以上五千未滿ノ町村ニ於テハ 議員十二人
- 一 人口五千以上壹萬未滿ノ町村ニ於テハ 議員十八人
- 一 人口壹萬以上貳萬未滿ノ町村ニ於テハ 議員廿四人
- 一 人口貳萬以上ノ町村ニ於テハ 議員三十人

第十二條 町村住民(第七條)ハ總テ選舉權ヲ有ス但其住民權ヲ停止セラル、者(第八條第三項第九條第二項)及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

凡內國人ニシテ公權ヲ有シ直接町村稅ヲ納ムル者其額町村住民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラスト雖モ選舉權ヲ有ス但住民權ヲ停止セラル、者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

第十三條 選舉人ハ分テ二級ト爲ス

選舉人中直接町村稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル額ハ、半ニ當ル可

キ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トス

一級二級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ其町村内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年齡ヲ以テ年齡ニモ依リ難キトキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定ム可シ選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ選舉セラル、コトヲ得

第十四條 特別ノ事情アリテ前條ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選舉ノ特例ヲ設クルコトヲ得

第十五條 選舉權ヲ有スル町村住民(第十二條第一項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス左ニ掲グル者ハ町村會議員タルコトヲ得ス

- 一 所屬府縣郡ノ官吏
- 二 有給ノ現職町村吏員
- 三 檢事及警察官吏
- 四 神官僧侶及其他諸宗教師
- 五 小學教員

其他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ  
代官ノ免許ヲ得スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ハ議員ニ選舉セラル、コトヲ得ス



父子兄弟タルノ縁故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後任者議員タルコトヲ得ス

町村長若クハ助役トノ間父子兄弟タルノ縁故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間ニ其縁故アル者町村長若クハ助役ニ選舉セラレ認可ヲ受クルトキハ其縁故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ

第十六條 議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス初回ニ於テ解任ス可キ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム  
退任ノ議員ハ再ヒ選舉セララルコトヲ得

第十七條 議員中議員アルトキハ毎三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フ可シ若シ定員三分ノ一以上議員アルトキ又ハ町村會議員若クハ郡長ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖モ其補闕選舉ヲ行フ可シ  
補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選舉トモ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級ニ從テ之カ選舉ヲ行フ可シ

第十八條 町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其選舉前六十日ヲ限リ選舉原簿ヲ製シ各選舉人ノ資格ヲ記載シ此原簿ニ據リテ選舉人名簿ヲ製ス可シ  
選舉人名簿ハ七日間町村役場ニ於テ之ヲ關係者ノ縦覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ

訴願セントスルコトアルトキハ同期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ其裁決(第三十七條第一項)ニ依リ名簿ヲ修正ス可キトキハ町村長ハ選舉前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿トナシ之ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ無效トナリタル場合ニ於テ更ニ選舉ヲ爲ストキモ亦之ヲ適用ス

第十九條 選舉ヲ執行スルトキハ町村長ハ選舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數ヲ各級ニ分チ選舉前七日ヲ限リテ之ヲ公告ス可シ

各級ニ於テ選舉ヲ行フノ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フ可シ  
第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其代理者ハ其掛長トナリ選舉會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス

第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ掛長ニ差出ス可シ但選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入ス可シ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ス



第二十三條 投票ニ記載ノ人員其選舉ス可キ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其投票ヲ無效トセス其定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可シ  
左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ
  - 二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
  - 三 被選舉權ナキ人名ヲ記載スルモノ
  - 四 被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ
- 投票ノ受理并效力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ專決ス

第二十四條 選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フ可シ他人ニ託シテ投票ヲ差出スコトヲ許サス

第十二條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得若シ其獨立ノ男子ニ非サル者又ハ會社其他法人ニ係ルトキハ必ス代人ヲ以テス可シ其代人ハ內國人ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シテ代理ノ證トス可シ

第二十五條 町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ町村會ノ議決ニ依リ區畫ヲ定メテ選舉分會ヲ設クルコトヲ得但特ニ二級選舉人ノミ此分會ヲ設クルモ妨ケナシ

分會ノ選舉掛ハ町村長ノ選任シタル代理者ヲ以テ其長トシ第二十條ノ例ニ依リ掛員二名若クハ四名ヲ選任ス

選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

選舉分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開ク可シ其他選舉ノ手續會場ノ取締等總テ本會ノ例ニ依ル

第二十六條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ(第十七條)投票數ノ最多キ者ヲ以テ殘任期ノ最長キ前任者ノ補闕ト爲シ其數相同キトキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ム

第二十七條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名ス可シ

投票ハ之ヲ選舉錄ニ附屬シ選舉ヲ結了スルニ至ル迄之ヲ保存ス可シ

第二十八條 選舉ヲ終リタル後選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セントスル者ハ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ

一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内何レノ選舉ニ應ス可キコトヲ申立ツ可シ其期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其選舉ヲ辭スル者トナシ第八條ノ處分ヲ爲ス可シ



第二十九條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得(第二十七條第一項)

町村長ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ郡長ニ報告シ郡長ハ選舉ノ效力ニ關スル異議アリテ重要ノ理由アリト認ムルニ於テハ訴願ノ有無ニ拘ラス郡參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得

選舉ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又被選舉人中法律上ノ資格ヲ有セサル者アルトキハ其合格セサル被選舉人ノ當選ヲ取消シ更ニ其選舉ヲ行ハシム可シ

第三十條 當選者其資格ノ要件ヲ有セサルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フトキハ其人ノ選舉ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ町村會之ヲ議決ス

第三十一條 小町村ニ於テハ郡參事會ノ議決ヲ經町村條例ノ規定ニ依リ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有スル町村住民ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二款 職務權限及處務規程

第三十二條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事務并ニ從前特ニ委任セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ委任セララル、事務ヲ協議議決スルモノトス

第三十三條 町村會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 町村條例及規則ヲ設ケ并改正スル事(第十條)
- 二 町村費ヲ以テ支辨ス可キ事業但第六十八條ニ掲グル事務ハ此限ニ在ラス

三 歲入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事

四 決算報告ヲ認定スル事

五 法律ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、町村稅及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事

六 町村有不動産ノ賣買交換讓受讓渡并質入書入ヲ爲ス事

七 基本財産ノ處分ニ關スル事(第八十條)

八 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

九 町村有ノ財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

十 町村吏員ノ身元保證金ヲ徵シ并其金額ヲ定ムル事

十一 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第三十四條 町村會ハ法律ニ依リ其職權ニ屬スル町村吏員ノ選舉ヲ行フ可シ

第三十五條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ施行并收入支出ノ正否ヲ監査スルノ職權ヲ有ス

町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ差出スコトヲ得

第三十六條 町村會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス可シ

第三十七條 町村屬民及住民タル權利ノ有無、選舉權及被選舉權ノ有無、選舉人名簿ノ正否并其等級ノ當否、代理ヲ以テ執行スル選舉權(第十二條第二項)及町村會議員選



舉ノ效力(第二十九條)ニ關スル訴願ハ町村會之ヲ裁決ス

前項ノ訴願中町村屬民及住民タル權利ノ有無并選舉權ノ有無ニ關スルモノハ町村會ノ設ケナキ町村ニ於テハ町村長之ヲ裁決ス

町村會若クハ町村長ノ裁決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ事件ニ付テハ町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得

其訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得ス但確定判決アルニ非サレハ更ニ選舉ヲ爲スコトヲ得ス

第三十八條 凡議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受ク可キモノニ非ス

第三十九條 町村會ハ町村長ヲ以テ其議長トス若シ町村長故障アルトキハ其代理タル町村助役ヲ以テ之ニ充ツ

第四十條 會議ノ事件議長及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事アルトキハ議長ニ故障アルモノトシテ其代理者之ニ代ル可シ

議長代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ議長ト爲スコトヲ得

第四十一條 町村長及助役ハ會議ニ列席シテ議事ヲ辨明スルコトヲ得

第四十二條 町村會ハ會議ノ必要アル毎ニ議長之ヲ招集ス若シ總議員四分ノ一以上ノ請求アルトキハ必ス之ヲ招集ス可シ其招集并會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル

場合ヲ除クノ外少クモ開議ノ三日前タル可シ但町村會ノ議決ヲ以テ豫メ會議日ヲ定ムルモ妨ケナシ

第四十三條 町村會ハ公選議員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得ス

但同一ノ議事ニ付招集再回ニ至ルモ議員猶三分ノ二ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第四十四條 町村會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ再ヒ協議議決ス可シ若シ猶同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第四十五條 議員ハ何人ニ限ラス自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ就キ町村會ノ協議議決ニ加ハルコトヲ得ス

議員ノ數此除名ノ爲メニ減少シテ會議ヲ開クノ定數ニ足ラサルトキハ郡參事會町村會ニ代テ議決ス

第四十六條 町村會ニ於テ町村吏員ノ選舉ヲ行フトキハ選舉ス可キ者一名毎ニ匿名投票ヲ以テ之ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得ル者ナキトキハ最多數ヲ得ル者二名ヲ取り之ニ就テ更ニ投票セシム若シ最多數ヲ得ル者三名以上同數ナルトキハ議長自ラ抽籤シテ其二名ヲ取り更ニ投票セシム此再投票ニ於テモ猶過半數ヲ得ル者ナキトキハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム其他ハ第廿二條、第廿三條、第廿四條第一項ヲ適用ス

前項ノ選舉ニハ町村會ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

第四十七條 町村會ノ會議ハ公開ス但議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得



第四十八條 議長ハ各議員ニ事務ヲ分課シ會議及選舉ノ事ヲ總理シ開會閉會并延會ヲ命シ議場ノ秩序ヲ保持ス若シ傍聽者ノ公然贊成又ハ擯斥ヲ表シ又ハ喧擾ヲ起ス者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退出セシムルコトヲ得

第四十九條 町村會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シテ其議決及選舉ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記録セシム可シ議事録ハ會議ノ末之ヲ朗讀シ議長及議員二名以上之ニ署名ス可シ

町村會ノ書記ハ議長之ヲ選任ス

第五十條 町村會ハ其會議細則ヲ設ク可シ其細則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ過怠金二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第五十一條 第三十二條ヨリ第四十九條ニ至ルノ規定ハ之ヲ町村總會ニ適用ス

第三章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織選任

第五十二條 町村ニ町村長及町村助役各一名ヲ置ク可シ但町村條例ヲ以テ助役ノ定員ヲ増加スルコトヲ得

第五十三條 町村長及助役ハ町村會ニ於テ其町村住民中年齡滿三十歲以上ニシテ選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス但第五十六條ノ有給町村長及有給助役ハ此限ニ在ラス  
町村長及助役ハ第十五條第二項ノ第一乃至第五ニ掲載スル職ヲ兼ヌルコトヲ得ス  
父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ町村長及助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス若シ其緣故

アル者助役ノ選舉ニ當ルトキハ其當選ヲ取消シ其町村長ノ選舉ニ當リテ認可ヲ得ルトキハ之ニ其緣故アル助役ハ其職ヲ退ク可シ

第五十四條 町村長及助役ノ任期ハ四年トス  
町村長及助役ノ選舉ハ第四十六條ニ依テ行フ可シ但投票同數ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス郡參事會之ヲ決ス可シ

第五十五條 町村長及助役ハ名譽職トス但第五十六條ノ有給町村長及有給助役ハ此限ニ在ラス  
町村長ハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費辨償ノ外手當トシテ勤務ニ相當スル報酬ヲ受クルコトヲ得助役ノ行政事務ノ一部ヲ分掌スル場合(第六十九條第二項)ニ於テモ亦同シ

第五十六條 人口三千以上ノ町村ニ於テハ町村長ノ選舉ニ當ル者之ニ應スルハ其意ニ任ス可シ又町村會ノ議決ヲ以テ町村長ニ給料ヲ給スルコトヲ得其五千以上ノ町村ニ於テハ總テ町村長ニ給料ヲ給ス其他總テ大ナル町村ニ於テハ町村條例ノ規定ヲ以テ助役一名ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得  
有給町村長及有給助役ハ其町村住民タル者ニ限ラス但當選ニ應シ認可ヲ得ルトキハ其住民タルノ權ヲ得  
内務大臣ハ省令ヲ以テ有給町村長及有給助役タル可キ者ノ資格ノ要件ヲ定ムルコトヲ得



第五十七條 有給町村長及有給助役ノ任期ハ六年トス又町村會ノ議決ヲ以テ六年以上十二年以下適宜其任期ヲ定ムルコトヲ得

有給町村長及有給助役ハ三ヶ月前ニ申立ツルトキハ隨時退職ヲ求ムルコトヲ得此場合ニ於テハ退隱料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス

第五十八條 有給町村長及有給助役ハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任シ又ハ株式會社ノ社長及監察役員トナルコトヲ得ス其他ノ營業ハ郡長ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五十九條 町村長及助役ノ選舉ハ人口五千未満ノ町村ニ於テハ郡長ノ認可、人口五千以上一萬未満ノ町村ニ於テハ府縣知事ノ認可、人口一萬以上ノ町村ニ於テハ内務大臣ノ認可ヲ受ルヲ要ス

第六十條 郡長ニ於テ前條ノ認可ヲ與ヘサルニハ郡參事會ノ同意ヲ得ルヲ要ス若シ郡參事會之ニ同意セサルトキハ郡長ノ具申ニ依リ府縣參事會之ニ同意スルニ於テハ其認可ヲ與ヘサルコトヲ得

府縣知事前條ノ認可ヲ與ヘサルニハ府縣參事會ノ同意ヲ得ルヲ要ス若シ府縣參事會同意セサルトキハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケテ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ得

郡長郡參事會ノ同意ヲ得テ認可ヲ與ヘサルトキハ町村長又ハ町村會ノ具申ニ依リ府縣知事代テ之ヲ認可スルコトヲ得

府縣知事府縣參事會ノ同意ヲ得テ認可ヲ與ヘサルトキハ町村長又ハ町村會ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ認可スルコトヲ得

第六十一條 町村長及助役ノ選舉其認可ヲ得サルトキハ更ニ再選舉ヲ爲ス可シ再選舉ニシテ猶其認可ヲ得サルトキハ追テ選舉ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルノ間認可ノ權アル監督官廳(第五十九條)ハ臨時ニ代理者ヲ選任シ又ハ町村費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ町村長及助役ノ職務ヲ管掌セシム可シ

第六十二條 町村ニ收入役一名ヲ置ク收入役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任ス收入役ハ郡長ノ指定スル町村ニ於テハ有給吏員ト爲ス可シ其他ノ町村ニ於テハ便宜有給吏員ト爲スコトヲ得

有給收入役ハ町村長助役及町村會議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス其選舉ハ郡長ノ認可ヲ受クルヲ要ス其他ハ第五十六條第二項第三項、第五十七條第一項、第五十八條、第六十條、第六十一條、第七十五條、第七十六條第一項第三項、第七十七條、第七十八條及第七十九條ヲ適用ス

收入支出ノ寡少ナル町村ニ於テハ郡長ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十三條 町村ニ書記其他必要ノ附屬員并使丁ヲ置キ相當ノ給料ヲ給ス其人員ハ町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム但町村長ニ相當ノ役場費ヲ給與シテ書記ノ事務ヲ委任スルコトヲ得



町村附屬員ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任シ使丁ハ町村長之ヲ任用ス

第六十四條 町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ處務便宜ノ爲メ町村會ノ議決ニ依リ之ヲ數區ニ分チ每區區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得區長及代理者ハ名譽職トス

區長及代理者ハ町村會ニ於テ其町村ノ住民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス區會(第一百十三條)ヲ設クル區ニ於テハ其區會ニ於テ之ヲ選舉ス

第六十五條 町村ハ町村會ノ議決ニ依リ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得其委員ハ名譽職トス

委員ハ町村會ニ於テ町村會議員又ハ町村住民中選舉權ヲ有スル者ヨリ選舉シ町村長又ハ其委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ委員長トス

常設委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第六十六條 町村吏員ハ任期滿限ノ後再選セラレ、コトヲ得

町村吏員及使丁ハ別段ノ規定又ハ規約アルモノヲ除クノ外隨時解職スルコトヲ得

第二款 町村吏員ノ職務權限

第六十七條 町村長ハ其町村ヲ統轄シ其行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 町村會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事若シ町村會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公衆ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ

又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ再ヒ之ヲ協議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ郡參事會ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

二 町村ノ設置ニ係ル營造物ヲ管理スル事若シ特ニ之カ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スル事

三 町村ノ歲入ヲ管理シ歲入出豫算表其他町村會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

四 町村有ノ財産ヲ管理シ町村ノ權利ヲ保護スル事

五 町村吏員及使丁ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フ事懲戒ノ處分ハ譴責及五圓以下ノ料料トス

六 町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ町村ヲ代表シ町村ノ名義ヲ以テ其訴訟並和解ニ關シ又ハ他廳若クハ人民ト商議スル事

八 法律勅令ニ依リ又ハ町村會ノ議決ニ從テ使用料、手数料、町村稅及夫役現品ヲ賦課シ及ヒ徵收スル事

九 其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

第六十八條 町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス



一 司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依テ其管理ニ屬スル地方警察ノ事務但別ニ官署ヲ設ケテ地方警察事務ヲ管掌セシムルトキハ此限ニ在ラス

二 浦役場ノ事務

三 國ノ行政並府縣郡ノ行政ニシテ町村ニ屬スル事務但別ニ吏員ノ設ケアルトキハ此限ニ在ラス

右三項中ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲メニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス

第六十九條 町村助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ町村會ノ同意ヲ得テ助役ヲシテ町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理ス可シ

第七十條 町村收入役ハ町村ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ル

第七十一條 書記ハ町村長ニ屬シ庶務ヲ分掌ス

第七十二條 區長及代理者ハ町村長ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區内ニ關スル町村長ノ事務ヲ補助執行スルモノトス

第七十三條 委員(第六十五條)ハ町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ營造物ヲ管理シ若シクハ監督シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨スルモノトス

委員長ハ委員ノ議決ニ加ハルノ權ヲ有ス若シ助役ヲ以テ委員長ト爲ス場合ニ於テモ

町村長ハ隨時委員會ニ出席シテ其委員長ト爲リ并ニ其議決ニ加ハルノ權ヲ有ス

常設委員ノ職務權限ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三款 給料及退隱料

第七十四條 名譽職員ハ此法律中別ニ規定アルモノヲ除クノ外職務取扱ノ爲メニ要スル實費ノ辨償ニ限リ給與ヲ受クルコトヲ得

實費辨償額及報酬額并役場費ノ額(第六十三條第一項)ハ町村會之ヲ議決ス

第七十五條 有給町村長及有給助役ノ給料額其他有給吏員及使丁ノ給料額ハ町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

町村會ノ議決ヲ以テ町村長及助役ノ給料ヲ定ムルトキハ郡長ノ許可ヲ受クルヲ要ス郡長ニ於テ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ郡參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定ス

內務大臣ハ省令ヲ以テ町村長及助役ノ給料額ヲ定メテ一般ノ標準ヲ設ク可シ但特別ノ事情アリテ此標準ニ據リ難キトキハ特ニ內務大臣ノ許可ヲ求ムルコトヲ得

第七十六條 前條ニ掲載スル吏員ノ退隱料ハ豫メ監督官廳ノ認許ヲ經タル規約ニ準據ス可シ若シ規約ナキトキハ左ノ規定ニ依ル

有給町村長及有給助役ニシテ任期滿限後再ヒ選舉ヲ受ケス若クハ再ヒ認可ヲ受ケス及任期中自ラ招カサル事故ニ依リ其身行務ニ堪ヘサルカ爲メ退職スルトキハ左ノ割合ニ依リ退隱料ヲ給ス

- 一 六年就職ノ者ハ 退職當時給料ノ六分ノ一



二 十二年就職ノ者ハ 同 四分ノ一  
 三 二十四年就職ノ者ハ 同 三分ノ一

隨時解職スルヲ得ス且定任期ナキ有給吏員ニシテ自ラ招カサル事故ニ依リ其身行務ニ堪ヘサルカ爲メ退職スルトキハ官吏恩給令ノ例ニ倣ヒ退職料ヲ給ス

第七十七條 有給吏員ノ給料退職料其他第七十四條ニ定ムル給與ニ關シテ異議アルトキハ關係者ノ申立ニ依リ郡參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 第七十八條 退職料ヲ受クル者官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ其間之ヲ停止シ又ハ更ニ退職料ヲ受クルノ權ヲ得ルトキ其額舊退職料ト同額以上ナルトキハ舊退職料ハ之ヲ廢止ス

第七十九條 有給吏員ノ給料退職料及此法律ニ依テ支給スル報酬并辨償等ハ總テ町村ノ負擔トス

第四章 町村有財產ノ管理

第一款 町村有財產及町村稅

第八十條 町村ハ不動產積立金穀等ヲ以テ基本財產ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ臨時ニ收入シタル資金ハ基本財產ニ加入ス可シ但寄附金等寄附者其使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

第八十一條 凡町村有財產ハ全町村ノ爲メニ之ヲ管理シ及共用スルモノトス但民法上

別段ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第八十二條 舊來ノ慣行ニ依リ町村屬民中特ニ其町村ノ共有地ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ町村會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其舊慣ヲ改ムルコトヲ得ス(第八十五條)

第八十三條 前條ノ使用權(第八十二條)ヲ得ントスル者アルトキハ町村條例ノ規定ニ依リ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收シテ之ヲ許可スルコトヲ得但民法上特ニ使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十四條 使用權ヲ有スル者(第八十二條)ハ其使用ノ多寡ニ準シテ使用物件ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔ス可キモノトス

第八十五條 町村會ハ町村ノ爲メニ必要ナル場合ニ於テハ使用權(第八十二條)ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得但民法上特ニ使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十六條 町村有財產ノ賣却貸與又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ公ケノ入札ニ付ス可シ但臨時急施ヲ要スルトキ及入札ノ價額其費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

第八十七條 町村ハ其必要ナル支出及從前法律命令ニ依テ賦課セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ賦課セラル、支出ヲ負擔スルノ義務アリ

町村ハ其財產ヨリ生スル收入及使用料、手数料(第八十八條)并過怠金其他法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ猶不足アルトキハ町村稅(第八十



九條)及夫役現品(第百條)ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第八十八條 町村ハ其所有物及營造物ノ使用又ハ特ニ數個人ノ爲メニスル事業ニ付使  
用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

第八十九條 町村稅トシテ賦課スルヲ得可キ目左ノ如シ

一 國稅府縣稅ニ附加スル割増稅

二 特別ノ直接又ハ間接町村稅

割増稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ且均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ヨリ徴收ス  
ルヲ常例トス特別町村稅ハ割増稅ノ外別ニ町村限リ稅目ヲ起シテ課稅スルヲ要スル  
トキ賦課徴收スルモノトス

第九十條 此法律ニ規定セル條項ヲ除クノ外使用料、手數料(第八十八條)特別町村稅  
(第八十九條第一項)及此法律施行ノ際現行ノ町村費ニ關スル細則ハ町村條例ヲ以  
テ之ヲ規定ス可シ其條例ニハ料料拾圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得  
料料ニ處シ及之ヲ徴收スルハ町村長之ヲ掌ル其處分ニ不服アル者ハ令狀交付後十四  
日以内ニ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十一條 新ニ町村ニ來住スル者及三ヶ月以上町村内ニ滞在スル者ハ其町村稅ヲ納  
ムルモノトス但三ヶ月以上滞在スル者ノ課稅ハ滞在ノ初ニ遡リ徴收ス可シ

第九十二條 町村内ニ住居ヲ構ヘヌ又ハ三ヶ月以上滞在スルコトナシト雖モ町村内ニ  
土地ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス者(店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク)ハ其土地、營業若クハ

其所得ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電  
信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

第九十三條 所得稅ニ割増稅ヲ附加シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課セントスルト  
キハ納稅者ノ町村外ニ於ケル所有地又ハ營業(店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヨリ收入  
スル所得ハ之ヲ控除ス可キモノトス

第九十四條 數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者ニ前條ノ町村稅ヲ賦課スルトキハ  
其所得ヲ各市町村ニ平分シ其一部分ニノミ課稅ス可シ但土地又ハ營業ヨリ收入スル  
所得ハ此限ニ在ラス

第九十五條 左ニ掲グル所得額ハ町村稅ヲ免除ス

一 軍人ノ給料其他職務上ノ所得并恩給其寡婦孤兒扶助料ノ全額

二 官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ任スル者ノ給料其他職務上ノ所得并  
退隱料其寡婦孤兒扶助料ノ半額但一時此職務ニ在ル者ハ此限ニ在ラス

第九十六條 左ニ掲グル物件ハ町村稅ヲ免除ス

一 政府、府縣郡市町村及公共組合ニ屬シ直接ノ公用ニ供スル地所、營造物及家屋  
二 社寺及官立公立ノ學校病院其他學藝、美術及慈善ノ用ニ供スル地所、營造物及家  
屋

三 官有ノ山林又ハ荒蕪地但官有山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル事業ヲ起シ内務大臣  
及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其費用ヲ徴收スルハ此限ニ在ラス



新開地及開墾地ハ町村條例ニ依リ年月ヲ限り免税スルコトヲ得

第九十七條 前二條ノ外町村稅ヲ免除ス可キモノハ別段ノ法律ニ定ムル所ニ從フ皇族ニ係ル町村稅ノ賦課ハ追テ法律ヲ制定スル迄現今ノ例ニ依ル

第九十八條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

町村内ノ一部落ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其部内ニ住居シ若クハ滞在シ又ハ土地ヲ所有シ營業(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヲ爲ス者ニ於テ其修築及保存ノ費用ヲ負擔ス可シ但其一部落ノ所有財產アルトキハ其收入ヲ以テ先ツ其費用ニ充ツ可シ

第九十九條 町村稅ハ納稅義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免税理由ノ生シタル月ノ終迄月割ヲ以テ之ヲ徵收ス可シ

會計年度中ニ於テ納稅義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納稅者ヨリ之ヲ町村長ニ届出ツ可シ其届出ヲ爲シタル月ノ終迄ハ從前ノ稅ヲ徵收スルコトヲ得

第一百條 町村公共ノ事業ヲ起シ又ハ公共ノ安寧ヲ維持スルカ爲メニ夫役及現品ヲ以テ納稅者ニ賦課スルコトヲ得但學藝、美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外直接町村稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課ス可シ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコト

ヲ得又急迫ノ場合ヲ除クノ外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第一百一條 町村ニ於テ徵收スル使用料、手數料(第八十八條)町村稅(第八十九條)夫役ニ代フル金圓(第一百條)共有物使用料及加入金(第八十二條)并其他町村ノ收入ヲ定期内ニ納メサルトキハ町村長ハ之ヲ督促シ猶之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收ス可シ其督促ヲ爲スニハ町村條例ノ規定ニ依リ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

納稅者中無力ナル者アルトキハ町村長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納稅延期ヲ許スコトヲ得其他ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵、期滿得免及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル規則ヲ適用ス

第一百二條 地租ニ附加スル割増稅ハ地租ノ納稅者ニ賦課シ其他土地ニ對シテ賦課スル町村稅ハ其所有者又ハ使用者ニ賦課スルコトヲ得

第一百三條 町村稅ノ賦課ニ對スル訴願ハ賦課令狀ノ交付後三ヶ月以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ此期限ヲ經過スルトキハ其年度内減稅免税及償還ヲ請求スルノ權利ヲ失フモノトス

第一百四條 町村稅ノ賦課及町村ノ營造物、町村有ノ財產并其所得ヲ使用スル權利ニ關スル訴願ハ町村長之ヲ裁決ス但民法上ノ權利ニ係ルモノハ此限ニ在ラス

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣



參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ス

第五條 町村ニ於テ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ已ムヲ得  
サル支出若クハ町村永久ノ利益トナル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加ス  
ルトキハ其町村屬民ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限ルモノトス  
町村會ニ於テ公債募集ノ事ヲ議決スルトキハ併セテ其募集ノ方法、利息ノ定率及償  
還ノ方法ヲ定ム可シ償還ノ初期ハ通例二年以後ニ始マルモノト爲シ年々償還ノ歩合  
ヲ定メ三十年以内ニ還了ス可シ

定額豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス一年度内  
ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノトス

第二款 町村ノ歳入出豫算及決算

第六條 町村長ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得可キ金額ヲ見積リ年度前二ヶ月ヲ  
限リ歳入出豫算表ヲ調製ス可シ但町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ  
内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ式ヲ定ムルコトヲ得

第七條 豫算表ハ會計年度前町村會ノ議決ヲ取り之ヲ郡長ニ報告シ并地方慣行ノ方  
式ヲ以テ其要領ヲ公告ス可シ  
豫算表ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ其町村事務ノ報告及財産明細簿ヲ  
提出ス可シ

第八條 定額豫算外ノ費用又ハ豫算ノ不足アルトキハ町村會ノ認定ヲ得テ之ヲ支出  
スルコトヲ得

定額豫算中臨時ノ場合ニ支出スルカ爲メニ豫備費ヲ置キ町村長ハ豫メ町村會ノ認定  
ヲ受クルヲ要セスシテ豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ニ充ツルコトヲ得但豫備費  
ヲ以テ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第九條 町村會ニ於テ豫算表ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其謄寫ヲ以テ之ヲ收入  
役ニ交付ス可シ其豫算表中監督官廳若クハ參事會ノ許可ヲ受ク可キ事項アルトキハ  
(第百廿四條ヨリ第百二十六條ニ至ル)先ツ其許可ヲ受ク可シ

收入役ハ町村長(第六十七條第二項第二)又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ  
爲スコトヲ得ス又收入役ハ町村長ノ命令ヲ受クルモ其支出豫算表中ニ豫定ナキカ又  
ハ其命令第百八條ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第十條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クモ一回臨時検査ヲ爲ス可  
シ例月検査ハ町村長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時検査ハ町村長又ハ其代理者ノ外町村  
會ノ互選シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第十一條 決算ハ會計年度ノ終ヨリ三ヶ月以内ニ之ヲ結了シ證書類ヲ併セテ收入役  
ヨリ之ヲ町村長ニ提出シ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ之ヲ町村會ノ認定ニ付ス  
可シ第六十二條第四項ノ場合ニ於テハ前例ニ依リ町村長ヨリ直ニ之ヲ町村會ニ提出



ス可シ其町村會ノ認定ヲ經タルトキハ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス可シ

第百十二條 決算報告ヲ爲ストキハ第四十條ノ例ニ準シテ議長又ハ代理者故障アルモノトシ又收入役議員タルトキハ第四十五條ノ例ニ準シテ其協議議決ニ加ハルヲ得ス

第五章 町村内各部落ノ行政

第百十三條 町村内ノ區(第六十四條)又ハ町村内ノ一部落若クハ合併町村(第四條)ニシテ別ニ其區域ヲ存シテ一區ヲ爲スモノ特別ニ財産ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其一區限リ特ニ其費用(第九十八條)ヲ負擔スルトキハ郡參事會ハ其町村會ノ意見ヲ聞キ條例ヲ發行シ財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會又ハ區總會ヲ設クルコトヲ得其會議ハ町村會ノ例ヲ適用スルコトヲ得

第百十四條 前條ニ記載スル事務ハ町村ノ行政ニ關スル規則ニ依リ町村長之ヲ管理ス可シ但區ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別ス可シ

第六章 町村組合

第百十五條 數町村ノ事務ヲ共同處分スル爲メ其協議ニ依リ監督官廳ノ許可ヲ得テ其町村ノ組合ヲ設クルコトヲ得

法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪フ可キ資力ヲ有セサル町村ニシテ他ノ町村ト合併(第四條)スルノ協議整ハス又ハ其事情ニ依リ合併ヲ不便ト爲ストキハ郡參事會ノ議決ヲ以テ數町村ノ組合ヲ設ケシムルコトヲ得

第百十六條 町村組合ヲ設クルノ協議ヲ爲ストキハ(第一百五條第一項)組合會議ノ組

織事務ノ管理方法并其費用ノ支辨方法ヲ併セテ規定ス可シ

前條第二項ノ場合ニ於テハ其關係町村ノ協議ヲ以テ組合費用ノ分擔法等其他必要ノ事項ヲ規定ス可シ若シ其協議整ハサルトキハ郡參事會ニ於テ之ヲ定ム可シ

第百十七條 町村組合ハ監督官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解クコトヲ得ス

第七章 町村行政ノ監督

第百十八條 町村行政ノ監督ハ人口五千未滿ノ町村ニ於テハ第一次ニ於テ郡長之ヲ行

ヒ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ行フ之ヲ終局トス人口五千以上ノ町村ニ於テハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス但法律ニ指定シタル場合ニ於テ郡參事會及府縣參事會ノ參與スルハ別段ナリトス

第百十九條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外凡町村ノ行政ニ關スル郡長若クハ郡參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事若クハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得但第百十八條ニ從ヒ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ヲ以テ終局ト爲ス場合ハ此限ニ在ラス

町村ノ行政ニ關スル訴願ハ處分書若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二週日以内ニ之ヲ提出シ及其理由ヲ陳辯ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス



此法律中ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ三週日以内ニ出訴ス可シ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタル場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アリ又ハ官廳ノ意見ニ依リ其停止ノ爲メニ町村ノ公益ニ害アリト爲ストキハ此限ニ在ラス

第二百二十條

監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背戾セス及其事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視ス可シ監督官廳ハ之カ爲メニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ并實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第二百二十一條

町村又ハ其組合ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出ヲ定額豫算ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セス又ハ實行セサルトキハ郡長ハ理由ヲ示シテ其支出額ヲ定額豫算表又ハ其臨時支出額ノ内ニ加ヘシム可シ

町村又ハ其組合ニ於テ前項ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二百二十二條

凡町村會ニ於テ議決ス可キ事件ヲ議決セサルトキハ郡參事會代テ之ヲ議決ス可シ

第二百二十三條

内務大臣ハ町村會ヲ解散セシムルコトヲ得解散ヲ命シタル場合ニ於テハ同時ニ三ヶ月以内更ニ議員ヲ改選ス可キコトヲ命ス可シ但改選町村會ノ集會スル迄ハ郡參事會町村會ニ代テ一切ノ事件ヲ議決ス

第二百二十四條

左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村條例ヲ設ケ并改正スル事

二 學藝美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ノ物品ヲ賣却讓與シ若クハ大ナル變更ヲ爲ス事

前項第一ノ場合ニ於テ人口壹萬以上ノ町村ニ係ルトキハ勅裁ヲ經テ之ヲ許可ス可シ

第二百二十五條

左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルヲ要ス

一 新ニ町村ノ負擔ヲ起シ又ハ新ニ公債ヲ募集シテ負債ヲ増加シ及第百五條第二項ノ例ニ違フモノ但償還期限三年以内ノモノハ此限ニ在ラス

二 特別町村稅并使用料手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

三 地租七分ノ一其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル割増稅ヲ賦課スル事

四 間稅國稅ニ附加スル割増稅ヲ賦課スル事

五 法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ歩合ノ金額ヲ補助スル支出ヲ定ムル事

第二百二十六條

左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ郡參事會ノ許可ヲ受クルヲ要ス

一 町村ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ并改正スル事

二 基本財産ノ處分ニ關スル事(第八十條)

三 町村有不動産ノ賣却讓與并質入書入ヲ爲ス事



- 四 各個人直接ニ使用スル町村有地使用法ノ變更ヲ爲ス事(第八十五條)
- 五 各種ノ保證ヲ與フル事
- 六 法律勅令ニ依リ負擔ノ義務ニ非スシテ向五ヶ年以上ニ亘リ新ニ町村屬民ニ負擔ヲ課スル事
- 七 均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅府縣稅ニ附加セル割増稅ヲ賦課スル事(第八十九條第二項)
- 八 第九十八條ニ從ヒ數個人又ハ町村内ノ一部落ニ課稅スル事
- 九 第一百條ノ準率ニ據ラスシテ夫役及現品ヲ賦課スル事
- 第二百二十七條 府縣知事郡長ハ町村長、助役、委員、區長及其他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其懲戒ノ處分ハ譴責及科料トス郡長ノ處分ニ係ル科料ハ拾圓以下府縣知事ノ處分ニ係ルモノハ貳拾五圓以下トス
- 追テ町村吏員ノ懲戒法ヲ設クル迄ハ左ノ區別ニ從ヒ官吏懲戒例ヲ適用ス可シ
- 一 町村長ノ懲戒處分(第六十七條第二項第五)ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 二 郡長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ懲戒處分及其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 三 本條第一項ニ掲載スル町村吏員再三職務ニ違ヒ又ハ其情狀重キ者又ハ行狀ヲ亂

リ廉耻ヲ失フ者、財產ヲ浪費シ其分ヲ守ラサル者又ハ職務ヲ執ルニ堪ヘサル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職ヲ解クコトヲ得其隨時解職スルヲ得可キ者ハ(第六十六條)懲戒裁判ヲ以テスルノ限ニ在ラス

總テ解職セラレタル者ハ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲メ解職セラレタル場合ヲ除クノ外退隱料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス

四 懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

監督官廳ハ懲戒裁判ノ裁決前吏員ノ停職ヲ命シ并給料ヲ停止スルコトヲ得

第二百二十八條 町村吏員及使丁其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタル事アルカ爲メ町村ニ對シテ賠償ス可キコトアルトキハ郡參事會之ヲ裁決ス此裁決ニ不服アル者ハ訴願シ又ハ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得但其訴訟ノ爲メニ其裁決ヲ停止スルコトヲ得ス

第八章 附則

第二百二十九條 郡參事會、府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間郡參事會ノ職務ハ郡長、府縣參事會ノ職務ハ府縣知事、行政裁判所ノ職務ハ內閣ニ於テ之ヲ行フ可シ

第三百十條 此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付町村長及町村會ノ職務并町村條例ヲ以テ定ム可キ事項ハ郡長又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可シ



第三百一十一條 此法律ハ北海道、沖繩縣其他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ之ヲ施行セス別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第三百一十二條 前條ノ外特別ノ事情アル地方ニ於テハ町村會及町村長ノ具申又ハ郡參事會ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律ノ條規ヲ中止スルコトヲ得

第三百一十三條 社寺ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セス現行ノ例規及其地ノ習慣ニ從フ

第三百一十四條 此法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キタル數ヲ云フ

第三百一十五條 現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ類別ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第三百一十六條 此法律ハ 年 月 日以後地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣ノ指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シ

第三百一十七條 明治九年十月第三百十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第六條及第九條但書、明治十七年五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七月第二十三號布告明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ抵觸スル成規ハ總テ之ヲ廢止ス

第三百一十八條 內務大臣ハ此法律實行ノ責ニ任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス

ス可シ

○外一番會荒助 町村制下付ノ理由ヲ略陳セン本案ハ大ニ地方制度ヲ改正シ其町村ヲシテ各々一体タラシメ自治ト分權ト其宜シキニ從テ之ヲ實施セントシ過ル二月中其大綱領ヲ決定シ遂ニ地方制度取調委員ヲ選任シテ其取調ニ從事セシメ漸クニシテ本案及市制編纂成レリ其大綱ニ於テ前議ト違フコト無キヲ以テ閣議之ヲ可トシ本院議定ニ付セラ  
ル、ニ至レリ此他尙ホ府縣制郡制ノ如キ逐次發布ヲ要シ其議案ノ如キモ不日將サニ下付スル所アラントス今此ニ本案ノ正誤ヲ求ムル有リ第九十七條一行目「法律」ノ下ニ勅令ノ二字ヲ脱シ同ク第二行目「ヲ制定スハ」勅令ヲ以テ定ムノ誤ナリ

○外三番白根 本案下付ノ理由ハ番外一番ヨリ之ヲ述ヘタリ本員ハ聊カ編制ノ大意ヲ説キ各位ノ參考ニ供ス可シ本案ハ各町村ヲシテ團結一体ノ法人ト爲シ町村其身自ラ進退處分セシムル爲メ自治分權ノ制ヲ立ルニアリ然ルニ自治ト云ヒ分權ト云フモ敢テ放任放下ノ主意ニ非ラス別ニ又監督法ヲ設ケ其監督應ヲシテ町村行政ノ法律命令ニ背戻スル無キヤ又事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監セシメ又行政事務ニ關シ報告ヲ爲サシメ或ル場合ニハ臨時代理者ヲ選任シ町村長及助役ノ職務ヲ掌ラシムルコト在リ是レ皆事ヲ鄭重ニシ自治分權ノ制ヲ立ツルモ敢テ其弊患ヲ被ラス今日ノ情勢ニ照シ至極適當ノ所ニ置クヲ要スルヲ以テナリ然カラサレハ自治分權ノ其名ノ美ナルモ遂ニ徒法ニ屬セン此ニ各位ノ考慮ヲ煩スハ今日ニ當リ自治分權ノ制ヲ立ツ固ヨリ可ナリ而シテ之ヲ實際適應セシムルハ唯其程度如何ニ存セリ強テ其備ランコトヲ求メ事實ニ違フコト無カラシ



コトヲ欲ス例ヘハ一般ニ町村長ハ公選ナルモ或ル場合ニ於テハ認可ス可カラサルコト有リ又町村廢置分合ヲ要スルモハ之ヲ處スルノ法ヲ設クル等是レ皆今日ノ民度如何ヲ考ヘ起草セシ所ナリ之ヲ實際ニ施ス決シテ難事ニ非ス而シテ人智漸ク進歩スルニ隨ヒ好結果ヲ得ルハ必然ナリト認ム其詳細ハ逐條ニ於テ之ヲ述フ可シ

出席

六十七番

吉田 清成

○八番楠本正隆 一讀會ノ例ニ遵ヒ本案ニ對スル大体ノ意見ヲ述ヘン本案ハ條項頗ル多キモ順序能ク整ヒ事皆鄭重ヲ加ヘリ本官之ヲ熟讀シ質問ヲ要スル箇所多キモ姑ク之ヲ置キ其大体上本案ニ賛成スル所以ヲ述シニ第二條ニ於テ町村ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ云々ト言ヘル如キ是レ各國ノ法ヲ斟酌セシ所ナル可キモ實ハ我國從來ノ制此ノ如クニシテ美德ノ風ノ存スル所タリ今日之ヲ法律ニ明載スルハ彌々其根據ヲ堅フスルモノナリ既ニ國會開設ノ期モ近キニ有レハ宜シク先ツ此町村制ヲ布キ漸次自治分權ノ實ヲ舉ケ人智ヲ煥發シ民度ヲ上進セシムヘシ回顧スレハ此町村制ヲ施シ自治ノ精神ヲ起サシメントセシハ實ニ明治十一年地方制度ノ改正ノ時ニ在リシモ爾來行政上便宜ヲ欲ク所多キニヨリ遂ニ十七年ニ及ヒ稍ヤ之ニ箝制ヲ加フルニ至ル即チ地方稅規則區町村會法ノ改正區町村費規則ノ三案下付セラレタル是ナリ此際戶長ノ公選ヲ止メ專ラ官選一途ニ傾キタリ當時本官等大ニ日本從來ノ美風ヲ壞リ既ニ萌生セントスル自治分權ノ氣風ヲ損シ將來施政ノ得策ニ非ラサル旨ヲ痛論セリ其際議場ノ討議可否常ニ相半シ數句論鋒ヲ交ヘ三タヒ調査委員ヲ設ケテ之ヲ照查スルニ至レリ是レ各位ノ

能ク記憶スル所ナリ畢竟一時風潮ノ穩カナラサルヨリ之ヲ檢束スルノ必用ヲ感シ權宜ノ變法ヲ以テ之ヲ處セシト雖モ未タ數年ヲ出テサルニ復タ本案ノ下付ニ會フ是前日各位盡意討議ノ空シカラサルヲ知ルニ足ル本案ハ其規謀嚴正ニシテ而カモ潤飾アリ組織權限ノ次第一一秩然タリ本官等今日ニ於テ平素ノ議論ノ行ハル、ヲ悅ヘリ往時三案ニ反對セシ各位ハ皆本案ニ賛成セラル、ナル可シ本官ハ前後考慮シテ殊ニ感觸ニ堪ヘス若夫權限ノ程度監督ノ區域ノ如キ修更ス可キモノ無キニ非ラス個ハ漸次陳述スル所アル可シ

○六番宮本小一 內閣委員ノ辯明ヲ聞キ其大体主旨ノアル所ヲ知ル然ルニ本案ハ至急ノ字アルモ其至急ヲ要スル理由ヲ聞カス本案ハ二月ヨリ取調ニ着手セシト云フモ下付ニナリタルハ實ニ四五日前ニアリテ漸ク素讀セシマテニ未タ十分考慮スルノ餘暇ナシ假令久シク地方官ニ在リテ其事務ニ執掌セシ各位ト雖モ容易ニ判斷ヲ下ス能ハサル可シ況シテ其理由書ノ如キ一覽ヲ經サルニ早ヤ本會ヲ開カル隣席ナル八番ハ十七年ノ議事ノ顛末ヲ述ヘ賛成ノ意ヲ表セリ本官ト雖モ敢テ不賛成ニ非ス斯ル浩瀚重大ノ議案ナレハ前途適否ノ如何ニ於テ深慮熟考セサル可カラス僅々數日間ウハベノ考ヘノ中々能クスル所ニ非ス請フ內閣委員ヨリ此ノ至急ノ字ヲ要スル所以ノ理由ヲ述ンコトヲ

○議長 至急ノ字ノ印ハ內閣ヨリノ通知ニ依リ本院之ヲ捺セリ

○六番宮本小一 至急ヲ要スルノ理由之ヲ內閣委員ニ問ハン

○外會荒助 六番ハ理由書ヲ一覽セスト云フ內閣ヨリ未タ之ヲ配布セシコト無シ是レ



本員等ノ與ラサル所トス又至急ヲ要スル理由ヲ問ハル是レ本案ノ外尙ホ續テ郡制府縣制ノ發表ヲ要スルヲ以テナリ前述ノ意ヲ省セハ自ラ明了セン

○五十四番加藤弘之 本案ノ至急ヲ要スルハ本官モ亦之ヲ怪マサルニ非ラサルモ是等ノコトハ姑ク之ヲ措キ大体ニ就テ論センニ此法案ハ重大ノモノナリ何トナレハ八番ノ言アル如ク人民ニ自治ヲ許シ分權ヲ與フルニ在レハナリ十七年ノ改革ハ干涉ニ傾キタルモ今日ハ任放ノ意ヲ以テス其主意結構ナルニハ相違ナキモ之ヲ國情ニ照セハ民度未タ歐洲各國ノ如クナル能ハス是監督法ヲ設クル頗ル嚴ナル所以ナラン然ルニ此ノ如ク細大共ニ監督ヲ受クル者トセハ假令自治分權ノ名アルモ其實ニ於テ缺クル所ナキヤ否ヤ是又心配ナキ能ハス且本官ノ最モ不審ナルハ町村制市制又ハ郡制府縣制ノ如キ行政上必用ナル法律ハ專ラ行政官ノ起草ニ成リ民法商法等ノ如キハ方今開設セル法律取調局ニテ編纂調査スル所タリ彼此ノ法律互ニ相關係スルコト無クンハ可ナルモ他ノ法律ハイサ知ラス民法ト地方制度上ニ係ル法律トハ自ラ牽連スル有ラン然ルヲ行政ト司法ト分立シ銘々任意ニ編制スルハ必ス其間ニ矛盾ヲ生スルノ掛念アリ之ヲ一所ニ纏メ全局ニ涉リテ照查スルノ便宜ナルニ如カスト雖モ至急ヲ要スルノ故ヲ以テ各々分任スル事トナリタルヤ若シ双方ヲ照シ果シテ矛盾スルアレハ一方ヲハ必ス改ム可キノ意ナルヤ抑我國未タ民法ノ制定ナキヲ以テ其頒布ノ日ニ非サレハ如何ナル法律ノ出ルヤ知ル可カラスト雖モ行政法ニ牽連スルハ必然ナラン蓋シ大法律ヲ編制センニハ宜シク全局ニ對シテ安排配置スヘシ若シ一部分ヨリ前後發布スルトキハ必ス他日一方ヲ廢セサルヲ

得サルノ時節到來セン例ヘハ監獄則又ハ納稅期限等ノ如キ一部分ノミニ止マル法案ハ兎モ角モ本案ノ如キ幾ント新日本ヲ建造スト云フモ可ナル大法律ニシテ他日障害アリトシテ改ムルハ好マシカラス民法商法ノ如キ又然リ之ヲ合一編制シテコソ始メテ美事ナル新日本出來ス可シ例ヘハ家屋ヲ造ルカ如シ粗末ナル長屋普請ハ卒然之ヲ造リ又容易ニ變更スルヲ得ヘキモ大厦高樓ヲ建造スルニハ始メヨリ其經畫ヲ定メ玄關ニ奧向ニ勝手向ニ一齊ニ成ルヲ以テ結構ト稱ス可シ然ルヲ先ツ玄關ヲ作り次キニ奧向ヲ作ルトセハ其都合ニ由リ玄關ノ位置ヲ勝手向ニ移シ勝手向ヲ玄關ニ直スト云フカ如キ不順序ノ事ナキ能ハス是レ最初ヨリ大家ヲ築造スルノ法ニ違ヒタルノ致ス所ナリ見ヨ日比谷ノ議事堂建築ノ如キモ最初ニ繪圖面成リ而シテ地形ヲ定メ漸次修築ノ業ニ及フ家屋ノ建築法ニ於ルモ尙ホ然リ況ンヤ大法律ヲ編制シ新日本ヲ築造スルニ於ルヤ然ラハ本案ノ如キモ能ク法律取調局ト氣脈ヲ通シ消息ヲ同ウシ彼此一体ノ惣繪圖面成リ順序次第ヲ守リ大仕事ハ大仕事ノ覺悟ヲ以テ修築着手セハ假令少シク時日ノ後ルハアルモ後ニ故障ナキヲ以テ却テ其落成ノ速ニ且ツ其善美ヲ見ルヲ得可シ未タ各條ノ是非如何ヲ知ラサルモ大体ノ意見ニ於テハ前陳ノ如シ本案ノ法律取調局ニ關涉スル無キヤ若シ彼此齟齬ヲ生セハ其時ニ於テ更ニ改正スルノ意ナリヤ兎角大普請ノ体ヲ得サルニ似タルヲ以テ敢テ之ヲ問フ

○外三番 本案ノ法律取調局ニ關係アルヤ否ヤハ之ヲ知ラサレモ地方制度取調委員ノ選任アリシ時ハ既ニ法律取調局設置セラレタル後ニシテ格別ニ地方制度ノ爲メ設ケ



ラレタルヲ見レハ此町村制ノ如キ左マテ法律取調局ニハ關係ナキ者ト認ム又法律取調局ニテ本案ノ如キ單ニ行政部分ニ屬スル者ヲ調査編制スルノ任アリヤ本官ノ答ヘ得ヘキ所ニ非ラス其行政裁判法ノ如キ固ヨリ未定ナルモ大抵地方制度ノ如何ニ依リ構成セラル可シト信ス又本案ノ急施ヲ要スル所以ハ地方制度取調委員ヲ設ケラレシハ實ニ本年二月ニ在リシモ主務官ノ之カ調査ニ着手セシハ迥ニ數年前ニ在リ事最モ漏洩ヲ慎ミ秘密ニ秘密ヲ加ヘタルモ新聞紙上往々地方制度ノ變革アル可キ旨ヲ傳ヘ當二月ニ及ヒ彌々編纂委員ノ任命アリシ以來別シテ地方人民ノ着目スル所トナリ就中各地方戸長ノ如キ改正如何ニ依リ今日ノ官選ハ明日公選ニ移ル可キヤ等ノ事ヲ豫想シ常ニ浮キ足ニテ執務スル有様ナレハ萬事ニ就キ間接ノ損失ハ容易ナラサルナリ殊ニ事務ノ停滯ヲ來スヲ以テ地方官ヨリモ切ニ其發布ノ速カナルヲ望メリ若シ諸法律ノ完結ヲ待チ便々今日ノ儘ニテ經過セハ各地方ノ狀況ト其損失トニ於テ如何アル可キカ最モ考慮ス可キ所ナラン矧シテ國會開設ノ準備ニハ眞ニ密着ノ關係ヲ有シ一日片時モ早ク着手セサルヲ得ス一日延ヒハ一日ノ損アリ既ニ今日ニ及ヒテハ寧口晩シト云ハンノミ速ニ本案ヲシテ發布セシメンコトヲ望ム

○四十九番 神田 孝平 地方分權制度ヲ設クルハ本官ノ素ヨリ望ム所ナレハ大ニ之ヲ贊成ス獨リ本案ノミナラス民法商法等ノ如キ法典モ共ニ速ニ施行セラレンコトヲ欲ス既ニ國會開設ノ時期モ近キニアレハ其順序上ニ於テ是非トモ速ニ此制ヲ布カサルヲ得ス況シテ本官ノ如キ切ニ之ヲ希望スルニ於ルヲヤ本案細目ニ涉ラハ利害得失ノ議ス可キ者多カ

ラン個ハ其議ス可キ場合ニ於テ之ヲ論セン

○九番 榎村 正直 本案ニ對シ各位ノ大体論ヲ聞クモ未タ各條ニ涉ル質問ヲ見ス本官ハ久シク他ノ議案ノ修正ニ與カリ本案熟讀ノ暇ヲ得ス隨テ疑義多キカ如シ故ニ此ニ質問ヲ要スル者多クアリ或ハ質問ヲ待スシテ各位ノ解了ス可キ箇所モ有ランカ試ニ逐次之ヲ問ハシテ第四條ニ郡參事會府縣參事會アリテ其意見ヲ聞キ又ハ其議決ヲ要スル場合アリ其參事會ハ如何ナル組織ニ成ル者ナリヤ現在ノ府縣會ニ比シ如何ナル体裁ノ異ナル有リヤ又同條第四項ニ本條ノ處分ニ付其町村ノ財產處分ヲ要スルトキハ併セテ之ヲ議決ス可シト有リ第三項ニハ關係者ノ異議ニ拘ラス町村ヲ合併シ又ハニ云々ト有ルヲ以テ見レハ其併セテトハ前項兩者ヲ併セテノ意ナリヤ又第七條ノ初メニ「獨立男子二年以來」トシ其次ニ「救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者」ト有リテ末文ニ「本條ニ定ムル二年ノ制限ヲニ云々ト有リ此二年トハ前ノ二年ト云ヘル者ヲ指シタルヤ或ハケノ字ノアルヲ以テ異ナルヤ又同條ニ其公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス」ト云フハ其二年間ハ住民ト稱スルコトヲ得ス屬民ト謂フ可キヤ又第十一條ニ於テ町村會議員ノ員數ヲ定ムルニ皆偶數ヲ以テセリ然ルニ第四十六條ニハ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス」ト云ヒ猶過半數ヲ得ル者ナキトキハ「云々ト云フ皆奇數ヲ以テセリ此議員中ヨリ議長ヲ推選セハ奇數ニナルモ村長ヲ以テ議長ニ充ルトキハ矢張偶數ナラ

○三十七番 山口 尚芳 九番發議中ナルモ一言ス決シテ九番ノ說ヲ止ムルニ非ス其質疑ヲ聞ク



ハ本官ノ欲スル所タリ然ルニ餘リニ數箇條ニ涉ルトキハ内閣委員ノ記憶ニ不便ナル無キヤ先ツ第十一條マテニ止メ其答辯ヲ得テ後更ニ次條ノ質問ヲ要セハ却テ好都合ナル可シ九番ノ意果シテ如何ン

○九番榎村 如何サマ三十七番ノ氣付尤モナリ十一條マテニ止メン質問中或ハ問フヲ待タサル者モアラシカ

○外四番大森 九番ノ質問ニ答ヘン府縣參事會郡參事會ノ組織体裁ハ地方全体ノ制度定マレル後ニ非サレハ確ト連ヘ難キモ府縣會若クハ郡會(今日ハナキモ)ト異ニシテ其資格ハ稍ヤ常置委員ニ類セリ府縣參事會ハ高等官兩三名ト府縣會議員四五名ニ成リ郡參事會ハ郡長及ヒ公選議員四五名ヨリ成立ス可キ者ト信ス是レ固ヨリ未定ナリ又第四條ノ併セテ之ヲ議決ス可シトハ町村ノ資力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘス又ハ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ラス町村ヲ合併スル等皆府縣參事會之ヲ議決シ併セテ其財產處分ニモ及フナリ此際町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ取捨スルハ勿論ナリ又第七條ニケ年トハ問ヒノ如ク二年ノ謂ヒニシテ前兩者ニ係レリ又公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル者二年ヲ經サレハ住民ノ資格ナク平ノ屬民ナリ又第十一條議員數偶數如何ント云フ是レ必ス偶數ヲ要セシニ非ラサリシモ議員數割合ヲ定ムルニ人口ノ多寡ヲ以テセシ故自然此ニ至レリ若夫偶數ニテ議半數ニ分ルルハ議長ノ決スル所ニ依ルヲ以テ敢テ支障ナカラン

○九番榎村 第十三條第一項ニ選舉人中直接町村稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員

ノ納ムル總額ノ半ニ當ル可キ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トスト有リ個ハ最多額ノ納稅者ヲ集メ其人等ノ納ムル稅額カ町村納稅者中全員ノ半額ニ當ルヲ一級トシ其餘ノ納稅者ヲ以テ二級トスルノ意ナリヤ又第二項ニ一級二級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハニ云々納額最多キ者十人乃至二十人ヲ集メ他ノ納稅者ト割合ノハ其内幾分カ餘レル者アラン其人ヲ除ケハ半額ニ至ラサル故矢張之ヲハ一級ニ入ル、者ナリヤ又第三項ニ選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被選人ハ同級内ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ選舉セラル、コトヲ得ト有ルハ一級ヨリ半數ヲ選ミ二級ヨリ半數ヲ選フノ意ナラン然ルニ被選舉人ハ大抵常ニキマリタル者ナレハ一級二級共ニ選舉人ノ屬目スル所始終甲人ニ在ラン今假リニ五人ノ議員ヲ要ストスレハ甲乙丙丁戊ト選フ可キニ一級ヨリモ二級ヨリモ先其一人ヲ選舉スルコトナラン既ニ第二十八條ニモ一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當リタルトキハニ云々一人ヲ選舉スルニ止マルヲ以テ常ニ一方ニ不足ヲ生スルカ如キ弊ナキヤ如何ン又第十五條ニ左ニ掲グル者ハ町村會議員タルコトヲ得ストト有リ其第二ニ有給ノ現職町村吏員トアリテ其吏員ハ町村會議員タルコトヲ得サルモ若シ名譽職吏員ニテ給料ヲ受ケサル者ハ議員タルコトヲ得ヘキヤ其退隱料ノミヲ受クル者ハ如何ン又第二十三條ニ其定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可シト有ルハ投票ノ末尾ナリヤ又其不足アルトハ始末ハ如何又第二十九條第二項ニ訴願ノ有無ニ拘ラスニ云々個ハ郡長ニ異議アルニ對シ町村長ヨリ訴願スル者ナランニ有無トハ如何ナル故ツ又其第三項ニ選舉ノ定規ニ違背スルコトアルトキ



ハ其選舉ヲ取消シ云々は是レ全体ヲ取消スノ意ナリヤ抑一人ノミナリヤ又第三十五條第二項ニ監督廳ニ差出コトヲ得ト有ル監督廳ハ郡役所及府縣廳ニテ或ル場合ニハ又内務省モ包含スルノ意ナリヤ又第四十四條ニ可否同數ナルトキハ再ヒ協議議決ス可シ云々之レ議長直ニ可否ヲ決シテ可ナラン其之ヲ再ヒスルノ意如何ン又第四十五條ニ何人ニ限ラス云々何人トハ即チ是レ議員ニシテ自己及其父母兄弟ト云フノ意ナリヤ此以下尙質問ノ箇所多シ一應此ニ止メン

○外番大森 第十一條町村會議員二級選舉ノ一事ハ稍ヤ込ミ入タリ詳細ニ涉リ説明ス可シ第一項選舉人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルトハ選舉人中最モ納額ノ多キ者ヨリ順ヲ立テ夫ヨリ最少ナキ者ヲ末尾トス例ヘハ百圓ノ町村稅ナレハ上ミハ十五六人ニテ五十圓ヲ納メ下ハ七八十人ニテ五十圓ヲ納ムルハ上ミ半分ヲ一級トシ下モ半分ヲ二級トス若シ下モ五十四圓ト云ヘル如キ端數ノ生スル有レハ兩級ノ間ニ在ル者ヲ上セテ一級トス事實上五十二圓五十三圓ト云フ如キ端數ノ生スルハ免レ難ク一人ヲ分割スル能ハサレハ已ヲ得ス之ヲ一級ノ方ニ組入ル、ナリ又兩級ノ間ニ五圓宛納ムル者二人アルハ永ク其町村ニ住居スル者ヲ以テ先ツ一級ニ入ル、等即チ是ナリ又選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ストハ一級ハ少人數ニシテ二級ハ多數ナルモ其被選舉人ハ兩級ニ通シテ選舉セラル、ヲ得ルヲ以テ孰レヨリ選舉スルモ妨ケ無ク即チ第十九條ニ據リ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行ヒ議員ノ半數ヲ選舉セシムルナリ然ルニ一町村ニテ非常ノ名望家アレハ一級二級ヨリ共ニ選舉セラル、コト有リ此場合ニハ其

人ノ欲スル所ニ隨ハシム故ニ一人ニシテ双方ノ議員ト爲ルカ如キハ之レ無キモノトス第十五條町村會議員タルヲ得サルハ專ラ有給吏員ヲ指ス又名譽職吏員ハ格別ナルモ成ル可クハ兼ヌルコト無キヲ要ス然レモ小町村ニシテ適當ノ人物少ナキハ之ヲ加フルモ敢テ妨ケナケン又退隱料ヲ受クル者ハ元ト有給吏員ナルモ現職ニアラサル限リハ議員ト爲ルモ不可ナキナリ第二十三條ノ末尾云々ハ定數五名ナレハ式ノ如ク五名ヲ投票ス可キニ或ハ六名ヲ記載スルコト有リ之ヲ無効トセス漸次其五名ヲ取り末尾ナル者ハ名望少ナキ者トシテ之ヲ棄却シ又五名投票ス可キヲ誤テ四名トセシ不足ノ投票ハ其數ニ加ヘテ計算スルナリ第二十九條訴願ノ有無云々ノ問ヒハ第一項ハ選舉人自身訴ヘヲ起スニ在リテ第二項ハ監督上郡長自ラスルコト有リ故ニ其訴願ノ有無ニ拘ラサルナリ又其第三項其選舉ヲ取消シトハ町村長誤テ選舉ノ定規ニ違背セシトハ全体ニ對シテ之ヲ取消シ又ハ一人ニ對シテ之ヲ取消スコトアルナリ監督官廳トハ府縣廳郡役所等ニ限ルニ非ス内務省マテニ及フ惣稱ナリ其順序ハ第一百八條ニ記載セリ然シ第三十五條ノ場合ハ多ク府縣廳ヲ指ス者ト知ラル可シ又第四十四條可否同數ナルハ議長之ヲ定ムル當然ナルモ成ル可クハ熟議セシムルヲ要ス再ヒスレハ大抵折合付クコト多シ故ニ此ノ如クセリ第四十五條議員ハ何人ニ限ラストハ別ニ深意アルニ非ラス止テ議員中何人ニテモノ意ナリ

○九番正直 第十三條本官解スル所概ネ内閣委員ノ辯明ニ同シ唯每級各別ニ議員ノ半數ヲ選フハ兩級各別ニ投票ヲ爲サシメハ每級ニテ同一ノ人ヲ選フコト無ル可キニ第二十



八條ニ至リ一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當リタルトキハト有ルヲ以テ疑ハシ生セリ何トナレハ一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當ル可キ筈ナケレハナリ個ハ第二十八條ニ於テ今一回ノ辯明ヲ要ス次テ問ハシ第五十三條第二項ニ「町村長及助役ハ第十五條第二項ノ第一乃至第五ニ掲載スル職ヲ兼ヌルコトヲ得ス」ト有リ然ルニ第十五條第二項ハ「一所属府縣郡ノ官吏ト云フニ起リ第五小學校教員ト云フニ終ル唯是一ヨリ五マテナリ若一ヨリ十ニモ及フナラハ之ヲ五ト爲シ其所ニテ止ム可キニ斯ク緻密ニ記セシハ何ノ意アリテ然リヤ又第五十六條ニ「町村會ノ議決ヲ以テ町村長ニ給料ヲ給スルコトヲ得」ト有リ個ハ三千口以上ノ町村ナル可キモ「其他總テ大ナル町村ニ於テハ町村條例ノ規定ヲ以テ助役一名ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得」トアリ其大ナル町村トハ三千口以上ニ係ルカ又五千口以上ニ係ル者ナリヤ又第六十條ニ「郡長ニ於テ前條ノ認可ヲ與ヘサルニハ郡參事會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス」云々はレ町村長及助役ノ選舉ニ係ル者ナリ若シ郡參事會之ニ同意セサルハ府縣參事會ノ同意ヲ要セリ又其第二項ニハ府縣知事認可ヲ與ヘサルニハ府縣參事會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス若シ府縣參事會同意セサルトキハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケテ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ得」トアリ是レ其認可ヲ與ヘサルニハ必ス郡參事會又ハ府縣參事會ノ同意ヲ要ストハ何等ノ爲メニ其同意ヲ要スルヤ知事郡長ハ認可權有ルモ無キカ如シ又第六十四條ニ「町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ處務便宜ノ爲メ云々毎區區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得」ト有リ此區長ハ全ク處務便宜ノ爲メナル可キニ第一百十三條ニハ「一區ヲ爲スモノ

特別ニ財產ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其一區限リ特ニ其費用ヲ負擔スルトキハ「云々又區會又ハ區總會ヲ設クルコトヲ得」云々ト有リ是レ始メ區ヲ設クルハ處務便宜ノ爲メナルニ斯ク財產ヲ有シ營造物ヲ設クルハ事實ニ於テ相違フコト無キヤ又第六十七條第二項中突然「府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ」ト掲ケ來レルモ未タ府縣參事會ノ裁決ヲ下サ、ルニ何ニ依テ不服アル可キヤ又第七十五條第三項ニ「内務大臣ハ省令ヲ以テ町村長及助役ノ給料額ヲ定メテ一般ノ標準ヲ設ク可シ」ト有ルハ單ニ其標準ノミニシテ各町村長及助役ノ給料ハ其町村會ノ議決ニ出ル勿論ナル可シ然ルニ其末文ニ「此標準ニ據リ難キトキハ特ニ内務大臣ノ許可ヲ求ムルコトヲ得」トハ是レ町村會之ヲ求ムルカ或ハ郡長又ハ府縣知事ヨリ求ムルカ此場合ハ此ノ如シト類例ヲ舉テ示サンコトヲ要ス又第七十六條中ニ「任期中自ラ招カサル事故ニ依リ其身行務ニ堪ヘサルカ爲メ退職スルトキハ」云々自ラ招カサル事故トハ何事ナリヤ是又例ヲ舉テ示サンコトヲ欲ス又第八十八條ニ「町村ハ其所有物及營造物ノ使用又ハ特ニ數個人ノ爲メニスル事業ニ付」云々特ニ數個人ノ爲ニスル事業トハ何等ノ物ナリヤ又第九十一條但書ニ三ヶ月以上滞在スル者ノ課税ハ滞在ノ初ニ廻リ徴收ス可シト有リ商人職人等ニ在テハ隨分滞在三ヶ月ニ渉ル者間マ有ル可シ是等ハ自己住居ノ地ニテモ町村税ヲ納ムル者ナルニ此ノ如ク二重ニ徴セラル、ハ迷惑ナラン個ハ其町村ニ寄留ヲ定メタルトカ或ハ何ントカ別ニ理由アル者ニ限ルヤ又第九十五條但書ニ「一時此職務ニ在ル者ハ」ト有リ一時トハ如何ナル場合ナリヤ又第九十六條ハ第三但書ニ官有山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル



事業ヲ起シ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其費用ヲ徴收スルハ此限ニ在ラスト有  
 リ本條ハ專ラ町村稅免除ニ屬スル者ヲ掲ケタルニ此但書ハ稍ヤ取除ケ法ニテ許可ヲ得  
 テ其費用ヲ徴收スルヲ得ルモ此山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル事業ヲ起シタルハ山林荒  
 蕪地ノ爲メニセシモノナリヤ又ハ自己利益ノ爲メニ起シタルモノナリヤ又第百十五條  
 第一項ニテハ數町村ノ事務ヲ共同處分スル爲メ其協議ニ依リ監督官廳ノ許可ヲ得テ其  
 町村組合ヲ設クルコトヲ得ト有リテ其第二項ニテハ協議整ハス又ハ其事情ニ依リ合  
 併ヲ不便トスルトキハ郡參事會ノ議決ヲ以テ數町村ノ組合ヲ設ケシムルコトヲ得ト  
 有リ第一項ニテハ監督官廳ノ許可ヲ要シ第二項ニテハ郡參事ノ議決ニ據ラシメ別ニ監  
 督官廳ノ許可ヲ受ケシムルコト無キハ如何シ又第百十八條ニテ町村行政監督階級ヲ定  
 メ人口五千未滿ノ町村ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ行ヒ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ行フ之  
 ヲ終局トスト言ヘリ然ルニ人口五千以上ノ町村ニ於テハ第一次ニ郡長監督シ第二次ニ  
 府縣知事監督シ第三次ニハ内務大臣之ヲ監督ストノミアリテ終局ノ文字ナシ此ニハ終  
 局ト云ハサルモ内務大臣ノ上ニハ監督ス可キ者ナキヲ以テ其意自ラ通スルモノトシテ  
 終局ノ文字ヲ省キタリヤ抑又別ニ理由アリヤ又第百十九條但書ニ第百十八條ニ從  
 ヒ府縣知事若クハ府縣參事會ノ議決ヲ以テ終局ト爲ス場合ハ此限ニ在ラスト有ルモ  
 第百十八條ニハ裁決ノコト見ヘス其裁決ヲ以テ終局ト爲ストハ如何ナル場合ヲ指セシ  
 ヤ之ヲ問フ又第百二十五條第一ノ但書ニ償還期限三年以内ノモノハ此限ニ在ラスト  
 アリテ其第三ニハ直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル割増稅ヲ賦課スル事ト有リ其三年

以内ノモノト又ハ百分ノ五十ヲ超過セサルモノトヲ定ムルハ町村會ノ決議次第ナリヤ  
 又ハ地方官ノ之ニ立入ル可キヤ又第百三十二條ニ「前條ノ外特別ノ事情アル地方ニ於  
 テハ町村會及町村長ノ具申又ハ郡參事會ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律ノ條規ヲ中止  
 スルコトヲ得」トアリ個ハ町村會町村長ノ具申ヲ直ニ内閣ニ出スノ意ナリヤ或ハ他ノ  
 官廳ヲ經由シテ出ス者ナリヤ又第百三十六條ノ「此法律ハ年月日以後地方ノ情況ヲ裁  
 酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣ノ指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シ」トハ例ヘハ一二ノ  
 府縣知事我管轄内ノ情況ヲ裁酌シ之ヲ施行スルヲ適當ナリトスレハ直ニ具申ス可キカ  
 或ハ各府縣大抵同一ニ出ルヲ待テ具申ス可キ者ナリヤ若シ或ル一二ノ府縣ノミ施行ス  
 ル者トスルモ其府縣ハ第百三十七條ニ掲ケタル從前ノ成規ハ總テ廢止トナル可キカ甲  
 ハ從前郡區町村編制法ニ依リ從前ノ成規存スルニ乙ハ新町村制ニ據リ之ニ抵觸スル從  
 前ノ成規ヲ廢止ストセハ彼此錯綜ノ憂ヒ無キヤ

退席

- 六十三番 渡邊 驥
- 六十番 伊丹 重賢
- 二十八番 原田 一道
- 十番 大給 恒
- 四十八番 鳥尾小彌太

○外四番大森 九番ハ第二十八條第二項ヲ以テ答辯セヨト云ヒ一級二級次第ニ投票セシ  
 メハ一人ヲ兩級ニテ選舉スルコト無ル可シト云フモ投票ハ各人隨意ニ爲ス所ニシテ又  
 被選舉人モ一級ノ選舉ニ應スルモ二級ノ選舉ニ應スルモ是皆其人ノ欲スル所ノマ、ナ



リ又第五十三條第二項ノ第一乃至第五トセシハ分明ナラシムル爲メノミ單ニ第十五條ト云フノミニテハ混シ易カラシコトヲ恐レテナリ又第五十六條ノ助役一名ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得トハ人口三千乃至五千ノ差別ナク唯大ナル町村ニテ必用アル場合ニハ之ヲ許スノ意ナリ是レ其事務繁劇ナルカ或ハ專門技術家ヲ要スル場合ニ於テ此例ヲ用ユ又第六十條ノ第一項第二項ニ認可ヲ與ヘサルニハ參事會ノ同意ヲ要セリ若シ之ニ同意セサルハ云々トセシハ多數選舉ニ成リシ者ヲ認可セサルハ其故ナカル可カラス殊ニ大切ナルヲ以テ斯ク鄭重ニセシモ第三項第四項ノ如キ郡長及知事ハ既ニ參事會ノ同意ヲ得テ認可ヲ與ヘサルニ極リタルハ之ニ對シ認可ヲ求ムルニハ一層上ナル監督廳ニ向テ請ハサルヲ得ス是レ前項ト趣キヲ異ニセリ又第六十四條町村ノ區域廣濶又ハ人口稠密ナルヲ以テ之ヲ數區ニ分チ區長ヲ置クハ處務便宜ノ爲メニシテ固ヨリ其町村ノ選舉ニ出ル者ナレハ成ヘキ丈ケ自治ノ精神ヲ達セシメ且適當ナル財產ヲ所有シ營造物ヲ設クル等ノ事アルカ爲メナリ又第六十七條單ニ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ云々トセシハ町村吏員ノ職務權限ノ惣則ナレハ斯ク文章ヲ略セシモ其詳細ハ第一百九條町村行政監督ノ所ニ記載セリ即チ郡長若クハ郡參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事若クハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得ト爲セル是ナリ而シテ之ヲ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得セシムルハ法律權限ニ關スル事柄ナルヲ以テナリ又第七十五條町村長及助役ノ給料ノ標準ヲ設ケテ其程度ヲ保タシムルハ內務大臣ノ權ニ在リ故ニ其定メタル標準ニ

據リ難キハ特別ニ許可ヲ求メサルヲ得ス是レ各町村ヨリ內務大臣ニ求ムル所ナルモ其手續ハ郡長府縣知事ヲ經由スルハ他ノ例ニ同シ又第七十六條中ニ任期中自ラ招カサル事故ニ依リ云々トハ己レノ故意ニ非ス病ニ因リ不具者トナルノ類ナリ又第八十八條ニ特ニ數個人ノ爲メニスル事業トハ一般ニ拘ラス二三三人乃至六七人ノ爲メニスル用水等ノ如キニ關スル者ノ謂ヒナリ又第九十一條ノ三ヶ月以上滞在スル者トハ町村ノ屬民ニ非ラサルモ永ク滞在セハ其地ノ義務ヲ負ハサルヲ得ス之ヲ三ヶ月以上トセシハ最少限ヲ示セル者ニテ大抵適當ヲ得タリト信ス又第九十五條ノ一時此職務ニ在ル者トハ一時技術家ヲ雇使スル類ナリ又第九十六條山林荒蕪地云々ノ事項ハ即チ是レ官有山林荒蕪地ノ爲メニ利益ヲ起ス者ヲ謂フ又第九十五條第二項郡參事會ノ議決ヲ以テ組合ヲ設ケシムルハ是レ即チ監督官廳ノ立チ場ヲ以テ之ヲ行フ者ナリ又第一百八條終局云々ハ問ヒノ如ク內務大臣ニハ其上無キヲ以テ不用ナルモ府縣知事ニハ尙ホ上ニ監督官廳アルヲ以テ終局ノ字ヲ必用トセリ又第一百九條但書裁決ヲ以テ終局トストハ前條ノ監督權ヲ言ヘリ是レ本條ノ取除ケ法ナリ又第二百二十五條第一ノ償還期限三年以内モノト第二ノ百分ノ五十ヲ超過セサル割増稅ヲ賦課スルハ監督官廳ノ許可ヲ要セサルナリ又第三百二十二條具申ノ手續ハ順序ヲ經テス可キ者ナルモ條文ハ單ニ其精神ノ存スル所ヲ示セリ又第三百三十六條施行期限ハ全國悉ク一樣ニスルニ非ス甲乙其途ヲ殊ニスル場合アラシ是レ所謂地方ノ情況ニ依ル者ナリ而シテ第三十七條ノ如キ本案ヲ施行スル地方ハ逐次從前成規ハ廢止ニ屬スルヲ以テ更ニ支障ナカル可シ



○五十番 三浦安 本案ニ對シテ大体ニ同意ナリ本官疑義アルモ議論ニ涉ルヲ恐レ姑ク質問ヲ止メ別ニ建議セン本案ノ如キ浩瀚ノ議案ニ對シ銘々質問ヲ爲サハ更ニ際限ナカル可ク且ツ本案ハ諸法律基礎トモ爲ル可キ大切ナル法案ナレハ之ヲ古今内外ニ照査シ論究スルヲ要ス左スレハ到底此席上ニテ盡ス能ハス因テ例ニ隨ヒ調査委員ヲ選定シ之ニ付託セントス然シテ質問又ハ意見ヲ有スル各位ハ其席ニ就テ陳述ス可シ是レ投票ヲ以テスルモ指名ニ成ルモ議長席ノ爲ス所ニ依ラン

○十四番 渡邊清 本官モ之ヲ賛成ス我國從前ノ狀態ナラハ強チ之ヲ行フヲ要セサルモ既ニ立憲政体ヲ立サセラル、事ニ決定セシ上ハ其方針ニ循ヒ各國ノ成例ニ則リ我國ノ慣習ヲ考ヘ適當ノ法ヲ設クルハ然ル可キ事ト信ス而シテ本案ハ地方制度ノ基本トナル可キ者ナレハ其權利ノ與フ可キハ之ヲ與ヘ其義務ノ負ハシム可キハ之ヲ負ハシム可シ然ルニ本案中ニ租稅徵收法ノ改正アルヲ見ス本案ニシテ實施スルニ至ラハ是非其徵收法ヲモ改正セサルヲ得ス元來歐米各國ノ租稅徵收法ハ我國及ヒ支那ト其趣ヲ異ニシ若干ノ所得アレハ若干ノ租稅ヲ出サシムルト云フカ如キ法ニシテ即チ人民ノ國家ニ對スル義務上ヨリ生スル者タルコトヲ明ニセリ是等ノ事項ハ本案施行上必要ナル者ナラン又九番ヨリ多クノ質問アリ本官モ不審ノ箇條少ナカラス第一ニ第四條ノ首メニ市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ云々此文ノ如クンハ市ニ市會アルモ市參事會ナキカ如シ然ルニ市制議案ヲ見レハ市ニ參事會アルハ猶郡ニ參事會アルカコトシ其他之ニ類スル者アルモ此ニ之ヲ問フ事ヲ須ヒス五十番ノ建議成立セハ調査委員席ニ就テ質問ス可シ

○三十五番 津田眞道 本官意見ヲ述ントスルモ既ニ午時ヲ過ク如何ス可キ  
○議長 本日ハ第一讀會ヲ議了セントス意見アラハ今ニ於テ述フ可シ

退席

- |      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| 六十八番 | 岡内 重俊 | 二十五番 | 中島 錫胤 |
| 二十七番 | 尾崎 三良 | 七十一番 | 何 禮之  |
| 二十四番 | 大迫 貞清 |      |       |

○三十五番 津田眞道 然ラハ本官ノ意見ヲ述ヘン抑、此ノ如キ法案ヲ發セントセハ善ク其國ノ成立ヨリ仔細ニ詮議セサル可カラズ本案ノ如クスルハ第一ニ町村制第二郡制第三府縣制ト下ヨリ上ニ及フ者ナルモ是レ大ニ施行順序ヲ顛倒セシ者トス我國ノ沿革ニ依レハ上ヨリシテ下ニ及フ可キハ當然ナリ昔シ神武天皇ノ起ルヤ郡村區々ニ分レ争鬭紛々タルヲ戡定統一セラレ主トシテ專制ノ政体ヲ立テ玉ヘリ其中古ニ及ンテ支那郡縣ノ制ニ倣ヘシモ依然專制政体ヲ取レリ夫ヨリ武家政事ト爲ルニ及ンテ彌々專制盛ニ行レタリ此間曾テ町村ニ自治モ無ク分權モ無シ一ニ中央政府ノ專權ニ歸シ其甚シキニ至テハ人民ノ資産ヲモ自由轉移スルニ至レリ且公分田ノ制ヲ以テ下ヲ馭シ子弟多レハ田地ヲ増シ少ナケレハ之ヲ減ス其町村獨立ト云フコトハ絶テ無キ久矣是レ歐米各國ト大ニ其成立ヲ異ニス本邦ノ制度聖天子全國ニ臨ミ萬機ヲ統ヘ政事ノ根軸トシ玉ヘリ是ヨリ分レテ府縣トナリ郡ト爲リ市ト爲リ町村ト爲ル古來ヨリ幾變革ヲ經ルモ百般ノ事常ニ中央ヨリ割出シ四方ニ及フ極論スレハ人民ノ資産ト雖モ猶御物ノコトシ況シテ其土地



ヲ決シテ人民ノ私有ニ非ス維新ノ後地券ヲ發セシヲ以テ其性質ヲ一變セシモ外國ノ如キニ異ナリ歐米各國ノ自治分權ノ制度粲然トシテ立チ盛ニ行ハル、ヲ見レハ實ニ羨望ニ堪ヘサルモ是レ一朝一夕ノ能スル所ニ非ス然ルヲ從前慣行如何ニ關セス一朝法律ヲ以テ之ヲ行ハントス其成否如何アル可キカ頃日各府縣ヨリ建白書ヲ携帶シ參院スル者ヲ見レハ稍自治ノ精神アリ相當ノ智識ヲ具ヘタル如シ其他歐米政治ノ學ヲ修メタル壯年輩ナキニ非ラサルモ一般ノ人民ニ於テハ自治ノ何物タルヲ知ラサル者洵々皆是レナリ古來我國ノ名主庄屋ハ今日ノ戸長ノ如ク政府ノ爲メ年貢取立ノ勤メニ從事セシ者ナリ今ヤ此町村制ヲ布クニ至ラハ租稅徵收ノ義務ハ免ル可キ者ナラン何トナレハ租稅徵收事務ヲ町村ニ負ハシムル理ナケレハナリ然ルニ本案中上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事ノ法文アレハ或ハ租稅徵收ノ事モ取扱ハシメントスルカ全体今回ノ組織ニ依レハ町村長ハ名譽職ニテ無給ナレハ表面ヨリ之ヲ見ルハ道德主義ニテ甚タ美ナルモ果シテ實際ニ適スルヤ否ヤ知ル可カラズ殊ニ其名譽職ナル町村長ニ向ヒ無給ハ其儘無給トシテ國庫ニ入ル可キ租稅徵收マテ取扱ハシムルトハ何分無理ナル仕方ト考フ未タ其結着ヲ聽カサルモ若シ町村長ニ取扱ハシムルトナラハ別ニ好工風ナカル可カラズ又某官ノ言ニ本案ハ二十三年國會開設ノ準備ニ必要ナリト本官思フニ國會ハ國會ニシテ町村制ハ町村制ナリ各其宜シキニ循フヘシ抑、政体ハ國ニ適スルヲ要ス左レハ歐米各國ニ君主國アリ民主國アリ其制度ヲ異ニス我國立憲政体ヲ創設セントスルハ亞西亞大洲未曾有ノ大業ナレハ制度ニ經濟ニ百般ノ事皆國体國情ニ適

當ナラシメサル可カラズ若シ漫ニ各國ノ成例ニノミ摸倣セハ是レ我國ノ立憲政体ニ非ラサルナリ此町村制ノ如キ輕々看來レハ彼ノ制ニ倣ヒタル如キモ内閣委員ノ言ニ依レハ數年前ヨリ内務省ニテ別段ノ委員ヲ設ケ取調ヘタリト眞ニ然ラハ我國ニ適當ス可キ者ナルカ本官ヲ以テ見レハ獨リ此案ノミ進ムニ過キ人民ノ運行ハ甚タ遲々トシテ其懸隔スル甚キヲ覺エ未タ適當スルヤ否ヤ疑ヒ無キ能ハス要スルニ斯ル重大ナル議案ハ審案熟慮ノ後ニシテ初メテ定見ノ立ツ者ナレハ餘リ至急々ト唱ヘ匆卒ニ議定スルハ好マシカラス既ニ内務省ニテモ數年間ニシテ漸ク草案ノ成リ又取調委員ニ於テモ數月間ヲ費シタル程ナレハ本院ニテモ至急ニ議定スル能ハサルヤ明カナリ本官素ヨリ本案ノ同意者ニ非ラス若シ之ヲ行ハントセハ先ツ國家ノ大本タル憲法ヲ定メ夫ヨリ府縣制ヲ發シ次テ郡制市制町村制ニ及フヲ以テ順序ヲ得タリトス本案ヲ先キニ發スルハ我國ノ事體ニ適當セサルナリ内閣大臣ノ賢明ナル我國ノ形勢ニ通シ兼テ各國ノ時情ヲ曉リ此案ヲ發セントスルニ在ル可キモ本官ハ我國ノ愚夫愚婦ニ至テハ富モ無ク智モ無ク依然タル昔時ノ人間ナリ逆モ歐米各國人民ニ對スル法律ヲ以テ我人民ヲ待ツ能ハスト信ス人民智識ヲ進歩セシムルハ宜シク進化論ノ說ノ如ク序ヲ追テ爲ス可シ俄カニ政府ノ力ヲ以テ其骨格ヲ改メ色ヲ換ヘ鼻ヲ隆フセントスルハ到底能ハサル所ナリ聊カ本案ニ反對スル意見ヲ述フルコト然リ

○議長 討論質義既ニ盡キタリト認メ第一讀會了ル此ニ五十番ヨリ調査委員ヲ設クルノ建議アリ各位ニ問ハン之ニ同意者ハ起立セヨ



起立者三十二人

○議長 多數ナルヲ以テ五十番ノ建議ニ決シ當席ヨリ其調査委員ヲ指名選定セン八番楠本  
 正九番榎村 十四番渡邊 二十七番尾崎 四十九番神田 五十番三浦 五十四番加藤 右七議員ヲ  
 以テス其調査報告ヲ待テ第二讀會ヲ開カン散會セヨ  
 午後第一時三十分閉場

○明治二十年十二月二十三日 第二讀會

議長 大木  
 齋任  
 出席議員

- |     |    |    |      |       |
|-----|----|----|------|-------|
| 三番  | 永山 | 盛輝 | 十五番  | 大久保一翁 |
| 四番  | 石井 | 忠亮 | 十七番  | 壬生 基修 |
| 六番  | 宮本 | 小一 | 十九番  | 田中 芳男 |
| 七番  | 尖戸 | 璣  | 二十番  | 岩村 定高 |
| 八番  | 楠本 | 正隆 | 二十二番 | 中村 正直 |
| 九番  | 榎村 | 正直 | 二十三番 | 久我 通久 |
| 十二番 | 黒田 | 清綱 | 二十五番 | 中島 錫胤 |
| 十四番 | 渡邊 | 清  | 二十七番 | 尾崎 三良 |

- |      |    |     |      |       |
|------|----|-----|------|-------|
| 二十八番 | 原田 | 一道  | 五十一番 | 井田 讓  |
| 三十番  | 木田 | 親雄  | 五十二番 | 由利 公正 |
| 三十四番 | 小畑 | 美稻  | 五十四番 | 加藤 弘之 |
| 三十五番 | 津田 | 真道  | 五十六番 | 林 友幸  |
| 三十六番 | 安藤 | 則命  | 五十七番 | 神山 郡廉 |
| 三十七番 | 山口 | 尙芳  | 五十八番 | 鍋島 幹  |
| 四十番  | 綿貫 | 吉直  | 五十九番 | 長松 幹  |
| 四十一番 | 長岡 | 護美  | 六十番  | 伊丹 重賢 |
| 四十三番 | 田邊 | 太一  | 六十三番 | 渡邊 驥  |
| 四十四番 | 坂本 | 政均  | 六十五番 | 西 周   |
| 四十五番 | 時任 | 爲基  | 六十八番 | 岡内 重俊 |
| 四十七番 | 野村 | 素介  | 六十九番 | 上杉 茂憲 |
| 四十八番 | 鳥尾 | 小彌太 | 七十番  | 東久世通禰 |
| 四十九番 | 神田 | 孝平  |      |       |

内閣委員

- |      |         |       |
|------|---------|-------|
| 番外二番 | 法制局參事官  | 水野 遵  |
| 番外三番 | 内務書記官   | 白根 專一 |
| 番外四番 | 内務大臣秘書官 | 大森 鐘一 |



午前第十時開場

番外五番 内務省參事官 荒川 邦藏

○議長 本日ハ第五百五十九號議案第二讀會ヲ開ク此ニ調査委員ノ修正報告案アリ孰レヲ以テ本案ト爲ス可キヤハ調査委員ヨリ修正ノ理由陳述スル有ル可キヲ以テ其後ニ取決セン

○八番楠本正隆 本官等七名前會曾テ調査委員ノ任ヲ受ケタルヲ以テ直チニ調査委員會ヲ開キ審議スルコト此ニ二十有餘日斯ク日時ヲ費シタルハ本案ノ浩瀚ナル百三十餘條ノ多キニ及ヒ而シテ我全國中ノ町村ヲシテ各々一家ヲ爲スト同様ナル改革ヲ爲サシムルニ在レハ人民ノ幸不幸ニ關係スル極メテ大ナリ之ヲ刑法治罪法ニ比スレハ更ニ大切ナル法案ナレハナリ委員會ニテ審議ノ末之ヲ修正セル其要領ヲ摘述スレハ今日國勢ノ進歩ヲ圖ルニハ第一町村ノ精神ヲ養ヒ其基礎ヲ鞏固ニシ着々歩ヲ進ムルニ非サレハ得テ望ム可カラス夫レ家屋ヲ營造スルニハ其基礎ヨリ初メ國家ヲ建立スルニハ町村自治ノ團結ヨリ創メサルヲ得ス是レ其大体ナリ而シテ本案ヲ通讀スルニ意義明瞭順序秩然トシテ近時稀ニ見ル所ノ好議案ナリ然レモ本官等意見ノ之ト其途ヲ異ニセシ者アリ何ツヤ曰ク其町村ノ大小ニ因テ階級ヲ立テ人口ノ多少ヲ以テ差等ヲ別チ町村長以下給料ノ有無ヲ定ムルニモ町村長及助役選舉ノ認可ヲ受クルニモ監督官廳ノ區域ヲ設クルニモ皆此ノ階級差等ニ據リシハ法制上如何アル可シト是レ委員會ノ一問題ト爲リ議論數日ニ涉リタル所ナリ然レモ其議論ノ多端ナルニ比レテハ修正スル所甚タ多カラサリキ個ハ畢

竟本案結構ノ善キニ依レリ本官等ノ修正未タ必シモ善ク盡シタルニ非ラサレハ幸ニ各位ノ名案以テ之ヲ改修アランコトヲ望ム是ヨリ逐條ニ涉リ修正ノ理由ヲ述ヘン目錄第一章第二款「屬民」ヲ住民トセシハ本文ニ於テ之ヲ述ヘン此ニ第五章ノ「各部落」ハ各部落ニテ足リ落ノ字ハ衍ナリ故ニ之ヲ削ル第四條「市ノ境界ヲ變更スルモノハ」ト有ルヲ境界ニ涉ルモノハト修改セシハ單ニ市ノ境界變更ナラハ本案ノ與カル所ニ非ラス是レ必ス町村境界ヨリ市ノ境界ニ連ラナル者ナルヲ以テ本案ノ意ヲ助ケテ此ノ如クセリ又第六條「屬民」ヲ住民トシ第七條「住民」ヲ公民トセシハ之ヲ住民ト謂フ尙可ナルモ之ヲ屬民ト謂フニ至テハ唐突タルヲ免レス法律上ノ稱呼ニ不穩當ナリ殊ニ屬民モ均シク之レ住民ナレハ其兩者ヲ別ツノ意義ニ乏シ故ニ種々論究ノ末其町村ニ住居ヲ占ムル者ヲ總テ住民トシ又若干ノ國稅ヲ納メ議員町村長トナル可キ公權ヲ有スル者ヲ公民トセリ未ダ敢テ足レリトセサルモ本案ノ屬民ト云ヒ住民ト云フニ比スレハ優ル萬々ナリト信ス第七條以下修正ノ意皆同シ又第八條「六年間無給ニシテ」ト有ル無給等ノ五字ヲ削リタルハ名譽職ヲ擔任スルハ其義務ニシテ無給タルハ論ナキカ故ナリ又第九條ニ陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス」ト有ルヲ參與セサルモノトストセシハ本案ノ如クシテ現役ニ服スル者モ亦前項ト同シク本案ヨリ擯斥セラレタルノ看アルヲ以テ斯ク其語氣ヲ和ケタリ又第十五條第四項「後任者」ト有ル任ノ字ヲ削リタルハ是レ現任者ニ非ス新ニ當選セシ者ナレハ任ノ字更ニ當ラサルカ故ナリ又第十六條ニ「退任ノ議員ハ再ヒ選舉」云ヤト有ルヒト舉ノ二字ヲ削リタルハ他ノ例ニ倣ヒ文字ノ煩



ヲ省ケルナリ又第二十三條末項「之ヲ專決ス」ノ專ノ字ヲ削リタルハ無用ノ字ナルニ由ル又第二十九條第二項郡長ハト有ルヲ郡長ニ於テトシ効力ニ關スルト有ルヲ効力ニ關シトシ「異議アリテ重要ノ理由アリト認ムルニ於テハ」ヲ異議アルトキハトシ第三項「法律上ノ資格ヲ」ト有ルヲ其資格ノ要件トシ其下ノ「合格セサル被選舉」ノ八字ト其末行ノ「其」一字ヲ削リタルハ是レ主義ニ關スルニ非ス專ラ文字ヲ整頓スルト文義ヲシテ解シ易カラシムルカ爲メナリ而シテ要件ノ字ヲ加フルカ如キハ甚タ其必要ナルヲ覺フ又第三十二條「事務」ヲ事件トシ「協議」ノ二字ヲ削リタルハ町村長以下吏員ノ取扱フ所ヲ事務ト云ヒ町村會議ニ係ルヲ事件ト爲スノ便宜タルヲ以テナリ又會議ハ協議ニ非ス決議ヲ要スルヲ以テ協議ノ二字ヲ不用トセリ他條ニアル者又之ニ同シ又第三十七條第三項ニ「其訴願」ト有ルヲ本條ノ訴願トセシハ既ニ第二項ニ前項ノ訴願ト有ルヲ以テ見易カラシメンカ爲メ此修正アリ又第三十八條「受ク可キモノニ非ス」ヲ受ク可ラサルモノトストセシハ原案ノ如クシハ稍ヤ注釋ニ似タリ修正ノ意ハ議員ノ性質ヲ確ト正サンカ爲メナリ又第四十二條「開議」ヲ開會トセシハ開會ト云フハ自ラ通義ニ屬セリ之ヲ故ラニ開議ト云フキハ何カ尋常町村會ノ外ニ開議式ニテモ有ルヤノ間違アランコトヲ思フテナリ又第四十五條議員ハ何人ニ限ラスト有ル何人ノ六字ヲ削リタルハ眞ニ無用ナルニ由ル又第四十六條「選舉ス可キ者」ノ字ヲ削リ其ノ字ヲ加ヘタルハ選舉人ト被選舉人トヲ區別シ難キヲ以テ其字ヲ加ヘ判然町村吏員ノ其人ナルコトヲ明ニセリ又第五十三條但書ヲ削リタルハ曾テ此但書ノ要用ヲ內閣委員ニ問ヒタルニ若シ有給町村

長及助役ナラハ他ノ町村人ヲ以テ之ニ充ルコトヲ得ルモ本條ノ場合ノ如キ無給ニ限ル所ニテハ是非此取除法ヲ要スル故ニ之ヲ掲ケタリト答フ其意一應尤モナルモ之ヲ要用ナリトシテ此ニ掲ケハ他條ニモ亦之ヲ掲ケサルヲ得サルノ必要ヲ生ス畢竟之レ無キモ疑ヒナク之レ有リテ却テ錯綜スルノ煩ヒアレハナリ又其二項ニ「第二項ノ第一乃至第五」トアルノ第一云々六字ヲ削リタルハ此ニ之ヲ掲グルノ必要ナク却テ事實ニ齟齬スルヲ恐レテナリ又第五十五條但書ヲ全削セシハ是又要用ナク之ヲ存スレハ法文ノ正格ヲ失スルヲ以テナリ又第五十八條「監察役員」ト有ルヲ重役トセシハ會社ニハ社長及監察役員ノミナラス尙ホ頭取支配人等ノ重立タル役員アリテ是ヲ重役ト稱セリ故ニ斯ク修正シテ會社重立タル役員ヲ網羅セリ又第五十九條「人口五千未満」云々又「人口五千以上」云々又「人口一萬以上」云々總テ之ヲ削除シ町村長及助役ノ選舉ハ悉ク郡長ノ認可ヲ受ク可シトセシハ人口多少ノ差ヲ以テ町村ヲ區別スルノ謂レ無シトスル是レ其一ナリ又町村特立ヲ保タシムルニハ勢イ地方官ノ責任重カラサルヲ得ス是レ其二ナリ個ハ彼此論アリシモ歸スル所事務錯亂ノ憂ヒ無ク處置一齊ニ出テ甚タ時宜ニ適セリトス又第六十條第二項及第四項ヲ全削シ第三項ニ修正ヲ加ヘシハ第五十九條ノ修正ニ因リ自ラ牽連シ來リタル者ナリ又第六十一條「認可」ノ權アル監督官廳「云々」ヲ削リ單ニ郡長トセシハ郡長ニ認可權ヲ與ヘタルニ因ル是レ前條ノ意ニ同シ又第六十七條ニ二ヶ所ノ修正ハ之ヲ再議トセシハ前述ノ如シ又「命令」ヲ勅令トセシハ命令ニモ自ラ輕重アリテ事同シカラサルモ議決ノ執行ヲ停止スルハ容易ナラサル事柄ナルヲ以テ之ヲ勅令トセリ



其第五「懲戒處分」ノ上ニ其ノ字ヲ加ヘシハ稍ヤ語氣ヲ強フスルノ意ニ出ツ又第七十六條準據ス可シノ「ス可シ」ヲ下ニ移シ依ル可シニ改メシハ文章ノ完全ヲ求メシニ依ル第八十條「不動産」ノ上ニ其ノ字ヲ加ヘシハ新ニ設クル財産ナルヲ明ニスル爲メナリ又其第二項「資金」ヲ金穀トセシハ臨時收入ハ金員ノミニ限ラサルニ因ル又第八十二條「町村ノ共有地」ト有ルヲ町村有ノ土地物件ヲトセシハ一ツノ共有地ノミナラス總テノ不動産ヲ含有セシメントスルニ出ツ又第八十三條「町村住民」云々十七字ヲ加ヘ「前條ノ使用權」云々ヲ使用スル權利ト改メシハ第八十二條修正ノ意ヲ受ケ其事實ヲ明カニセンカ爲メナリ又第八十四條「其」ト「使用」ヲ削リ第八十三條ト其土地ヲノ字ヲ加ヘタルハ義ノ足ラサルヲ補フニ在リ第八十五條ノ修正モ亦然リ第八十八條ニ付ヲ加ヘタルハ一見シテ其使用者ヨリ徴收スルノ意ヲ示サンカ爲メナリ又第八十九條其一ニ於テ町村稅ノ名目ヲ改メタリ原案ノ如ク割増稅ト云フハ國稅府縣稅ニ更ニ割増稅ヲ賦課スル如キ嫌ヒ有リ故ニ之ヲ國稅府縣稅ノ附加稅トセリ其二ニ「特別ノ直接又ハ間接町村稅」ト有ルヲ直接又ハ間接ノ特別稅トセシハ町村ノ字既ニ前ニ「町村稅」トシテ賦課スル云々ト有リ再掲スルヲ要セス且直接間接共ニ是レ特別ノ稅ナルヲ以テ附加稅ニ對シ之ヲ特別稅トセリ又末項ノ「附加シ且」ヲ割合ヒトセシハ附加ノ字今ハ稅名トナリシヲ以テナリ又第九十條「此法律施行ノ際現行」ヲ從前トセシハ原案ノ如クハ現行ト新法ト混シ文字多クシテ却テ意ヲ達セス故ニ簡明ヲ求メテ然カセリ又第九十二條ノ修正ハ既ニ土地有レハ家屋ナカル可カラス僅カニ其足ラサルヲ補ヒタリ又第九十三條第一項修正

ノ意ハ前ニ既ニ述ヘタリ又新ニ「前項ノ町村稅」云々ノ一項ヲ加ヘシハ所得稅法第二條ニ依レハ國稅地方稅區町村費等ヲ除キタルモノヲ以テ所得ト爲スノ原則ナレハ之カ町村稅ヲ控除ス可キハ固ヨリ論ナシ故ニ之ヲ明記シテ本案ノ不備ヲ補ヘシナリ委員同列他ニ其人多シ本官ハ言フ此ニ止メ他ノ同列ノ說明ニ讓ラン

○四十九番 神田 孝平

本官モ調査委員ノ一人ナリ八番ノ後ヲ受ケ聊カ陳辯ス可シ第九十五條其二ノ「所得并退隱料其寡婦孤兒扶助料ノ半額」トアルヲ所得ノ半額并其退隱料及寡婦孤兒扶助料ノ全額ト爲シ而シテ其但書ヲ全削セリ原案ノ如クナレハ官職ニ在ル者ヨリ寡婦孤兒ノ扶助料マテ其所得ノ半額ヲハ免除セスシテ徴收セラル官職等ニ在ル者ニ於テ尙ホ可ナリト雖モ退隱料寡婦孤兒ノ扶助料ニ半額ヲ課スルニ至テハ輕重其當ヲ失ス故ニ官職以下ニ在ル者ニ其半額ヲ免除シ退隱料以下ニハ全額ヲ免除セリ上文既ニ半額トセシ上ハ但書ノ一時職務ニ在ル者ヲ免除ス可キハ謂フヲ待タサルヲ以テナリ又第九十六條ハ地所ヲ土地ニ改メタルノミ又第一百一條第二項「無力」ヲ無資力トセシハ常例ニ循ヘリ又「其他」ノ場合ト在ルヲ其年度ヲ越ユル場合トセシハ納稅上算當ニ係ル場所ニシテ之ヲ其他ト云フモ年度ヲ超ユル事柄ニ外ナラサレハ其事ノ明白ナルヲ要セリ第一百二條ノ修正ハ前ニ八番ノ言アリ又第一百五條第二項「通例二年以後ニ始マルモノト爲シ」ヲ三年以內ト爲シニ改メ其下ニ募集ノ時ヨリノ六字ヲ加ヘタルハ二年以後ニテハ四年ニ及フ可キカ乃至五年ニ至ル可キカ更ニ極リ無キ故此ニ一年ヲ加ヘ之ヲ三年ト爲シ之ヨリ後ル可カラサルコトノ意ヲ明示セリ其募集ノ時ヨリトセシハ此公債還了期限ハ三



十年以内ナルモ其起算ハ償還初期ニアリヤ又ハ募集ノ時ナリヤ判然セサルヲ以テ募集ノ時ヨリ三十年以内ナルヲ知ラシメタリ末文ニ「一年度内」ト有ルヲ其年度内トセシハ不分明ノコトナキヲ欲シテナリ又第百八條第二項「受クルヲ要セス」ヲ受ケトシ無用ノ文字ヲ省キ事柄ヲ簡明ニス又第五章部落ノ「落」ヲ削リタルハ此文字ヲ要セスシテ其意自ラ通シ且從來法律上用ヒタル例ナキニ依ル又第百十八條町村行政ノ監督ニ人口ノ多寡ヲ以テ次第スルハ不公平ナリトシテ其差別ヲ除キタリ是レ第五十九條町村長及助役選舉ノ認可ニ於ルト其主旨ヲ同ウス又第百十九條但書ヲ全削セシハ前條ノ修正ニ因リ無用トナリシ其第二項ノ修正ハ文字ヲ前後シテ意義ヲ明暢ナラシメリ又其第五項官廳ノ上ニ當該ノ二字ヲ加ヘタルハ單ニ官廳ト云ヘハ其意甚タ廣キニ失ス是レ監督官廳ヲ指ス者ナレハ此ノ二字ヲ加ヘテ其意ヲ判然セシムルニ在リ又第百二十條ノ修正ハ止マ文勢ヲ加ヘ意ヲ助クルマテナリ又第百二十一條末文「豫算表又ハ其臨時支出額ノ内ニ加ヘシム」ト有ルヲ豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシムトセシハ原案ニテハ支出額ノ内ニ加ヘタルノミニテ支出スルコト無キカ故ヘ事柄判然セサルニ因ル修正ノ如クニシテ始メテ其意ヲ達スル者ト信ス又第百二十四條其二ノ「貴重ノ物品ヲ賣却讓與シ」ト有リシヲ貴重ナル物品ノ賣却讓與質入書入交換トセシハ必要ノ文字ナリト認メ原案ノ足ラサルヲ修補セルナリ又末項「人口壹万以上ノ町村ニ係ルトキ」ヲ削リタルハ前條既ニ人口ヲ以テ差別ヲ立ルコトヲ止メタルニ依ル第百二十五條第一「負擔」ヲ負債トセシハ其意原案ト同シキモ原案ニテハ新ニ公債ヲ起シ負債ヲ増加スルモ妨ケ無キカ如キ嫌ヒアル

ニ依ル其第二「特別町村稅」ト文字ノ位地ヲ顛倒セシハ稅名ノ變シタルニ因ル其第四ニ於ルモ亦同シ其第五「官廳」ヨリ歩合ノ金額ヲ補助スル支出「ト有ル」官廳ヨリ補助スル歩合金額ニ對シ支出金額ヲトセシハ此事タル官廳ヨリ補助スル者ヲ支出スルニ非スシテ歩合ハ補助金額ニ取ルモ矢張町村ヨリ支出スル金額ヲ議定スルニ在レハ修改シテ其意ヲ明カニセルナリ又第百二十六條第四「各個人直接ニ」ヲ各個人特ニトセシハ各個人ニシテ町村全体ノ所有地ヲ使用シ之ヲ變更スル者ナレハ特ニトスルヲ以テ當レリトス且其他ニ此例多キヲ以テナリ又第百二十七條第三「町村吏員再三職務ニ違ヒ」云々ト有ルヲ町村吏員職務ニ違フコト再三ニ及ヒト改メタルハ假令其情狀輕キモ職務ニ違フコト再三ニ及ヘハ懲戒裁判ニ涉ルノ意ヲ明カニセシナリ原案ノ如クシハ職務ニ違フ再三ニシテ而カモ其情狀重キ者ハトスルノ嫌ヒ有リ故ニ修正シテ職務ニ違フ再三ニ及フ者ト其情狀重キ者トヲ分別セリ又第百二十八條「其裁決ヲ停止」ト有ルヲ其裁決ノ執行ヲ停止トセシハ事實上裁決ヲ停止スルニ非スシテ裁決執行ヲ停止スル者ナレハナリ又第百三十二條此法律ト有ル下ニ中ノ字ヲ加ヘ「コトヲ得」ヲコトアル可シトセシハ唯其文字ヲ正シ意義ヲ明ニスルニ在リ又第百三十三條「社寺ノ組合」ト有ルヲ社寺宗教ノ組合トセシハ是レ前條ニ存スル文字ニシテ特リ社寺ノミナラス必ス宗教ニ關係スルコト有ル可キヲ以テナリ又第百三十七條末文ニ此法律施行ノ日ヨリノ九字ヲ加ヘタルハ此法律ハ一時ニ一般ニ施行スルニ非スシテ之ヲ行フ地方ト行ハサル地方アリ其行フタル地方ノミ廢止スル者ナレハ其意ノ判然タルヲ要シテナリ以上修正理由ノ



概略ナリ

○五十四番加藤弘之 本官モ調査委員ノ一人ナリ八番四十九番ヨリ修正ノ理由ヲ説明セリ然ルニ本官ノ聞キ洩シナリヤ第六條末文修正ノ説明ナキカ如シ是レ原案ト意味ノ異ナルニ非ス彌々其意味ヲ貫徹セシメン爲メノ修正ナリ又第六十條第三項町村會ノ具申ニ依リ「府縣知事代テ之ヲ認可スル」ト有ルヲ町村會ハ府縣知事ニ具申シテ認可ヲ請フト修正セシモ其意固ヨリ原案ニ同シ唯文章ノ穩當ヲ求メテナリ本官ハ別ニ意見アリ個ハ執レヲ以テ本案ト爲スヤ決定ノ後ニ陳ヘテ然ル可キモ實ハ兩案孰レニ決スルニ拘ラサルヲ以テ取敢ス此ニ陳述ス可シ本案及ヒ市制ハ八番モ言ヘル如ク是レマテ餘リ見サル程ニ文章モ好ク出來キ事柄モ整フタリ是レ尋常ナル西洋ノ翻譯文ニ非ス以テ起草者ノ骨折ヲ察スルニ足レリ故ニ本官ハ此案ヲ惡シト認ムルニ非ス唯第一讀會ニモ略ホ端緒ヲ啓キタルカ如ク此案ハ是マテ追々發セラレタル普通ノ法案ト違ヒ行政法中最モ重キ者ニテ郡制府縣制ト相待テ地方全体ノ治具爲ル可シ之ニ對スル者ハ民法商法等ニシテ現ニ司法部ノ擔當ニ係リ皆速成ヲ期セラレ前途條約改正ノ用ニ供シ將タ二十三年國會開設ノ準備ヲ爲サントス是レ國家新ニ成ル者ニシテ新日本ノ建造ト謂フモ可ナラン餘程ノ大建築ニテ而カモ大變化ヲ見ル可シ夫程ノ大建築ニシテハ未タ材料ノ足ラサル者アルカ如シ其材料トハ本案其他行政法ノミナラス民法商法等ノ重ナル材料ヲ取集メ其順序整ヒ互ニ相援ケ矛盾スルコト無キヲ期シ經畫ノ大本略ホ定リ而シテ後始メテ大建築ニ着手ス可シ是レ猶普通家屋ノ建築ノコトシ初メニ金圓ヲ仕度シ繪圖面ヲ作り一体ノ

規模ヲ定メ其後仕事ニ取掛ラハ費ヘモ少ナク出來榮ヘモ美事ナリ若シ然ラス一部一隅別々ニセハ追々ニ不便利ヲ生シ終ニ矛盾ニ堪ユ可カラス辯ヒ普請ナラハ兎モ角モ新規建ツル者ハ必ス其用意アル可キナリ造家ノ事サヘ然リ矧シヤ新日本ヲ建造スルヲヤ其照シ合セニナル材料モ整ハス間ニ合セニ出來ル丈ケ宛ツ實施スルハ遂ニハ折角出來タル分ヲモ隨テ改メサルヲ得サラン民法商法等ハ司法部ノ擔當ニハ姑ク之ヲ別トスルモセメテハ行政法ニ屬スル郡制府縣制丈ケハ互ニ相交ヘ參酌セサル可カラズ憲法ハ第一ノ材料ナルモ如何ナル結構ナリヤ未タ之ヲ知ルニ由ナシ今ヤ止タ町村制市制ノミヲ發セントス之ヲ家屋ニ譬フレハ玄關向キノ都合ハ如何様ニナルカヲ知ラスシテ先ツ勝手向ノ一隅ニ手ヲ着クルカ如シ追々玄關座敷ノ出來ル時ニハ孰レカ多少變更セサルヲ得ス一部ノ法律僅カニ立ツテ忽チ又改メサルヲ得サルニ至ルハ是レ全部ノ法律ヲ參考スルコト能ハスシテ彼此利害得失ノ關係ヲ共ニ圖ルコト無ケレハナリ願クハ交互參酌シテ其成ヲ告グルニ至ランコトヲ思フニ二十三年ニ新日本出來ル時節ノ諸法律ハ盛ニ歐洲ヨリ輸入スル者ニ成リ古來ノ習慣ハ他ノ爲メニ制セラレ遂ニ地ヲ拂フニ至ラン是レ畢竟文明ノ種子ナレハ致シ方無シ然ルニ一國ノ長ヲ取テ一國ニ用ユルサヘ尙ホ易カラサルニ各國ノ長ヲ採擇シテ之ヲ一國ノ用ニ供セントスルハ甚タ六ツケ數事柄ナリ本官曾テ大學ニ在職セシ時法學生徒ノ爲メ法律科ヲ設ケ其學ハ日本ノ法律ヲ本トスヘキ勿論ナルモ其時ハ未タ實施セラレタル者無ク英佛獨ノ法律ヲ取テ教授シ專ラ英ヲ主トシ佛獨ヲ以テ之ニ交ヘ始メハ此ノ寄セ集メニテ可ナリトセシカ追々生徒ノ成熟セント



スルニ及ヒ何國ノ分モ不充分ノ出來ニテ結局之ヲ不都合ナリトスルニ至リ終ニ之ヲ分ツニ決シ先ツ本邦法律ヲ本トシ之レニ副ユルニ英佛獨ノ法律ヲ以テシ各分立シ英ハ英佛ハ佛ト専門ニ屬セシメタリ今尙ホ然リ學文上ノ事ハ分テ學ハシメテ可ナルモ實地上ノ時宜ハ一ニ定ムル能ハス何程六ツケ敷キ事柄ナルモ是非トモ各國ノ長ヲ斟酌加除シテ我國ニ適當ナラシムルヲ要ス本官ノ考ヘニハ唯今法律取調局ニテ民法商法等ノ編纂ニ從事スル在リ此町村制市制ハ勿論郡制府縣制ト一所ニ集メ取纏メテ審査セハ他日好結果ヲ得ヘシ左スレハ年月モ隨テ後ル、ナラン先ツ五六年間ハ編制ノ歲月トシ之ヲ實行シ其全効ヲ奏スルハ二十年後二期スルモ左マテ晚カルマシ既ニ歐洲各國ノ法律ハ其源羅馬ニ發シ數十百年ノ經驗修熟ニ由リ以テ今日アルニ至レリ其以前ハ皆其國々固有ノ法律ヲ用ヒタリ歐洲ノ羅馬ニ於ル此ノ如シ我國ノ歐洲各國ニ於ル十五年二十年間ニ歐洲各國ノ如クナルハ管ニ之ヲ遲シトセサルノミナラス其神速ナルニ驚カサルヲ得ス二十年ノ歲月決シテ短キニ非ラサルモ法律完備シ其實効ヲ見ルハ甚タ難事タラン既ニ國會開設ノ期近キニ有リテ延期スル能ハサルハ論ナキモ夫レマテニ諸法律全備ヲ求ムルハ決シテ能ハサル所ナリヨシ又假令其成ヲ告ルモ是レ徒ラニ紙上ニ出現スルノミ善ク實地ニ施シ善ク實地ニ行ハル、ハ望ム可カラサルナリ故ニ憲法制定ヲ除クノ外ハ他年完成ノ大經畫ヲ建テ順序ヲ追ヒ徐々ニ歩ヲ進メ其已ヲ得サル者ノミニ改正ヲ加ヘ一時姑息ヲ以テ足レリトス可シ又條約改正ニ差支アルヲ以テ速成ヲ要スト云フモ速成ノ法律ヲ以テ中々彼レノ甘服ヲ買フ可カラス必スヤ相當ノ歲月ヲ經實地ニ行ハル、善良ノ

法律ニ非ラサレハ外國人ハ決シテ安堵セサル可シ又地方制度改正ノ一事ハ兼テ地方官ニモ内議シ世間ノ聞知スル所ナレハ早ク之ヲ發セハ人民悅フ可ク遲キスルハ各地方人民疑惑ス可シト云ンカ俗ニ謂フ所ノ徒ラニ權利々々ト唱道スル民權家ナル者或ハ然ランカ老成世務ニ通スル者ハ又格段ナル可シ要スルニ暫ク本案ノ發表ヲ猶豫シ假令法律取調局編制ノ諸法律ハ之ヲ別物ト爲シ同時發行セサルモセメテハ同シク行政法律タル郡制府縣制トハ交互參酌利害得失ヲ詳明ニシ同時ニ發布センコトヲ欲ス委員席ニテハ同意者少ナカル可シト推知シ別ニ議スル所ナカリシモ本日ハ幸ニ第二讀會ニ當ルヲ以テ之ヲ各位ニ訴フ前ニモ述ル如ク固ヨリ本案ノ精神ヲ不是トシテ然ルニ非サレハ敢テ廢棄ト云フヲ欲セス即チ姑ク見合セヲ求ムルノ意ナリ然レ廢棄ト云ハサレハ問題タルヲ得ストナラハ名義ハ何ント唱フルモ強テ意ニ介セス願クハ賛成者アツテ問題ニ上ランコトヲ

○九番横村正直 五十四番ノ大体論ハ原案修正案孰レヲ以テ本案トスルヤ未タ知レサレハ其決定ノ後ニ於テ述ル可ナランカ本官モ調査委員ノ一人ナルヲ以テ八番四十九番ノ餘緒ヲ繼キ未タ其足ラサル所ヲ補述セン第三十七條末項ノ「其ノ字ヲ本條ノトセシハ此項ハ本條全体ニ係ル」（願及訴訟ノ上ノ其ノ字ヲ本條ノトセシハ此項ハ本條全体ニ係ル）願及訴訟ノ爲メ特ニ掲ケタル者ナレハ其ノ字ニテハ不匹ナリ是非本條トアル可キ所ナルニ因ル又第四十六條「選舉ス可キ者」ヲ其トセシハ原案ノ如ク「ハ町村吏員ノ外別ニ選舉ス可キ者アルヤ又ハ選舉セラル、者アルヤノ嫌ヒ有リ個ハ全ク町村吏員ノ内書記役ナラハ其書記役其人一人ナラハ其一人若シ二人」



ナラハ其二人ニ對シ一人毎ニ投票ヲ爲スノ意ナレハ上文ノ町村吏員ノ文字ヲ受ケ是非トモ其一名毎ニト云ハサルヲ得サル場合ナリトス又第五十三條第二項ノ「第一乃至第五」ヲ削リタルハ試ニ第十五條第二項ヲ參照セヨ左ニ掲クル者ハトシテ一ヨリ起リ五ニ止マリタリ然ラハ斯ク反覆セサルモ第二項トサヘ云ヘハ何人ニテモ明知スルコトヲ得ヘシ原案ノ如クンハ第十五條第二項ハ第五ニ止マラス第六第七ニモ及フモノナリヤトスル嫌ヒ有リ又第六十七條ニハ「法律命令」云々前後ニケ所アリ前文ノ命令ト言ヘルニハ府縣知事郡長ノ命令マテモ含有スト雖モ後ノ命令中ニハ含有セス而シテ之ヲ勅令トセシハ此令ニ背クニ依リ議決ヲ停止セラレタル府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴ス可キ者ナレハ前ノ命令トハ其趣キヲ異ニシ必ス法律勅令トス可キ場所ナリ總テ法律權限ニ關スル事項ハ結局行政裁判所ニ出訴シ公衆ノ利益ヲ害スル云々ノ事項ハ終局內務大臣ニ訴願スルノ順序ナリ即チ第一百十九條ノ例ノ如シ本官補陳スル所大抵此ニ止マル

退席

十二番

黒田 清綱

○十四番 渡邊 本官モ調査委員ナルヲ以テ辯明ノ足ラサルヲ補ハン第六條「屬民」ヲ住民トセシハ其町村ニ住居スレハ即チ是レ住民ナリ然ルヲ町村ニ住居ヲ占ムル者ヲ屬民トストハ何分不穩ナリ又第七條「住民」ヲ公民トセシハ公權ヲ有スル獨立男子ニシテ町村ノ負擔ヲ分任シ公共ノ事務ニ參與スル者ナレハ是又住民ニテハ不穩ナリ尤モ內閣ニテモ第六條ニ町村ニ住居スル者ハ固ヨリ住民ナレハ故ラニ之ヲ屬民トスルハ其欲スル所

ニ非ラサリシモ如何セン第七條ニ公共ノ事ニ關スル人民ヲ住民トセシ故ヘ勢ヒ止ムヲ得スシテ屬民及住民ノ名目ヲ付セシト云フ本官等委任席ニテ追々講究シ第六條ハ住民ト謂フ可クシテ屬民ト謂フ可カラス又第七條モ必ス名實相適センコト要セシモ何分好文字ヲ得ス然ルニ幸ヒニ舊事記推古天皇本記二十八年ノ所ニ「公民等」云々ト有ル故ニ今此ニ之ヲ公共事務ニ參與スル人民ノ稱ニ用ヒタリ敢テ充分トセサルモ差シ向キ他之ニ換ユ可キ文字ナシ各位ニシテ好修正アラハ悅ンテ其說ニ從ハン又第八十二條ハ舊來ノ慣行ニ依リ町村有ノ土地物件ヲ使用スル權ヲ有スル者ナレハ容易ニ之ヲ換ユルコトヲ得ス故ニ町村會ノ議決ヲ經ルヲ要セリ又第八十三條ノ場合ハ町村住民中新ニ町村有土地物件ノ使用權ヲ得ンコトヲ求ムル者ナレハ町村條例ノ規定ニ依リ使用料又ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ或ハ使用料ト加入ト共ニ徵收シテ許可スル場合ヲ示セリ要スルニ第八十二條ハ舊來使用權ヲ有スル者ノ處分法ニシテ第八十三條ハ新ニ使用權ヲ得ントスル者ニ對スル規定ナリ原案ノ意固ヨリ然ルモ文字ノ足ラサル有ルヲ以テ之ヲ修補セリ又第九十條「此法律施行ノ際現行」ノ九字ヲ削リ從前ノ二字ニ改メシハ原案ノ如クナレハ此法律施行ノ際ニ規定スル者ナルカノ嫌ヒ有リ個ハ現ニ行ハレテ居ル所ノ細則ナレハ修正ノ如クニシテ初メテ其意ヲ達ス可シ他ハ同列ヨリ既ニ陳述アリタルヲ以テ言フ此ニ止ム

○議長 午時ヲ過ク午餐ノ爲メ退場シ午後更ニ開會セン散會セヨ

午後零時十分閉會



午後第一時開會

議長 東久世 通磨

退席

七番

六戸 璣

四十七番

野村 素介

十九番

田中 芳男

五十七番

神山 郡廉

二十八番

原田 一道

六十番

伊丹 重賢

四十五番

時任 爲基

○議長 午前引續ノ會ヲ開ク

○三十四番 美小畑

本官ハ監獄則議案ノ修正ニ從事シ本案並ニ市制トモ第一讀會ニ缺席シ

議場ノ景況ヲ知ラス本日午前ノ會ニ五十四番ハ姑ク見合セヲ要スル一種ノ廢棄說ヲ唱

ヘラレタリ本官之ヲ是ナリトス抑々二十二年國會開設ノ期モ近キニ在レハ自治分權ノ

制ヲ定ムル爲メ本案ヲ發スルハ當然ノ事ナルモ之ニ聯絡スル府縣制郡制ヲ發スルハ之

ヲ他日ニ譲リ單ニ本案及市制ノミヲ發布セントスルハ大ニ不都合ナリト信ス且監督廳

ニテ町村會ノ選舉セシ町村長及助役ニ對スル不認可權ヲ有スルハ獨リ郡長府縣知事ノ

專斷ニ歸セス其參事會ノ同意ヲ要スルノ制ナルヲ以テ略ホ公平ヲ保ツ可キモ附則第百

二十九條ニ依レハ郡參事會府縣參事會及行政裁判所開設スル迄ノ間郡參事會ノ職務ハ

郡長ニテ行ヒ府縣參事會ノ職務ハ府縣知事之ヲ行ヒ行政裁判所ノ職務ハ內閣ニ於テ之

ヲ行フト云フニ在レハ郡長府縣知事ノ不認可ハ參事會ノ同意ヲ求ムルノ實ナク共一了  
簡ヲ以テ決定スルナリ選舉ノ效驗果シテ孰レニ在リヤ此ノ如キハ町村會アルモ無キカ  
如ク大ニ自治ノ權ヲ害フ畢竟町村制市制ノミヲ前キニ發シ府縣制郡制ハ之レニ後レ同  
時ニ發セサルニ因リ此ノ如キ不都合ヲ致ス望ラクハ五十四番ノ說ノ如ク姑ク本案ノ發  
表ヲ見合ヒ府縣制郡制ト共ニ之ヲ發セラレンコトヲ

○議長 五十四番ノ說ハ贊成者アルヲ以テ問題トス

○三十七番 山口 尚芳

本案ヲ贊成ス問題說ハ姑ク發表ヲ見合ス可シト云フニ在ルモ本官此案

ヲ熟讀スルニ和氣面ヲ拂ヒ眞ニ春風ニ値フノ思ヒ有リ文章ノ結構稍々歐洲風ニ似タル

モ其精神ハ日本固有物ニテ日本ノ名物ト云フモ不可ナシ是等ノ事柄ハ善ク英國ノ慣習

ニ依ル者ト相似タリ假令今日之ヲ以テ文物制度ノ美ト爲ス能ハサルモ舊幕府以來ノ慣

行ハ久シク世ニ行ハレ圖ラスモ自然ニ此町村制ノ成立スルヲ見ル佛獨二國現行法ノ如

キ皆其慣習ヲ壞リ更ニ設ケタル者ナリ獨リ英國ノミハ屹然トシテ古態ヲ存シ益々自治

ノ精神ヲ發揮セリ我國昔時町村ノ風習タル庄屋ノ選任ハ公選ニ就リ各個人連印シテ願

書ヲ出シ以テ代官所ノ認可ヲ請ヘリ若シ代官所ニテ官命選任ヲ要スルハ一町村內更

ニ故障ナキ場合ニ於テ之ヲ行フノ例ナリ庄屋ノ外年寄ト名ツクル者アリ又組頭ト唱フ

ル者アリ是レ本案ノ助役ニ彷彿タリ其給料ノ有無ハ土地ノ慣例ニ依リ一定ノ制ナシ或

ハ土地ノ賦役ヲ免シテ給料ニ充ルカ如キ町村ノ自治ニ任セ共宜シキニ依テ定ム或說ニ

ハ此案ハ舊制ニ悖ルト云ヒ又此法ノミ布ク可カラス府縣制郡制ノ出ルヲ待ツテ共ニ發



ス可ト云フ此案ハ舊制ニ比シ大ニ異ナル所ナク又敢テ府縣制郡制ノ出ルヲ待ツニ及ハ  
 ス第二條ニモ言ヘル如ク町村ハ法制上一個人ト均シキ權利ヲ有シ義務ヲ負擔スル者ナ  
 レハ他ノ法律ニ先ツテ特行スルモ更ニ差支ヲ見ス唯實施上少シク懸念スルハ連合町村  
 ニ在リ假令表面ハ合併セシ如キモ内實ハ昔時ニ變セシテ官用公事ニハ之ヲ五百戸ト  
 云フモ内輪ハ分離シ五十戸ハ五十戸百戸ハ百戸三平村ハ三平村ノ實ヲ存シ自然ノ團結  
 アリ町村吏員及ヒ議員等ノ選舉ニ於テ種々變態ヲ見ル有ラン舊幕府時代ニハ曾テ町村  
 連合スルコト無ク年番庄屋ノ法アリ甲乙交代シテ之ニ當ル又抽籤ヲ以テスルコトモ有  
 リ然レ小町村ノ大町村ニ凌駕セラル、コトハ猶大名ノ小藩ノ大藩ニ壓セララル、カコト  
 シ本案ニ於ル此ノ點ニ對シ除弊スルノ法アレハ更ニ完全ナラン假令之ヲ缺クモ一タヒ  
 此法ヲ發布セハ一般ノ方向ハ必ス此針路ニ傾向スルヤ更ニ疑ヒ無シ然レハ特リ國會ニ  
 關係アルノミナラス自治分權ハ人民保護上ニ全國統馭上ニ必ス此ノ如クナラサルヲ得  
 ス一町村ハ即チ一町村ニシテ全國ニ關セス獨立鞏固ナルヲ要ス此案ハ決シテ民法商法  
 ニ關スル者ニ非ス又英佛獨ノ法制如何ニ拘ハル者ニ非ラサルナリ數十年ヲ待チ法律  
 ノ完備ヲ求ムト云フハ或ハ迂ナランカ佛獨學者ノ說ニモ我山陽ノ言ニモ治國ノ要ハ地  
 方制度ヨリ先ニス可シト云フ是猶碁ヲ圍ムカコトシ碁盤ノ設ケナクシテハ碁ヲ試ム可  
 カラス地方安寧ヲ圖ルニハ先ツ此法案ヲ第一ニ發ス可シ

○六十八番<sup>内</sup> 本官ハ問題タル發布見合セテ請フノ說ニ同意ス前會内閣委員ハ法律取  
 調局ノ都合如何ニ關セス本案ハ既ニ地方官ノ内議モ經タル者ナレハ其要神速ニ之ヲ行

フニ在リト云フ然ルニ從前ヨリ行政裁判所職權ニ關スル事項ト雖モ皆是レ司法省ノ管  
 スル所タリ本案末條ニ行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間其職務ハ内閣ニテ之ヲ行フトアリ  
 是レ一時ノ變例ノミ彌々行政裁判所開設ノ場合ニ於テハ司法省ノ關係最モ多カル可シ  
 又或ハ町村長ノ檢察官タル可キ場合ハ治罪法ニ差響キ有リ身代限土地所有權ノ如キ專  
 ラ民法ニ關セリ然ルヲ内務大臣ハ行政法取調ノ委員長ト爲リ其行ハントスル所ヲ斷行  
 シ司法大臣ハ法律取調ノ委員長トシテ其主管スル所ヲ斷行セハ銘々各々ノ法律行ハレ  
 彼此對應上如何アル可キカ五十四番言ヘル如ク家屋ヲ建ルニモ自ラ順序次第アル可キ  
 者ナリ今ヤ臨時建築局ニケ所アルニ似タリ内務ハ地方制度ノ設ケニ從事シ司法ハ一般  
 ノ法典取調ニ從事ス其臺所ト玄關トノ接續上果シテ差支ナキヤ否ヤ爲メニ之ヲ危ム旁  
 ヲ以テ姑ク之ヲ見合セ連續ス可キ議案ノ來ルヲ待チ彼此對照シテ完結センコトヲ要ス  
 既ニ民法議案ノ如キハ疾ク下付ニ成リタルモ法律取調局トノ關係アル可キ爲メ表面ハ  
 調査中ニテ未タ返上セサルモ空シク委員ノ手ニ在リテ見合セニナリ居レリ本案モ法律  
 取調局ニ打合せ終始一途ニ出ントコトヲ欲ス

○三十五番<sup>津田</sup> 五十四番ハ當分本案ノ發表見合セノ說ナルカ言葉立タスンハ廢棄說ト  
 スルモ可ナリト云フ之ニ賛成者アリ問題ト爲レリ其說一應尤モナリ本官ハ前會ニ於テ  
 廢棄說ノ端緒ヲ啓キ其概略ヲ述ヘタリ問題發議者ト其主意ヲ異ニスルモ廢棄ノ一事ニ  
 於テ相同シ故ニ之ヲ賛成ス若シ本官ノ說先キニ出テハ恐ラクハ日本國中ニ一人ノ賛成  
 者ナキモ知ル可カラス五十四番ハ此法案ヲ不可トスルニ非スシテ一朝ニシテ本案ノミ



ヲ發布スルヲ不可トス細説スレハ司法省ニテ取調ノ法案ヲモ照合セサルハ前後抵觸  
 シ彼此撞着ヲ免レサルカ故ニ仕事ハ樂屋ノ相談肝要ナレハ内閣ト内務司法兩省トノ間  
 互ニ聲息ヲ通シ不都合ナキ様ニス可シト云フニ在リ本官ノ意見ハ之レニ反シ此ノ如キ  
 法案ヲ發布スルヲ要セス未タ之ヲ施行スル時節ニ至ラスト云フニ存セリ熟ラ我國ノ情  
 况ニ照シ民度ノ鈞合ヲ量ルニ此ノ如キ裝飾ヲ用ユルニ及ハサル可シ政府ハ二十三年國  
 會ノ用意ト條約改正ノ都合ヲ配慮シ立派ナル法律ヲ編制發布セラル、ノ主意ナランカ  
 若シ我日本ヲシテ國富ミ兵強ク外國ニ拮抗シ得ヘキ程ノ實力ヲ有セハ宜シク之ヲ爲ス  
 ヘシト雖モ開國以來人民ノ勞力ヲ代表スル幾萬億ノ大判小判其他ノ金貨ハ我國ヲ去ツ  
 テ遠ク外國ニ往キ我富ハ増殖スルコト無クシテ減却ノ姿ヲ呈セリ陸海軍ノ軍備ハ已ム  
 ヲ得サルモ他ニ大平ヲ粉飾スル器具ニ多額ノ金員ヲ費スハ最モ恐ル可キ事ナリ行政ノ  
 外面ヲ粧フハ眞ノ治術ニ非ス假令獨乙ノグナイスト塊國ノスタインノ如キ學者ノ何様  
 ノ勸誘アルモ彼レハ他國人ナリ我國ノ事情ヲ知ラス隣席ナル三十七番ハ外國學者モ斯  
 ク謂ヘリ山陽モ然リトノ言アレト是レ其宜シキヲ得サルノ説ノミ人事上ノ務メハ實效  
 ニ存ス外飾ニ在ラス人々個々勞力ヲ勵ミ貨幣ヲ貴ヒ專ラ國力ノ擴張ヲ思フ是レ第一義  
 ナリ其他ニ及ハサル可シ方今各府縣人民ノ建白スル者ノ多キ幾ント四萬人ノ連署ヲ見  
 ルニ及フ皆是レ一々政事得失如何ノミニ着目シ未タ嘗テ一人ノ國ヲ富スノ法ヲ案シ兵  
 ヲ強フスルノ策ヲ建ル者ナシ國力ハ何ニ因テ富ミ民度ハ何ニ賴テ進ム可キ唯是レ工業  
 耕作勞働ニ在ラン此難事成就スル曉ニハ舞フモ可ナリ躍ルモ好シ今日ノ如ク人民ハ常

ニ租税ノ負擔ニ苦シミ公賣處分ニ違フ者到處ニ見ルト云フ如キ形様ニテ唯其外觀ノ美  
 ノミヲ求ムルハ抑 其本ヲ忘レタルモノト云ハサル可カラス既ニ工業耕作ハ國ヲ立ル  
 ノ本ナリ米ニ糸ニ茶ニ其他百業百工日ニ駁ヤトシテ進歩セハ外觀ノ壯麗求メスシテ之  
 ヲ得ン之ニ反シ公賣處分ノ如キ最モ忌ム可ク嫌フ可キ者日々多キヲ加ヘハ田畑工場荒  
 廢シ國勢漸ク衰微ニ屬セン我國輸出ノ多額ヲ占ムル者ハ生糸ニシテ二千萬圓ニ及ヘリ  
 輸出入ノ權衡ヲ保ツ者ハ其レ唯生糸ニ在リ輓近我人民四方競フテ養蠶製糸ヲ事トシ販  
 路廣ク常ニ好景氣ヲ呈シ國計上前途甚タ喜フ可キ結果ヲ得ント私カニ自ラ慶セシモ今  
 日ハ又不味ノ色ヲ現ハシ損失ヲ招ク者多シト云ヘリ本官之ヲ聞キ慨歎ニ堪ヘス之ヲ養  
 ヒ之ヲ救フ法律アリヤ民力ノ伸縮ハ實ニ國家消長ニ關ス務メサル可カラス是レ能ハサ  
 ルニ非ス爲サル、ナリ宜シク日本ノ疲弊ヲ以テ吾カ一身ニ問フヲ要スヘシ本官ハ太平  
 ヲ粉飾スルノ具ハ大小禮服ニ於テ之ヲ見ル金色燦爛行ヲ爲シ列ヲ正シタルハ其立派  
 ナルコト言ハン方ナシ然ル此大小禮服ノ物タル外國輸入品ヨリ成レルヲ以テ我カ金力  
 ヲ損スル原因ナリ小禮服ハ一般ニ服用ス可キ者ナルモ其行ハル、所ヲ見レハ僅カニ官  
 吏社會ヲ出テス本官或ル豪家ノ葬式ヲ觀シニ羽織袴ヲ着スル者アリ羽織ノモノ者アリ  
 又半テンヲ着ルモ有リ是レ純粹ナル良民ノ爲ス所ナリ又某役人ノ葬儀ニ值ヒシニ鎮臺  
 兵アリ馬車アリ頗ル壯觀盛裝ナルカ如キモ是レ東京一夕繁華ノ夢ノミ否ナ少數者ノ浮  
 飾假美ノミ又天長節ニ外務大臣夜會ヲ催シ其招ニ應シ盛裝宴ニ趣ク者少ナカラス盛  
 ナルニ非ラサルモ僅カ千百萬ノ一部分ニ足ラス又人民ノ小禮服又ハフロツクコートヲ



着クル能ハサルハ金匱乏シキノ致ス所ニ非スヤ東京ニテハ稀レニ見ルコト有ル可キモ田舎ニハ絶テ無カラシスル民度ニ對シテハ殖産興業ノ道ヲ講究セシメ此一事ニ專ラ力ヲ用ユ可キニ此ノ如キ法律ヲ布キ大禮服ヲ作ラシムル如キハ抑々何ノ意ソヤ大禮服ハ奏任官以上ニ行ハレ官吏社會ニ於テモ行ハル、區域ハ僅カニ十分ノ一ニ過キス此制度モ行ハル、區域ハ例ヘハ五百戸アル町村ナラハ町村長議員杯ノ外ヲ出テサル可シ他ハ昔時ニ換ハラス半テン羽織ノ世界ナリ此法ヲ行ヒタリトテ何ノ得ル所カ有ル可キ如カスカヲ養ヒ共富ヲ増シニハ是レ本官ノ問題發議者ヨリ一步ヲ進メ本案發表ヲ不是トスル所以ナリ聞ク司法省法律取調局ニテハ事ノ速成ヲ要シ我同僚議官ノ之ニ關スル者夜ニ入りテ歸宅スト是レ最モ不審ナリ怪マサルヲ得ス夫レ富強ノ天下ニ冠タル者ハ英國ナリ英國ハ浮飾ヲ悅ハス其執ル所ハ常ニ實利實益ニ在リ佛國ノ如キ法典ノ備ハル他ニ其比ヲ見サルモ其實ナシ本官民法編纂委員タルハ英國法典ヲ調査セシニ法典ノ以テ我ニ満足ヲ與フル者ナシ然レ憲法ヲ立テ立憲政体ノ偉勳ヲ傳ヘシ者ハ誰レナリヤ英國ナリ佛國ト雖レ英國ニ學ヒタル者ナリ一千八百四十八年ノ變亂ニ際シ各國大抵立憲ノ制度トナリシモ英國ノ如ク實際ニ行レ人情ニ詳カニ民度ニ適合スル如キハ無シ他ノ國ハ多クハ虛文ナリ立派ナル建物アルモ立派ノ人ナキ看ヲ呈ス我國數年前ニ都鄙ノ別ナク學校ヲ建ルニ汲々トシテペンキ塗外觀ノ佳ナル者簇々成レリ個ハ斯ク新造スルヲ要セス荒廢セントスル寺院ヲ以テ之ニ充ルモ敢テ差支ナカリキ我國ニテ法律ノ全備ヲ要スルハ條約改正ノ爲メニシテ治外法權ノ如キ收稅權ノ如キ一日モ早ク回復セサル可カラ

サルハ論ナク志士ノ夙夜慨歎スル所ナリ要スルニ我人民ヲシテ英米ノ人民ノ如クナラシメハ何ツ之ヲ破ルニ難カラシヤ唯我國民ヲシテ彼ノ如クナラシムル最モ難キニ非スヤ是レ一朝一夕ノ能ク成シ得ヘキニ非ス漸次歩ヲ進メ功ヲ積ミ其域ニ達ス可シ法律ハ之ニ反シ佛國ノ如ク獨乙ノ如クナラシメント要セハ外人ヲ雇ヒ一字千金ノ法律僅カニ成ヲ告ク可シ然レ是我國ヲ富スニ非ス寧ロ貧弱ニ導クノ用ヲ爲サン本官再三再四思考ヲ費シ反對セサランコトヲ欲セシモ終ニ能ハス若シ調査委員ノ修正スル有ラハ稍々面目改マル可シト思惟セシモ希望ノ如クナラス政府ノ見ル所在野ノ言フ所空理浮說ニテ夢ヲ説クカ如ク蜃氣樓ヲ見ルカ如シ因テ事ヲ實業ニ勉メ半テンノ社會ハ進ンテ羽織ト爲リ羽織ノ社會ハ進ンテ小禮服ヲ着クルニ至ラハ政府法律ノ美布クコト無キヲ欲スルモ人民ノ之ヲ望ンテ息マサル可シ之ヲ思ヘハ專ラ國家成スニ難キ事業ニ力ヲ致ス可シ區々法律ノ瓊末ニ金ヲ費スハ政府ノ得策ニ非ラサル可シ本官ハ感慨ニ堪ヘス涙ヲ揮テ本案ニ不同意ナル所以ヲ述フ

○四十番 綿貫 吉直 本官ハ三十四番ト同感ナリ府縣制郡制ヲシテ之ト共ニ施行セシムルニ非ラスンハ第百十九條ノ「郡長若クハ郡參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事若クハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得」ト有ル如キ重要事項ハ悉ク空文ニ屬セン獨リ百十九條ノ「ミナラス第二十九條ニモ「訴願ノ有無ニ拘ラス郡參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得」ト有リ第六十條ノ事ハ姑ク三十四番ノ言ニ讓ル可シ第七十五條ニモ「郡長ニ於テ之ヲ許



可スカラスト認ムルトキハ郡參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定ス云々以上述ル所ハ三十四番ノ辯明ト同意義ナリ而シテ第二百二十七條懲戒處分ノ所ニモ町村長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得又郡長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ懲戒處分及其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト有リ皆是レ府縣知事ト牽連シテ構成セシ者ナリ之ヲ司法裁判所ノ例ニ比セハ郡長ト郡參事會ト合セテ豫審公判ノ手續ニ至ル者ナルニ之レニ若シ郡參事會ヲ缺クハ郡長ハ自ラ豫審ト公判ノ權利ヲ有ス恐ラクハ今回本案制定ノ精神ニ負カン故ニ府縣知事全備シ同一ニ行ハレンコトヲ要ス姑ク見合セノ説ハ五十四番ヲ賛成シ參事會ヲ缺クノ不可ナルハ三十四番ノ説ニ同シ

○十四番 渡邊 本案ノ發表姑ク猶豫ス可シト云フ説問題トナレリ本官等ハ本案ヲ可ナリトシテ修正ヲ加ヘテ報告セリ今ヤ其之ヲ可ナリト認メタル理由ヲ述フ可キ時機ナリト信ス又手調査委員席ニテモ府縣知事ト共ニ發表セハ如何トノ説ヲ出テシコアルモ先ツ本案議定施行ノ後ニ於テ府縣知事制出ルモ妨ケ無キコトニ決セリ其故ハ地方制度ヲ改正シ之ヲ實地ニ行フハ大事業ニシテ實ニ容易ナラス其中ニモ此町村制ノ如キハ眞ニ地方自治ノ基礎トモ云フ可キ者ニシテ此事備ラサレハ何事ニモ着手ノ順序立タス此基礎ヲシテ確立ナラシメンニハ前廣ニ施行シテ郡長以下ノ腦裏腹中ニ飽マテ浸染セシメサル可カラズ聞ク來年早々府縣知事ヲ召集セラレ各府縣下ノ事情ヲ察シ夫々ノ手

續ヲ勘査シ彌々施行ノ期ニ至ラシムルニハ中々一月ヤ二月ノ行届ク可キニ非スト本官曾テ地方ニ奉職セシヲ以テ純ラ此事ヲ思惟ス若シ自ラ之ヲ擔當スル者トセハ一二月間ノ練習ニテハ覺束ナキヲ信ス故ニ先ツ第一番ニ此町村制ヲ發布施行シ自然ニ郡制出ルマテノ地歩ヲ爲シ又郡制出テハ之ヲ研磨シ以テ府縣知事制出ルノ地位ヲ成サ、ルヲ得ス漸次此順序ヲ以テシテ靜穩ニ地方制度ノ成就ヲ見シ殊ニ町村制ハ直接ニ人々ノ財產身體ニ關スルヲ以テ一日モ早ク發表セシハ前途經畫ニ於テ多々差支ヲ生ス可キハ言フ俟タサルナリ是レ調査委員ノ多少意見アリテ斯ク修正ヲ加ヘタルモ其發表ハ速ニセンコトヲ欲セシナリ本官ノ如キハ寧ロ之ヲ發スル時機ノ後レタルヲ恨ム此案ヲシテ十一年頃ニ在ラシメハ慣習依然トシテ傳ハリ幾多ノ改良進歩ヲ見シナラン惜哉十一年ノ改正ニテ進路ヲ支ヘラレタルノ思ヒ有リ往事ハ已ムヲ得ス今日ハ速ニ行ハレンコトヲ望ム各位中ニハ此案ヲ以テ大層ナル建築ヲ成スト云ヒ外面ノ虛飾ヲ爲スト云ヒ屋氣樓ヲ構造スル等ノ語アルモ是レ字面ニ拘泥シ從來慣習ノ然カラシムル所ヲ認メサルニ出ツ成程法人杯ト新奇ノ文字アルモ町村ハ矢張從前ノ町村ニシテ組合モ亦然リ止タ少シク異ナル名義ノ有ルノミ從前ヨリ町村ニハ年寄年行事等アリテ其取扱フ所幾ント此公選議員ニ似タリ是等ノ一事ヲ以テスルモ實際施行スルニ至ラハ舊慣ニ適合スル者多カラシ府縣知事制ト並行ヲ望ミ延テ憲法マテヲ考慮セラル、ハ謂レ無キ事ニ非サルモ府縣知事制郡制ハ既ニ内閣ニテ略定スト聞ケハ其議案ハ遠カラスシテ下付セラル、ナル可シ郡制ト云ヒ府縣知事制ト云フモ大体町村制ニ則リ唯參事會ノ組織權限ノ異ナル者アルト確メル



廉々ヲ確メルニ過キスシテ從前ノ不文律ハ成文ト變スルマテナラン而シテ各府縣各郡ノ區域境界ニ於テハ換ル所無ル可シ若シ論者ノ說ノ如ク本案發スル際府縣制郡制民法商法等沛然トシテ一時ニ出テハ地方ノ景況ハ如何アル可キヤ本官假リニ地方官ノ位地ニ身ヲ置キ考フルニ萬事好手順ヲ立ルハ中々一人ノ腦髓ノ能ク辨スル所ニ非ス左リトテ又之ヲ爲サ、ルヲ得ス其宜シキニ適合スルハ甚タ難シ先ツ内閣ノ意見ノ如ク町村制ヲ發シ逐次郡制府縣制ニ及ハ、躁急混雜ノ弊ヲ免レ順序立チ次第ヲ追フテ地方制度ノ全備ヲ見ルヲ得ン假令本案ノミナルモ百三十餘條ノ多キ有リ各位幸ヒニ地方官着手ノ難易ヲ察セヨ屬官郡書記之ニ從事スル者ノ意一時ニ悉ク施行スルヲ是トスルカ或ハ順ヲ追ヒ序ヲ守テ事ヲ定ムルヲ便トスルカ本官ハ決シテ一時ニ爲ス可カラサルヲ信シ全ク本案ノ如クニシテ施行スルヲ要ス

○八番楠本 問題說ハ見合セト言ヘルカ如シ少シク質問ヲ要スル有リ見合セトハ廢棄ノ意ナリヤ或ハ然ラサルカ一應之ヲ問ハン

○四十八番鳥尾小 本官ハ休暇ヲ賜ヒタルヲ以テ明後日ヨリ豆州へ出發シ残念乍ラ是ヨリ缺席セン付テハ本官ノ有スル大体上ノ意見ヲ述へ各議官ノ參考ニ供セントス本官ハ前會ニ於テ賛成ノ意ヲ表セント欲シテ能ハス其大意ハ市制議案第一讀會ニ於テ略陳セリ就中郡參事會府縣參事會ニ聯帶セシコト有ルニハ府縣制郡制ト共ニ發セスンハ不可ナリト云ヘルニ對シテモ決シテ紛雜ナキヲ以テ直ニ本案ヲ發スルノ得策ナル旨ヲモ辯シタリ五十四番三十四番ノ說ハ徹頭徹尾本案ノ旨趣ニハ不賛成ニ非ラサルモ端の本案

ノミヲ發スルヲ不可トシ其極終ニ廢案說マテ唱フルニ至ル是レ畢竟心配懸念ノ餘リ此ニ及ヘル者ナリ本官ト雖モ前會以來其邊ニ疑ヒヲ生シ一應反對說ヲ尤モノ議論ナリト考ヘシモ再考スルニ及ヒ一時ニ各議案ヲ本院ニ下付シ悉ク之ヲ議定シ一齊ニ發表スルハ逆モ能ハサルコトナルヲ按出セリ何トナレハ假令地方制度ニ係ル一般ノ法案ヲ悉ク舉テ下付セラル、モ決議ニ至ラサル以前ハ法律ニ非スシテ草案ナレハ或ル一人ノ見合セニ供スルコトハ得ルモ議場一般ニ對シ造成ル者ト認メ參照ニ供スルコト能ハス其定ラサル者ヲ駁ト見定メテセヨト云フハ是レ無理ナル請求ト云ハサルヲ得ス左スレハドノ道ニモ端シヨリ定メ其成立セシ法律ヲ見合セト爲シテ以テ全般ニ及フヲ以テ順序ナリトス若シ決議案ニ矛盾スルコト有ラハ一ヶ條或ハ數條ヲ改テ可ナリ是レ法律施行上實ニ已ヲ得サル者トス斯ク決着セハ諸法案ヲ取揃ヘテ議定スルコトヲ要スルハ先ツハ入ラサル事ナリ且ツ一度ニ議定スルハ毛頭能ハサル可シ故ニ本案ハ本案切リニテ穩當ニ議定上奏シテ可ナリ然カラサレハ船舶ノ鎖ヲ引クカ如ク更ニ果テシ付カサル可シ是ニ於テカ先ツ町村制ノミヲ施行スルノ便宜ナルヲ議定セン然ルニ反對者ハ本會中府縣參事會郡參事會ノ必用ナル在リ未タ之ヲ設ケスレテ濫リニ此權限ヲ知事郡長ニ有セシムルハ不可ナリト云フ是レ最モ解ス可カラサル說トス抑、參事會トハ如何ナル性質ノ者ナリヤ其立タサル以前ハ之ヲ知ルニ由ナケン然ルヲ其形ナキ者ヲ大切ニ珍重シ之ハ斯ク有ラン之ハ斯ク有ル可シトシ其未タ現ハレサル者ニ對シ之ヲ論スルハ畢竟何ノ意ナリヤ然シ法律上定見ヲ立ルノ要ナキニ非ラサレハ是等ハ幾分カ見越シテ見解セサル



ヲ得サラン付テハ參事會ハ此ノ如キモノト此法律ヲ立ル上ニ其精神ヲ見越シテスルハ強チ無理トモ言ヒ難ケレハ人アリ參事會ハ如何ナル者ツトノ疑問アラハ本官ハ之ニ對シ參事會ノ事ハ姑ク置キ其本タル地方自治トハ唯是レ町村ト市ニ限ル者ニシテ他ニ及ハサルナリト云ハシ又假令政体ハ專制ニモセヨ立憲ニモセヨ自治區ハ唯一ニ在リテ自治ノ上ニ更ニ自治ヲ立ルハ甚タ不同意ナリト斷言ス斯ク斷言スルハ町村ノ上ニ郡ノ自治アリ郡ノ上ニ府縣ノ自治アリ府縣ノ上ニ國ノ自治アリト云フ如キ自治ニ階級アル可キ筈ナケレハナリ本官ハ斷乎トシテ自治上ニ自治ナク自治下ニ自治ナキヲ主張ス果シテ町村自治ノ上ニ自治ナクハ郡ニハ絶ヘテ自治ナク行政區域ノ一部分ノミ左様ニ見解シ來レハ郡長ハ公選法ヲ用ユル能ハス官選タルヤ勿論ナリ郡長ノ執行スル所ハ中央政府ヨリ出ル行政ノ一部分ヲ負擔シ職權ニ依リ郡政ヲ行フ其下ニ屬スル町村ハ自治体ナリ故ニ其自治体ト行政權ト結ヒ付ケノ工合ヲ取計フハ郡長ノ所置宜シキヲ得ルニ在リ中央政府ヨリ郡政上總テノ經費ヲ與ヘハ別ニ參事會ニ問フヲ須ヒスシテ獨斷獨行シ得ルモ如何セン之ヲ與フル能ハス必スヤ郡ヨリ徵收スル租稅ヲ以テ之ニ充ツルナラン故ニ郡長之ヲ專ニセス行政上ノ事ト雖モ郡ノ利害ニ關スルコトハ之ヲ勝手ニ取計フト無クシテ公衆ヨリ選舉セシ所ノ行政相談役ヲ相手トシテ共ニ事ヲ取計フ姿ナリ斯クセハ行政ト自治トノ間結ヒ付ケノ工合ニ於テ程能ク出來セント認メタル者ト本官ハ見越シタリ果シテ然リヤ否ヤハ他日府縣制郡制ノ出ルニ會フテ明了セン下ヨリモ上ヨリモ四角四面ニ組上ケタラハ皆大禮服ヲ着ケタル大政府トナラン之ヲ緩和スルハ參事會

ニ在リ若シ其區域判然スルコト無クハ利益ヲ起サント欲シテ却テ害ト爲ルコト有ル可シ要スルニ國家ノ主權ハ分離シテ一部ハ立法一部ハ司法一部ハ內事外事トシテ之ヲ主持スルニ非ラスハ獨立ト云ヒ難キカ如ク行政ト自治トノ結ヒ合モ亦邦家大切ノ業ナリ自治上自治ナキハ我國体ナリ自治ノ本ニハ更ニ自治ヲ立テスト判然ト定メ其結ヒ合フ程能スルハ殊ニ大切ナリ參事會ヲ置ク所以ノ者ハ實ニ之カ爲メナリト信ス今日ノ弊ヲ説ク者ノ言ニ官權ヲ以テ壓制スル役人ノ爲ス所無理ナル者多シト是レ何ノ言ツ人民ノ部分ニテ行ヘハ無理ニ非スシテ役人ニテ行ヘハ無理ナリト云ハ、役人ハ眞ニ害物ナリ除カサル可カラス人民ハ道理ニ適ス採用セサル可カラスト定ルナラン是レ甚シキ間違ニ非スヤ役人コソ數年練磨シ相應ノ智識ヲ具ヘ拔擢セラレ官位秩祿ヲ賜ヒ職權ヲ與ヘラレタル者ナリ尋常人民ノ選舉ニ出テシ如キ人物ノ比ニ非ス左スレハ役人其者ノ惡シキニ非ス選任ト使用其宜シキヲ得サルノ致ス所ト云ハシカ免モ角モ行政權ト自治權トノ區分判然セサレハ紛議ヲ生スルノ端緒トナラン五十四番ハ今日法律ヲ制定スルモ逆モ行届キタル法律ヲ得ラルマシト云フ彼ノ英佛ノ如クスレハ果シテ可ナルカ未ダ拵ヘサル我法律ニ對シ早ク其聲價ヲ失スルハ甚タ惜ム可キニ非スヤ是レ漫ニ自分カ設ケ自分カ立ル所ハ常ニ惡シトスル臭氣ヲ帶フル者ナリ假令少シハ無理アリトスルモ行ハル、間ハ完全無疵ノ法律トシテ遵守セサル可カラス逆モ立派ナル法律ハ出來サル可シト初メヨリ觀念スレハ寧ろ早計ト云ハサルヲ得ス三度モ四度モ仔細ニ穿鑿討論スルハ最モ望ム所ナリ某官ノ言ヘル如ク本案發布施行ニ際セハ地方官ノ多務ニシテ難澁ナ



ル事アラン然シ地方長官ハ地方人民ニ對シテハ父母ノ如ク又政府ニ對シテハ中央ノ名代人ナレハ其名實ニ負カサル職權榮譽ヲ與ヘ自若トシテ其成績ヲ責ム可シ然ルヲ動モスレハ第二番目ニハ内務大臣飛出シ事ヲ處スルト云フ如キ不信用ノコト無キヲ望ム地方官ニハ充分ノ信用ヲ與ヘサレハ斯ル大切ナル事業ハ成就セサル可シ若夫役人ハ眞ニ有害物トセハ手ヲ振上ケ其罪ヲ正ス可シ又郡長ノ如キ中央政府ヨリ見レハ常ニ輕々シキ看アルモ我々其所ニ行ケハ地方主宰官ナリ行政長官ナリ然ルヲ上ヨリモ下ヨリモ束縛セラレ間々手ヲ子ジ上ケラル計リノ取扱ヒニ遭フハ彼此ノ得策ニ非ス之ヲ施行スルニ際セハ深ク注意シ人民ヲシテ錯亂セシムルコトナク費用モ成ル可キ丈ケ節省センコトヲ要ス若シ然ラサレハ人民ニ於テハ必ス目出タ迷惑ノ思ヒ有ル可シ

○三十四番美細 四十八番ノ說ヲ察スレハ少シク誤開アルカ如シ本官等濫リニ諸法案ヲシテ一時ニ發表スルヲ望ム者ニ非ス唯本案ヲ議スルニハ其牽連スル所ノ府縣制郡制ヲ合セ一案ト爲シテ議スルカ然カラサレハ連帶シテ議決センコトヲ要セルナリ其故ハ例ヘハ此ニ治安裁判所構成ノ案アリ治安裁判所ノ裁判ニ不服アラハ始審裁判所ニ申出ス可シ若シ始審裁判所ノ裁判ニ不服アラハ控訴院ニ控訴ス可シ大審院ニモ上告スルヲ得ト規定シ乍ラ其實裁判ハ唯治安裁判所ノミニ止メ始審裁判所ノ裁判ヲ受ケシメス控訴院ニ大審院ニ控訴上告スルノ門戸開カスシテ僅カニ治安裁判所ノ裁判ノミヲ以テスルハ猶是レ參事會ノ名アリテ其實無ク其裁決ヲ求ムル門戸開カスシテ町村制ノミ布クニ同シ一向ニ其効能ナキノミナラス尙ホ此ニ不可ナル一例ヲ舉レハ町村會ニテ選舉セシ

町村長及助役ノ如キ監督官廳ノ認可ヲ受クルヲ要ス然ルニ郡長ノ之ニ認可與ヘサルニハ必ス郡參事會ノ同意ヲ要セリ今ヤ此參事會ノ設ケ無シ然ラハ此間ハ郡長一個ノ隨意ニ此不認可權ヲ行フヲ得ヘシ是レ其法ヲ設クルモ其事ヲ行ハサル者ニテ不權衡ノ甚レキニ非スヤ故ニ本官等ハ府縣制郡制ト合セテ之ヲ議決シ共ニ施行センコトヲ欲セリ聊カ爲メニ一言ヲ辯ス

退席

四十八番

鳥尾小彌太

○九番榎村 問題說ニ對シ八番ヨリモ質問アリ本官モ亦之ニ同シ五十四番ノ委員席ニ在ルヤ未ダ曾テ斯ル動議ノアリシヲ聞カス然シ五十四番ノ法律ヲ合シテ施行セント云ヘルハ府縣制郡制ハ勿論民法商法ヲモ合セテスルノ意ナリヤ其區域ヲ問フ賛成者タル三十四番ハ府縣制郡制ニ止マル者ノ如シ八番ニ答辯ヲ與フル際請フ之ヲモ辯セヨ

○五十四番加藤 本官ノ意見ハ既ニ其大抵ヲ述ヘタリト信スルモ八番九番ノ質問アルヲ以テ更ニ一辯セン本官ハ敢テ本案ヲ不可ナリトセス暫ク發表ノ見合セヲ希望セリ立派ニ斷言セハ今日ノ所ハ先ツ廢案ト云ハサルヲ得サルモ其意味ハ廢スルニ非スシテ暫時見合セヲ要スルニ在ルナリ若シ見合セト云フ例ナクシテ不可ナレハ廢案ト云フモ可ナリトノ說ヲ提出セリ又九番ヨリハ法律ヲ揃ヘテ發セントスル區域ハ何所迄アリヤヤ問フ個ハ新日本ヲ建造スル法律ナレハ廣ク云ヘハ法律取調局ニテ編制スル者ヲモ悉ク合セ多クノ材料ヲ蒐集シ都テノ支度ヲ整ヒ共ニ揃ヘテ照査シ之ヲ發センコト固ヨリ望ム所ナルモ若シ能ハスンハセメテハ行政一部ニ屬スル府縣制郡制ヲハ共ニセンコトヲ欲



ス又實際法律ノ廣ク世ニ行ハル、ニハ漸ヲ以テス可シト雖區々ナルハ不可ナリ縮メテ少ナクモ行政ニ屬スル分ヲハ相待テ發セサル可カラサル者トス又十四番ハ同一ニ發セハ地方ニテ混雜スル故先ツ町村制ヲ發シ漸々他ノ法律ニ及フ可シト云フ本官ハ相率連スル者ハ双方見合セ互ニ矛盾ナキ様ニセシコトヲ欲ス敢テ施行ヲ急ニスルヲ要セサルナリ國會開設條約改正ハ之ヲ別事トシ法律ノ完備ハ急激ニ求ム可カラス十五年乃至二十年後ル、モ已ムヲ得サル者ト認ム是レ各意見ノ異ナル所ナリ又四十八番ハ法律ヲ一度ニ議定スルハ到底能ハサル所ナレハ片端シヨリ出來タル丈ケ宛施行ス可シト云フ本官モ決シテ一時ニ議定發表セヨト云フニハ非ス其同一ナル議席ニテ諸般ノ議案ニ對シ一時ニ議定スル能ハサルハ勿論ナリ本官ノ意ハ內務省法律取調局ニ論ナク既ニ編制セシ成案ニシテ議案ニ關係アリトセハ共ニ之ヲ參照シ大体ニ於テ大ナル矛盾ナキヲ認メテ而シテ後ニ議定セハ是レ一ツノ安心ヲ得大抵ノ見當ニ定マル所アルヲ以テ本案ヲ議スルニ當テモ內閣委員ハ詳カニ説明スルヲ得各官モ亦詳細ニ問フコトヲ得ヘシト云フニ在リ是レ議事ノ便利ノミナラス制法ノ体ヲ得タル者ト信ス今ヤ然カラズ本案ニ牽連スル郡制ニハ如何ナル事項アリヤ府縣制ニハ何程ノ權限アリヤ更ニ參照ノ便ナシ假令本案ニ對シ幾多ノ修正ヲ施サントスルモ前ニ確信ス可キ材料ナシ是レ之ヲ缺典ト云ハスシテ何ツヤ其片端シヨリ片付ルト言フハ一理アルモ目前ニ參照セサルヲ得サル法案アルニモ拘ラス別ニ取除ケテ本案ノミヲ以テ議定セサルヲ得ストスルハ最モ窮屈ナル論ニシテ本官ノ解スル能ハサル所ナリ

○外三番白根 五十四番ノ說問題ニ上リタルヲ以テ一言セン五十四番ハ最前ハ郡制府縣制等ヲ合セ全般ノ法案ヲ持チ來ラサレハ議スル能ハサルカ如ク云ヒ今ヤ參考ノ法案ナクシテハ內閣委員ノ陳辯モ信用ナリ難シト云ヘルカ如シ草案ニシテ引當ニナルナラハ內閣委員ノ言モ引當ニナラサルノ理ナシ草案必シモ全備セシ者ニ限ラス或ハ箇條ニ書立タル如キ者モ有ラン五十四番ノ如クセハ夫テモ參照ニ足ルト云ハサルヲ得ヌ要スルニ五十四番ノ廢棄說ハ理由ニ乏シク脆弱ナル說ト云ハンノミ全体本案ヲ廢ストナラハ地方自治ノ制ヲ設クル不可ナル所以ヲ述ヘ町村長ヲ公選スルノ不是ナル理由ヲ說キ名譽職ヲ以テスルノ不當ナルヲ論シ以テ之ヲ攻撃セハ論理頭尾貫ク可キモ本案ノ主意ヲハ之ヲ是視シ乍ラ行政法ノ草案悉皆整ハサレハ議スル能ハストハ無理ナル論述ナリ府縣制郡制大体ノ結構ニ對シ見合ニセントナラハ何條何項ハ大抵此ノ如シト一ニ其本文ニ涉ラサルモ大概ヲ認メ得ラル可シ萬事大体ヲ認メハ左マテ餘波ニ涉ラステ成ル者ナラン矧シテ本案ノ如キ一部完成ノ法案ニシテ獨行ス可キ者ナルニ後ヨリ來ル可キ法案ヲ見サル間ハ議スル能ハサルヲ以テ廢ス可シトハ如何ナル意ナリヤ本員等甚タ迷惑スル所ナリ此案ヲハ何様ニ眞赤ニ修正スルモ可ナリ五十四番ハ充分ニ五十四番ノ意見ヲ吐露シ第二讀會ヲハ例ニ依リ議場ヲ通過セシメントコトヲ望ム又其言ニ國會開設條約改正如何ニ關セス五六年間ニ法律ヲ制定シ十五年二十年ヲ待テ後チ其實績ヲ收ム可シト是レ今日ノ情態ニ於テ言フ可クシテ行フ可カラサル說ナリ本案ハ最モ國會開設準備ニ關係アリ又條約改正ニモ要用ナリ本制ニシテ整然行ハル、ニ非サレハ施政上百



般ノ事皆緒ニ就カサル可シ本案ヲ發スルノ時期既ニ晚レタリ所謂日暮テ道遠シ今日ノ政府ニシテ三年鳴カス飛ハス居然安間消光セラレ可キカ本案ノ如キハ急務中ノ最モ急務ナリ是レ之ヲ察セス五六年間ニスルモ可ナリトハ方今ノ地方情態ニ照シ本官ハ殆ント涙出ントス本案ノ精神ニシテ不可ナル有テ廢セラレハ格別ナルモ追テ來ル可キ物ノ未タ來ラサルヲ以テ廢棄スト云フニ至テハ到底本員等ノ服スル能ハサル所ナリ抑々町村制ニシテ此ノ如クナレハ郡制ハ必ス此ノ如クナラン府縣制モ亦然リト大抵ノ見當ヲ定メ斷案スル左マテ難事ニ非ラサルハケレハ速ニ逐條議ニ涉リ議定センコトヲ望ム其他本官ノ言ハントスル所大抵本案賛成者タル各位ノ述ル有リ各官中問題ニ對シ賛成說ナクンハ默シテ謹聽ス可キ筈ナルモ勢ヒ已ム能ハスシテ之ヲ述フ要スルニ郡制府縣制ノ如キ未タ多少調査ニ時日ヲ費ス可シ若シ之ヲ相待テ發布セハ時機既ニ後ルノミナラス何ヲ以カ今日ノ時態ニ應センヤ

退席

五十一番

井田 讓

○五十四番加藤 弘之 本官取テ前後說ヲ異ニセス本官ノ意ハ府縣制ト云ヒ郡制ト云フモ大抵地方ノ狀況ヲ察シ之レニ相當スル制度ヲ設ケタル者ト信ス故ニ相聯絡スルハ言ヲ待タス本官ヨリ之ヲ見レハ府縣制郡制ト云フモ今ハ草案ト云フ可ク而シテ又各其用ヲ殊ニス然シ之ヲ合スレハ同シク地方全般ノ制度タリ本官委員席ニテ內閣委員ニ問ヒシ所ヲ疑フニ非ス又內閣ノ議ノ動ク有ランコトヲ疑フニ非ス唯確信スル能ハサルハ假令內閣ニテ大略定マル有ルモ未タ議定ヲ經ス未來ニ屬スル法案ナレハナリ又內閣委員ハ本案

ニシテ既ニ可認シ乍ラ他ノ法案ノ揃ハサル爲メ廢セラレハ遺憾ナリト云フ本官モ曾テ起草者ノ大ニ骨折ラル、所ナルヲ察シ稱シテ好議案ト云ヘリ然レ之レカ相手ニ成ル可キ即チ對比ノ法案出來サル故已ヲ得ス今ノ時ニ當テハ廢案ト云フヨリ外ニ口實ナケレハ其好マサル言辭ナルモ忍ンテ廢案ト云フナリ然シ廢案說ナレハ必ス否視スル議案ニ限ルト云フ定義モ無カル可シ隨分見合セテ望ムト云フコト無キニモ非ラサルヘシ又本官ハ此町村制ヲ以テ國會開設ノ準備及條約改正ノ用意ニ不用ナリト斷言セシコト無シ唯チダハダノ法律ノ出來ンヨリハ寧ロ少シク時期ハ後ルモ完備ナル者ヲ制定センコトヲ要セリ又地方官ノ内命ヲ受ケシコト及ヒ各地方今日ノ情況ヲ察セスシテ妄リニ言ヲ立ル者ニ非ス自治分權ハ衆ノ欲スル所ニシテ早晚確定セサルヲ得サル者ナレハ好ントテ其失望ヲ傍觀スルニ非ス其中途半把ノ者ヲ布カンヨリハ結構至極ノ者ヲ以テセントス既ニ維新後二十年ヲ經タリ前途經畫ノコト之ヲ往事ニ問フ可シ是ヨリ二十年ヲ合スルモ四十年ナリ古昔歐洲北國ノ未タ開ケサル其初ノ獨乙ニテ羅馬ノ法律ニ倣ヒ之ヲ制定シ漸次經驗スル所アリ屢ハ改修シ數百年間ノ星霜ヲ經テ以テ今日ニ至リタルナリ今ヨリ二十年間ヲ期シ歐洲ニ行ハルル所ノ完然無疵ナル立派ノ法律ヲ作り而カモ日本ノ國体人情ニ適セシメントスルハ如何ニ當務者ノ致々勤勉スルモ恐クハ難事ナラン本官ハ斯ク固ク之ヲ信スルヲ以テ止マ早キノヨリ之レ爭ヒ將來ノ結果如何ヲ願ミス發表スルハ得策ニ非ストスルナリ

○三十七番山口 尚芳 問題說ニ對シ一言セン其說ニ歐洲ノ如キ完全ナル法律ハ容易ニ行ハル



可カラスト然ルニ本案ハ書キ方コソ歐文ノ反譯ニ似タルモ其事柄ハ固有ノ舊物ナリ曾テ慣習ノ廢除セシ者ヲ舊ニ復スルノミ故ニ舊來ノ文体ヲ以テ記載セハ斯ル議論ハ無ル可シ豈其獨乙ノ他國ノ法律ニ摸倣シ之ヲ制定スルニ數百年ヲ費シタルト同一視ス可ケンヤ我日本ハ今日ニシテ昔日ノ制ニ復スル者ナリ之ヲ舊ニ復セハ人民悅ンテ之ニ從フ可キノミ既ニ昔日ニシテ各町村ハ一家ノ關係ノ如クニシテ成立セリ故ニ向後ト雖モ大抵ノ事件ハ町村自ラ處置ス可シ郡ニ參事會アルモ其之ヲ置カサル間ハ郡長之ヲ行フト云ヘル如キハ強テ論ス可キ事ニ非ス以前ハ庄屋名主ノ上ニ大庄屋ト云ヘル者アリテ之ヲ總轄シ町村限リニテ治リ兼ネタル事柄ヲ取捌キタル例モ有レハ郡長ノ之ヲ取扱フト亦何ゾ異ナラン本案ヲ發表セハ第三百三十六條ノ明文ニ依リ府縣知事ハ地方ノ情況ヲ裁酌シ具申スル所アラシム此町村會ト云ヘル仕組ハ少シ異ナルモ是モ昔日町村講ナル者アリテ自治体ヲ爲セルニ似タリ自ラ舊時ヲ思ヘハ容易ニ新規ノ出來事ニ非サルヲ解セン此法タルヤ大体ニ於テハ十年前ニ復歸スト云フモ可ナラン租稅徵收ノ如キモ固ヨリ自治体ニテ己レノ自ラ有スル責任ナレハ舊時ノ如ク取扱ハサルヲ得ス唯タ本法ハ貴様ハ貴様ノ有ル權利ヲ保チ其負フ可キ義務ハ之ヲ負フ可シト云フ事柄ヲ定メタルノミ以前一度地方ヲ大小區ニ分割シ不便ヲ來シタルコト有リ戸長ノ稱呼此ニ始マリ爾來公選ノ變シテ官選トナリタルモ今日ノ所ニテハ最早本案ノ如クシテ可ナリ假令町村小紛議アルモ大抵ハ自ラ處理シ其能ハサル所ハ郡長ニ於テ處分ス又其内ニハ參事會モ開設セラレ可シ本案施行ハ左マテ六ツケシキ事柄ニアラサレハ速ニ決定センコトヲ要ス

○六十八番<sup>内</sup> 本官ハ不本意乍ラ問題說ニ贊成セリ本案ト共ニ發表セラル可キハ市制ナルモ此市制ノ最モ速ニ行ハサルヲ得サル東京京都大坂ノ三府ハ別段ノ制ヲ設ケラルルヲ以テ市制外ニ居ラシメ而シテ未タ三府ノ制ハ如何ナル体裁ニナル可キヤヲ知ラスシテ之ヲ發ス是レ不都合ニ非スヤ又自治体ト云ヒ行政區ト云フ皆其重ナル都府ヨリ始ム可キハ論ナケン既ニ東京ノ如キハ發布ノ翌日ヲ以テ施行期限ト定メラル然ルヲ都府ハ之ヲ跡廻シニシテ田舎ヨリ之ヲ行フハ其順序ノ宜シキヲ得タリト云フ可キカ發議者言アル如ク新日本ヲ作ルトモ云フ可キ法案ニシテ最モ近キ三府ノ制スヲ引合ハスル能ハスシテ之ヲ議定スルハ寧ロ早計ト云ハサルヲ得ス之ヲ他ノ例ニ比セハ此法ハ内地各府縣ニ行ハスシテ北海道小笠原島ニ施行スト云フカ如シ首尾相應セサルナリ

○九番<sup>榎村</sup> 本官ハ問題說ニ對シ不了解ノ廉ヲ質問セシニ新日本ヲ作ルニハ許多ノ材料ヲ要ス都テ整ヒタル上ニ着手スルヲ欲スルモ能ハサレハ縮メテモ行政部分ノ法律丈ケハ共ニスルヲ要スト云ヘリ便利ハ或ハ便利ナラン然シ決シテ行ハル可カラス又必スシモ同時ニスルヲ要セス某官ハ三都ヲ其儘ニ置キ他ヨリスルヲ不是ナリト云フ本官ハ却テ其事實ニ適スルヲ信ス從前制法上兎角東京ノ如キヲ先キニシ又目的トスル故行旅死亡ヲ取扱フニ川流レノ始末ヲ云フテ道路行キ倒レノコトヲ云ハス此ノ如キ事柄往々之レ有リ且東京始メ三都ハ別段ニ定ムルコト明文アリ又發論者ハ本案制定ノ義ヲ造家ノ事ニ比シ玄關ト臺所ト同時ニ建造セサレハ不都合多シ此町村制モ政事ノ基礎ナレハ他ノ案ト同時ニ制定セサレハ不都合ナリト云フ本官此案ヲ以テ其建造前ノ業タル地ナラ



シヲ爲シ地形ヲ固ムルニ譬フ此地形ノ堅硬ヲ得ハ玄關ニ臺所ニ勝手次第ニ建造スルコトヲ得ヘシ此法案制定シテ後チ他ノ行政法案續々出來ルナラン然ラハ毫モ謙遜ヲ用ヒス充分ニ修正シ地固メヲ入念シ家屋建造ノ地歩ヲ進ム可シ又賛成者中ニ參事會ノ設置ハ最モ大切ナリ其出來サル内ニ此法ヲ行フハ不可ナリト云フ本案ハ之ヲ一般ニ行フニ非ス行フコトヲ得可キ地方ニノミ之ヲ行フ故ニ暫クノ間ハ日本ハ斑ラノ日本ナリ假令參事會ノ開設ナキモ其間假リニ郡長ニテ之ヲ行ヘハ更ニ差支ナシ又某官ハ本案ヲ發セハ地方大激動ノ生スルヲ恐ルト云フモ決シテ然カラス地方モ大抵方今ノ時勢ヲ曉リ居レルノミナラス畢竟在來ノ慣行ヲ用ユル者多キヲ以テ毫モ其邊ニハ配慮ヲ要セス本案ハ調査委員席ノ多數ニ頼リ決定セシ所ナルモ遺漏ナキヲ得サルヘケレハ其修正ス可キハ飽マテ討議シ充分ノ修正アランコトヲ求ム即是地方制度建築初度ノ地ナラシナレハ庶幾クハ地盤ノ永久ニ亘リ堅固ナランコトヲ

○八番 楠本 正隆 廢案說問題ト爲ル本官等反對說ヲ述ヘントスルモ最早四時ニ近シ時間モ餘リニ過ルヲ覺フ此ニ述フルモ妨ケ無キヤ之ヲ議長ニ問フ

○三十五番 津田 眞道 本官ハ復タ問題說ニ賛成ノ意ヲ述ヘントスルニ退席議員多シ八番モ時間過キ長演舌ヲ憚ル者ノ如シ今日ハ最早退散ヲ命セラレテ可ナランカ

○三十七番 山口 尚芳 討議充分盡セリト信ス願クハ取決セラレンコトヲ  
○三十番 本田 親雄 本官ハ本案維持說ヲ持ス反對論ニ種々アルモ恐ラクハ成立セサル可シ何トナレハ方今ノ時態ニ於テ必要ナル法案ニシテ而カモ本官ハ之ヲ發スルノ時期既ニ晚

レタルヲ恨ムル程ナリ現行區町村會法ノ如キ甚タ不完全ノ者ナレハ必ス速ニ改良セサルヲ得ス本案ハ一日モ早ク實施セラレンコトヲ望ム此ニ本官特別建議アリ今日ハ時刻漸ク後レタルヲ以テ問題說ノ取決ハ明日ニ延シ本日ノ議事ハ此ニ止メラレンコトヲ希望ス

○議長 各位ノ建議アリ時刻モ早ヤ四時ヲ過クルヲ以テ今日ノ議事ハ此ニ止メ明日例刻ヨリ開會セン散會セヨ  
午後第四時十分閉場

○明治二十年十二月二十四日 第二讀會續會

議長 大木 喬任

出席議員

- |     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 三番  | 永山 盛輝 | 十四番  | 渡邊 清  |
| 四番  | 石井 忠亮 | 十五番  | 大久保一翁 |
| 六番  | 宮本 小一 | 十九番  | 田中 芳男 |
| 八番  | 楠本 正隆 | 二十番  | 岩村 定高 |
| 九番  | 榎村 正直 | 二十二番 | 中村 正直 |
| 十三番 | 伊集院兼寛 | 二十三番 | 久我 通久 |



二十六番	河田 景與	五十一番	井田 讓
二十七番	尾崎 三良	五十二番	由利 公正
二十八番	原田 一道	五十四番	加藤 弘之
三十番	本田 親雄	五十五番	調所 廣丈
三十一番	長谷部辰連	五十六番	林 友幸
三十四番	小畑 美稻	五十八番	鍋島 直彬
三十五番	津田 眞道	五十九番	長松 幹
三十七番	山口 尙芳	六十三番	渡邊 驥
四十番	綿貫 吉直	六十五番	西 周
四十一番	長岡 護美	六十八番	岡内 重俊
四十三番	田邊 太一	六十九番	上杉 茂憲
四十五番	時任 爲基	七十番	東久世通禧
四十九番	神田 孝平		

内閣委員

- 番外二番 法制局參事官 水野 遵
- 番外三番 内務書記官 白根 專一
- 番外四番 内務大臣秘書官 大森 鐘一
- 番外五番 内務省參事官 荒川 邦藏

午前第十時開場

○議長 第五百五十九號議案第二讀會ノ續キ會ヲ開ク

○三十五番 津田 眞道 昨日廢案ノ主旨ヲ述シモ未タ其意ヲ達セス更ニ之ヲ補陳セン本官ハ元ト一種ノ意見ヲ持シ問題發議者ト其意趣ヲ異ニスルモ結果ハ本案廢棄ニ在レハ一步ヲ讓リテ之ヲ賛成セリ抑本官ノ意見タル昨日其大綱ヲ論セシ如ク今日ノ形勢ニ於テハ先ツ第一ニ國憲ヲ制定シ次ニ府縣制郡制ニ及ホシ次テ町村制市制ヲ頒布スルハ寔ニ其順序ナリト信ス我國古來ヨリ一令ヲ布ク毎トニ咸ナ上ヨリ下ニ及ホスヲ例トス近時ニ於テモ然リ政府學制ヲ定ムルヤ初メ大學ヲ主トシ次テ中學小學ニ及ヘリ其上ヨリ下ニ及フノ故ハ一國具眼ノ人多クハ皆中央政府ニ集リ源ヲ此ニ發シ爾 交流ニ及ホシ瀾漫汪洋タラシムルハ我國ノ制ナリ今ヤ之ニ反シ町村制ヲ以テ第一ニ發シ次ニ郡制又其次ニ府縣制ヲ發シ最後ニ國憲ヲ發セントスル者ノ如シ是レ最モ本官ノ非視スル所ナリ歐米地方制度ノ如キハ稍々本案ニ似下ヨリ上ニ及ホセリ是レ各國其宜キニ從フ所以ナラン畢竟自治ノ根元ハ町村ニ在ラスシテ一個人ニ有リ人々智識ヲ發達シ個々自營ノ精神ヲ振作セハ文明ノ化域ニ達スルヤ疑フ可キニ非ス否カラサレハ常ニ半開國ト云ハレ野蠻人ト目セラレン此制ヲ發布セントセハ深ク之ヲ思ハサル可カラス我國古昔ノ制度ハ天祖ノ定メ玉ヒシ所ニシテ神孫綿々承傳シ來レリ中古漸ク支那隋唐ノ制度ニ摸倣シ歲月ノ久シキ其慣習ニ沿レリ今ヤ盛ニ歐學ノ行ハルニ氣運ニ際セシト雖モ全國中書ヲ讀ミ文ヲ弄スル者多クハ漢學者流ナリ本官幼年ノ時大學ノ句讀ヲ受ケ彼ノ家ヲ



齊へ國ヲ治メ天下ヲ治ムルノ法ヲ聞ク彼レ謂フ所ノ天下トハ全國ノ事ニシテ全國ヲ治ムルハ一家ヨリスルノ言ヲ立テ殊ニ一家ヲ大切ナル者ト認メ其組織モ一家ハ一國ノ如ク一家ノ主人ハ一國ノ君主ノ如シ我國モ亦之ト同シ維新ノ後チ家ヲ戸ト稱スルニ至リシモ依然戸主ハ一家ノ君主ノコトシ尤モ彼國一家ニシテ其大ナル者多シ唐ノ郭汾陽ノ如キ一家幾ント百數十人ノ多キニ及ヘリ我國ノ戸ハ大抵少人數ナルモ戸ハ即チ戸ニシテ戸主ノ權勢猶彼ニ異ナラス歐洲ノ制ハ之ニ異ナリ一個人ヲ重ニス人生レテ丁年ニ至レハ皆悉ク獨立ノ資格ヲ有シ假令親子三人同居スルモ其三人ハ各戸主ニシテ各後見ノ權ヲ有ス我國從來ノ制ニテハ後見ヲ爲スハ戸主ニ限レリ假令巨萬ノ富ヲ保ツモ戸主ニ非ラサル限リハ能ハストセリ本案十中ノ七八ハ歐洲制度ニ傾キタリト信ス然ルニ第一ニ差支アリトスルハ民法人事篇ニ關係スルノ一事ナリ凡ソ人民ノ財產ニ於ル歐洲ノ如ク財產法ヲ以テスルヤ將タ從來慣習ノ相續法ニ沿ルヤ是レ最モ至要ノ問題ナリ從來ノ制ニ於テハ親ヨリハ長男ニ傳ヘ餘子ハ何ノ得ル無ク常ニ長男ノ冷飯喰ヒニテ一生ヲ終ル者ナリ近時華族世襲財產法ヲ定メラレシモ矢張長男ニ傳ヘラル、ノ制ニテ別家シテ平民籍ニ入レハ格別左モ無キ時ハ是又冷飯喰ヒタルヲ免レス歐洲ノ如キ其親侯爵ナレハ其次三男ト雖モ伯爵ニ叙セラル、コト有リ日本ニテハ別戸スレハ公侯ノ貴キ家ニ生ル、モ平民ナリ是等ノ民法人事篇ニテ如何ノ定メニナル可キカ英國ハ不動産ヲ長子ニ動産ヲ次三男ニ傳フルノ例ナリト云フ此事我國ニ行フハ殊ニ困難ナラン然レハ日本ハ日本ノ宜シキニ從ヒ制定スルヨリ外ナシ故ニ本案ヲ制定スルニハ是非內務省ヨリ民

法ヲ編纂スル委員ニ其打合せ無カル可カラス然カラスンハ此一事ニ於テモ大ニ齟齬スル所アル可シ斯ク言ヘハ至極問題發議者ニ同意ノ如キモ決シテ然ラス本官ハ政事上ヨリ熱心廢案ヲ主張シ餘波偶マ民法人事篇ニ及ヘル者ナリ我國ニテハ英國ノ如キ折衷法ヲ用ユルカ將タ佛國ノ如クナルカ聞ク佛國ニテハ其父死スレハ財產ヲ半バニ分チ一半ハ未亡人之ヲ受ケ一半ハ諸子之ヲ受ク若シ其子未丁年者ナレハ後見人ノ之ヲ管スル猶日本ノ幼年戸主ニ後見人アルカコトシト本案ノ民法人事篇等ニ關係アルニモ拘ラス本案ノミ發表スルルハ往々不都合ヲ生シ政府人民共ニ後來甚タ困却スル有ラン況シテ本案タル之ヲ布クモ更ニ實利實益ナク止タ一時外國人ニ我体面ノ華美ヲ示スニ過キサルヲヤ抑、條約改正ノ事ハ重大ニシテ殊ニ困難ナリ銳意經畫好結果ヲ得ントスルハ勿論ナレトモ之レ特リ法律規則ニ賴リ求メ得可キニ非ス必スヤ國力ニ在リ國力トハ何ソ國ヲ富シ兵ヲ強フスルノ謂ヒナリ歐洲各國中西班牙葡萄牙土耳其ノ如キ本官未タ其地ヲ經過セシコト無キモ聞ク所ヲ以テスレハ制度衣服ノ美英佛ニハ及ハサルモ迦カニ我上ニ出テ其版圖ハ我ト伯仲ノ間ニ在リト然ラハ英佛文明ノ美喜フ可シト雖モ個ハ漸ク以テ歩ヲ進ム可シ若シ俄ニ彼ニ學ハントスルルハ乃チ第二ノ埃及國ヲ見ルニ至ラン夫レ埃及王タル其國制度文物ノ遠ク歐洲文明國ニ劣リタルヲ愧チ盛シニ歐人ヲ聘シ熱心改良ヲ希圖シ其資金ノ多額ヲ英佛巨商ヨリ借入レ百般ノ事業ニ着手セシモ未タ其功成ラサルニ早ク經費ニ支ヘラレ意外ノ不幸ニ遭ヒ其王室ハ身代限ノ如クニ陥リ遂ニ其王位ヲ保ツ能ハサルニ至レリ是畢竟我ヲ知ラス彼レヲ知ラス安ニ歐洲ノ制度文物ヲ羨望セ



シノ致ス所ニシテ王位ノ貴キヲ斥ケラレ慙ム可シ幽囚ノ身ト爲リ國モ亦隨テ疲弊シ獨立ノ体面ヲ傷ヒ他國ノ管理ヲ受クルニ至レルナリ縱令外觀ハ亞西亞ノ舊態ヲ存スルモ支那人ハ頭髮衣什都テ舊滿洲蒙古ニシテ就中婦人ノ縮足直立スル能ハサルカ如キ其陋習甚タ愚ナルカ如シト雖モ支那政府ハ必ス見ル所アツテ然ル者ナラン何トナレハ陸海軍体制及ヒ鐵道電信ノ如キ歐洲ノ長ヲ取り漸次擴張スル所アリ我カ眼目ヨリ見レハ至極後レタルカ如キモ府算法アリ決シテ埃及ノ覆轍ヲハ履マサル可シ近時佛國ト兵ヲ交ヘ幾ント一年間之ヲ支ヘ共和ヲ講シ再度ノ條約ヲ結フニ於テハ自己ノ利益トナルノ好結果ヲ得タリ然レハ支那ノ常ニ眠レルカ如キモ決シテ眠ルニ非ス沈着事ヲ處スル者ノ如シ若夫政事上機關ノ動ク我ニ一日ノ長アル如キモ民事ニ經濟ニ力業ニ織物ニ孰レカ優レル支那人ノ刻苦勤勉ナル印度諸島ヨリ北米各地支那人ノ居ラサル所ナシ是皆己レノ生計ヲ富マシ隨テ國ヲ富ス者ナリ政事上ノ進歩ハ敢テ深謀遠慮ヲ用ユルニ及ハス單ニ民智ヲ開キ民力ヲ伸フルハ是レ實ニ今日ノ急務ナラン希クハ廣堂ヨリ人民ニ至ルマテ一ニ心ヲ此ニ置キ夙夜怠ラサランコトヲ未タ本案ノ如キ外觀ノ美ヲ粉飾ス可キ時ニ非ラサルナリ

○五十六番 林友幸 問題說ニハ不同意ナリ時勢已ニ此ニ至レハ必ス本案ノ發布ヲ要ス修正ハ爲ス可クモ廢棄ハ爲ス可カラス本案ノ字面ヲ看レハ何ニカ六ツケシキ様ナルモ從前ヨリ大抵此ノ如ク何レモ定メテ有ル事柄ニテ唯成文トナルノミ而シテ人間ニ智惠ノ進否アレハ其進マサル地方ニハ敢テ要用ナカル可キモ駁々進歩セシ地方ニシテ之ヲ布カ

ハ滿 人智ヲ開發シ其利益タル少小ニ非サル可シ最早二十三年國會開設ノ期モ近キニ在レハ必ス之ヲ發セサルヲ得ス速ニ逐條議ニ涉ランコトヲ要ス

○三十番 本田觀雄 本官モ昨日來問題說ニ不同意ナル旨ヲ陳述セリ元來廢案論ノ主トシテ主張スル所ハ第一此制ヲ設クルハ早シト是レ其文明ノ歐洲各國ニ及ハサルヲ以テ歐洲各國ナラハ可ナルモ日本ニテハ不可ナリトスルノ意ナランカ是レ最モ分カラサル說ナリ又維新後二十年ヲ經タリ此後二十年ヲ經ルモ前後四十年ナリ獨乙ノ如キハ數百年ヲ經テ今ニ及ヘリト是又其意ヲ得サル論ナリ此案ハ我國文明ノ域ニ達セサレハ行フ能ハストスルカ斯ル論者ハ如何ナル眼睛ヲ以テ我國ヲ見渡シタリヤ全ク野蠻ニテ郡モ無ク州モ無ク其國ヲ爲ササル者ナラシメハ或ハ其說アル可キモ我國ノ制タル先ツ往古ハ措キ徳川氏覇府ヲ開キシ以來一定ノ政治ハ能ク國內ニ行ハレ制度風俗ノ見ル可キ者甚タ多ク維新以來更ニ改良ヲ加ヘ漸クニシテ今日ニ至レリ本案タルモ亦其改良ノ一ナリ物ノ善ナラサルヲ知リ之ヲ改良スルニ何ノ憚ル所アラン何ヲ苦ンテ之ヲ廢セントスルヤ又行政司法兩部ニテ法律編制中ナレハ双方照シ合セテ調査ス可シトノ言有レトモ之レ以テ其理由ノ淺キヲ如何ン此法發表ノ後若シ民法ニ齟齬スル所アリテ實際イヨク々々差支アラハ其部分ノミ取除テ可ナリ又論者ハ人民富テ後ニ發ス可シ今日ニシテ此ノ如キ空中ニ樓閣ヲ畫キ蜃氣樓ヲ起スハ得策ニ非ストマテニ論セシモ決シテ然カラス民智ノ開發ニ隨ヒ進ンテ改正ス可キ者アレハ必ス進ンテ改正セサルヲ得ス是レ新規ニ營造スル者ニ非スシテ從來存スル所ノ者ヲ時勢ニ應シ民智ヲ察シ改良スルニ在レハナリ例ヘハ



現行法タル各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則ノ如キ又ハ區町村會法ノ如キ區々混雜セル諸法ヲ一括シテ本案ニ併セハ其便ナル言フヲ待タスシテ明カニ而カモ時勢ニ應シ民度ニ合シ能ク其所ヲ得可シ本案發表ハ大ニ政府ノ美譽ナリト認ムルヲ以テ問題説ニハ不同意ナリ

○四十三番<sup>田邊</sup> 本案維持説盛ンナリ本官ハ問題説ノ賛成者ナルヲ以テ其意ヲ發セン一〇ニ言ヘハ皆廢案説ナルモ其内ニハ種々ノ論趣アリ本官ハ三十五番ノ唱フル説ニ全ク同意ナリ此町村制ノミ發表スルハ他ノ障害ヲ來ス可キハ勿論ナリ府縣郡制及ヒ三都ノ制ハ逐次發セラル可シト唯其時サノミニテ現品ハ如何ナル者ニテ如何ナル關係アル可キヤヲモ察セスシテ本案ノミ獨行スルハ策ノ得タル者ニ非ス本官ハ決シテ本案ヲ發表スル時機未タ早シ杯ト論スル者ニ非ス速ニ實施ヲ望ムニ在ルモ兎角物毎揃ハスシテ半頗ニテ行フハ必ス跡々ニテ差支ノ生スルコト多シ本案先ツ之ヲ布キ次テ他ノ地方制度發セラル、ハ必ス前後錯綜シ齟齬ノ弊ナキ能ハサラン某官ノ勝手ノ都合知レサルニ先ツ玄關ノミ出來ル警諭ハ事實ニ當レルカ如シ某官又此言ニ對シ一説ヲ爲シ此案ハ建家ニ非ス之ヲ以テ地方ノ地形地ナラシヲ爲ス者ナリト云フ是レ又一説ナリ假令之ヲ地ナラシナリトスルモ建造物ハ三階ナリヤ或ハ五階ナリヤ又ハ煉瓦作リカ石造カ豫定スル無クハ地ナラシト雖モ爲ス能ハサラン其建造物ノ確定マラサル間之ヲ内閣ニ返上スルカ依然本院ニ預リ居ルカ孰レニモセヨ要用ナル他ノ案ト大抵揃ヒタル上ニテ議定スルヲ可トス

○九番<sup>榎村</sup> 今朝來民法人事篇ヨリ一人一家ノ關係ヲ説キ又物毎揃ハサレハ發スル能ハ

スト種々論アルモ左様ニ批難スルハ何等ノ法律ト雖モ終ニ發スル期ナカラシ某官ハ本官ノ説ニ對シ地ナラシナラハ猶更建造物ノ都合ヲ量ラサルヲ得スト論セシモ最早今回ノ地ナラシハ堅固ニシテ結構ヲ究メシ者ナレハ煉瓦石造何様ノ建物ヲ爲スモ更ニ差支ナシ新日本ヲ建立スル諸道具整フテ後ニ着手ス可シト云フカ如キハ中々人間業サノ能ク及フ所ニ非ス此町村制ハ國家百般制度ヲ布クノ基礎ナレハ内閣ニテハ此基礎ノ堅固ナルヲ欲シ先ツ其結構宜シキヲ得速ニ之ヲ發セントスルハ甚タ其故アリト信ス本官等ノ之ヲ賛成スルハ即チ其基礎法タルヲ以テノ故ナリ又昨日六十八番ハ民法ハ既ニ下付セラル調査委員ニ付託セラレシモ法律取調局ニテ法律編制ノ都合モ有レハ暫ク其容子ヲ見合セ居ルトノ言アリ本官等即チ民法調査委員ナルカ決シテ法律取調局ノ鼻息ヲ窺ヒ差控テ居ルニ非ス過日來監獄則改正案煙草稅則改正案等ノ急施ヲ要セラル、議案ノ調査ニ從事シ未タ民法ヲ調査スルノ餘暇ナキヲ以テノ故ナリ法律取調委員ノ爲メニ遲滯セシト云フハ間違ナリ併セテ爲メニ一言ヲ辯ス

○外<sup>三番</sup> 三十五番ノ三千世界丸吞ノ論説ヲ聞ク或ハ其通りナル可キヤハ知ラサルモ本員ハ特リ怪ム三十五番ノ能ク古今東西ノ事ヲ辯シ乍ラ日本現行ノ制規ニ通セサルコトヲ本案末條ニ記セル現行區町村會ノ如キモ必ス戸主ニ限ルニ非ス次三男ト雖モ選舉スルコトヲ得其他獨立シテ財産ヲ有シ公債證書モ地券モ皆其欲スル儘ニ之ヲ所有スルコトヲ得レハ今日ノ次三男ハ決シテ以前ノ冷飯喰ニ非ス又昨日問題説發議者ニ對シ



一言セシニ發議者ハ之ニ答ヘテ國會準備ニスルニモ地方便宜ノ爲メニスルモ不完全ナルハ好マス又内閣委員ノ言ヲ信セサルニハ非ス唯參考ト爲ル可キ者ナケレハ寧ロ之ヲ延ハシテ時機ヲ待タント寧ロ々々ノ言アルハ本案賛成ニ傾キタル者ト信セリ然シ其意見ノ如クスルハ本案ノ主旨ハ善ナルモ一般ノ行政法定マラサレハ不可ナリ假令十五年間ヲ經ルモ關係アル法律ハ悉ク之ヲ揃ヘテ議スルヲ要スルト言ヘルニ似タリ是レ本員等ノ惑フ所ナリ本案ノ精神タル必ス新規新法ニ非ス現行法律ノ修正ト認ムルモ可ナリ然ルヲ動モスレハ新日本ヲ造ルト云ヒ或ハ未タ日本ノ程度ニ適セスト云フ是等ノ説ニ對シテハ本案賛成ノ各位ヨリ本員等ノ言ハント欲シテ未タ言フ能ハサル所ヲ述ヘラレ甚タ盡セリトス反對各位ニ於ルモ本案ヲ非視スル廢棄説ニ非サレハ飽マテ抵抗論破スルニ由ナシ既ニ之ヲ可トセラルハ逐條議ニ涉リ充分ノ修正アラントトヲ要ス之ヲ鑛山ニ譬フレハ既ニ此ニ一個ノ銅脈アル事ヲ發見セハ漸次採取ス可シ何ソ必シモ其盡クル所マテヲ究メテ後ニ着手スルヲ要セン本案ニ於ルモ亦然リ大部ナル行政法ノ悉ク揃フヲ待タハ啻ニ無用ノ時日ヲ過シ却テ着手ノ順序ヲ失セン又或ハ本案ヲ發スルハ彼ノ嗽々タル壯士輩ヲ鎮靜スルノ手段ニ出ルヤトスルノ疑ヒ有リヤハ知ラサルモ決シテ之ヲ以テ其物議ヲ防ク杯ト云フニ非ス各位中明言ナキモ豫メ之ヲ一言ス而シテ是カ急施ヲ要スルハ毎々述ル如ク地方制度取調委員ノ出來シ以來兎角ニ郡吏以下ノ進退ニ關スル者トシ又戸長ノ如キ改正ニ決セハ原ト官選ニ成リシ者ハ悉ク公選ニ改ル可シトテ今ヨリ身支度ヲ爲シ萬事萬端ノコト浮キ足ニテ仕事ヲ務ムル故往々事務ノ排取リ

惡シク事毎ニ困却スル旨ハ毎々地方官ノ申告スル所ナリ此損害ハ眼前ニハ判然セサルモ一年間ニハ中々五十万圓ヤ百万圓ノコトニ非ス又三十四番ノ廢棄説タル本案ニハ同意ナルモ之カ發行ト同時ニ參事會開設スル無キヲ以テ姑ク猶豫セラレンコトヲ要スト道フニ過キス是レ一理アルニ似タルモ其事柄ハ本案ニ對シ其意見ヲ提出シ議場ノ同意ヲ得テ多少修正スル所アラハ可ナラン一事ノ不可ナル有リトテ全案ヲ擧ケ丸切り廢止スルハ惜ム可キニ非スヤ内閣ニテモ反對者ノ希望セラルカ如ク他ノ牽連セル議案ヲ盡ク一ト纏メト爲シ下付スルコトヲ得ヘキナラハ固ヨリ其便宜ヲ取ル可キモ未タ幾多ノ月日ヲ費サレハ脱稿スルコト能ハス既ニ本案ノ如キ之カ編制ノ成ルヲ告ルマテニハ本官等時々夜白シテ下調ニ從事シ漸ク此ニ至リタルナリ本案ニシテ早ク發表スル有レハ次テ發ス可キ法案ノ取調上ニモ大ナル便利ヲ得可シ五十四番ノ請求セラル、如ク一般ノ行政法ヲ擧テ同時ニ下付トナルハ容易ノ業ニ非スシテ到底行ハレサル説トス今日ノ日本ニテ此ノ如キ百三十餘條ノ多キ本案ニシテ兎角モ斯ク其成ヲ告ケシハ誠ニ美事ナリト賞詞ニコソ預ル可キコトナルニ是レモ足ラスアレモ足ラスト不時ノ所望アルハ少々無理ト云フ可シ本員ノ原案ヲ維持スルノ任アル勿論ナルモ本案一二ヲ除クノ外ハ各位ニシテ是認セラル、有ラハ敢テ調査委員ノ修正ニ對シ異議ヲ唱ヘサル可シ而シテ此町村制ニシテ修正ノ如クニ決セハ他ノ次テ出ル法案モ多クハ此針路ニ向ヒ編制スルナル可シ故ニ修正ヲ要セラル可キ條項ニ對シ朱書ヲ加ヘララルハ何様ニナルモ是非ナシ只見合セ杯ト曖昧ナル言辭ヲ以テ廢棄セラル、ハ本員ノ職分上恐レテ且懼ルル



所ナリ

○四十番總貫 内閣委員説明ニ於ル又各位ノ維持説タル皆云フ本案ノ事柄ハ實際大抵慣習ニシテ別ニ新規ニセシ者ニ非スト然レ斯ク明白ニ成文法ヲ布クハ實ニ今日ニ初マル而シテ成文ノ通行ハルレハ素ヨリ異議ナキモ第二百二十九條ノ如クンハ郡參事會ヲ開設セサル間ハ其職務ハ郡長之ヲ行ヒ府縣參事會モ亦府縣知事之ヲ行ヒ剩サヘ行政裁判ノ職務モ亦内閣ニテ之ヲ行フト言ヘリ是レ豫メ出來サル事柄ヲ條々ニ列記シ最後此第二百二十九條ニテ悉ク抹殺スル者ナリ其始メヨリ實施出來サル事柄ヲ知リ乍ラ更ニ頓着ナク之ヲ議定スルハ本官等職トシテ爲シ能ハサル所ナリ内閣委員ハ其不可ナル者アラハ修正加除セヨト云フ若シ此第二百二十九條ノ如キヲ不都合ナリトシテ削除スルハ全案ノ主意其大半ハ行ハレサル可ク廢案ト相距ル幾許ナリヤ既ニ第四條ニ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議決シ云々第五條ニモ郡參事會府縣參事會裁決ス云々ノ事アリ第八條ニモ又郡參事會府縣參事會ニ訴願シ云々又行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト有リ第二十九條第三十一條第三十五條第六十條第六十七條第七十七條第四百四條第四百八條第四百九條第五百一十一條第五百二十六條第五百二十七條等悉ク削除セサルヲ得サラン然ルニ三十四番及ヒ本官等ノ意見ハ今回初メテ地方自治體ノ制ヲ布ク者ナレハ願クハ各條明文ノ如ク實際行ハレンコトヲ望ムニ在リ之ヲ實行スルニハ郡制府縣制同一ニ發スルヲ得ハ郡參事會府縣參事會構成ノ順序モ並ヒ立チ法文虛ナラス其實效ヲ見ン本官等ノ説ハ此ノ如キノミ五十四番ハ法律ノ一般ニ關シ立

論セシモ已ヲ得スンハ行政上ニ係ル法律丈ケニテモ交互照査シ齟齬スル無キヲ認メ以テ之ヲ發布セント言フ其歸スル所ハ郡制府縣制同時ニ發シ實施上差支ナカラシメントノ意ナル可シ要スルニ本案ノ精神ハ自治體ヲ建立スルニ在ルヲ以テ議員選舉等ノ事ニ於テハ最モ鄭重ヲ加ヘタリ即第二十九條ニ「町村長ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ郡長ニ報告シ郡長ハ選舉ノ効力ニ關スル異議アリテ重要ノ理由アリト認ムルニ於テハ訴願ノ有無ニ拘ラス郡參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得」ト有リ又第二十七條ニモ同様ノ意義ニテ選舉權被選舉權ノ關係ヲ明白ニシ大ニ訴願出訴ノ門戸ヲ開キタリ又第六十條第七十五條等ニテハ町村長及助役選舉ノ不認可及ヒ其給料ヲ許可セサル場合等之ヲ郡長ノ獨斷ニ委セスシテ皆郡參事會及ヒ府縣參事會ノ同意又ハ其承諾ヲ受クルコトセリ是レ集合體ニ成ル參事會ノ虚心平氣公正ヲ主トスル意見ニ任スルノ必用アルヲ以テノ故ナラン然ルヲ第二百二十九條ノ如クンハ郡長一個ノ意見ニ任セテ處斷スルヲ得ン之ヲ司法裁判ニ比スレハ豫審ト公判ト兼有スルニ同シ大ニ町村自治體ヲ毀損滅殺スル者ナリ五十四番ノ説ハ全体ニ關シ完全無缺ナルモ其結果ヲ見ル少シク遠キカ如シ三十四番ノ説ノ如クスレハ先ツ行政上一部分ヲ限界シ郡制府縣制ヲ併セテ發シ其參事會ヲ開設シ本案ノ精神タル自治體ヲ建立シ斯ル美事ナル成文法ヲシテ一ノ空文ナカラシメ今日施政ノ方針ニ於テ甚タ可ナル者ト信スルナリ

○議長 時午ニ在リ午餐ノ爲メ退場セン本日ハ土曜日ナルモ至急ヲ要セラル、ノ案且本年內餘日無ケレハ午後モ引續テ開會セン散會セヨ



正午閉會

午後零時五十分開會

退席

十九番 田中 芳男

二十七番 尾崎 三良

二十八番 原田 一道

三十七番 山口 尙芳

五十五番 調所 廣丈

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○八番正橋本 本官ハ修正ノ報告ヲ爲セシ以來發言ノ機會ヲ得ス其機會ヲ得サリシハ却テ

仕合セト爲リテ各官ノ名論ヲ充分ニ聞クヲ得タリ今ヤ議場ノ景況ヲ察スルニ廢案說ノ  
勢力頗ル盛シニシテ其理由ニ二種アリ一ハ日本ハ日本ノ風俗慣習アリ俄カニ地方ノ組  
織ヲ變更ス可ラスト云ヒ他ノ一ハ本案ノ主意ニハ異議ナキモ他ノ府縣制郡制等ト併セ  
テ發布セスハ順序ヲ得スト言フニ在リ至極尤モナル反對論ナレトモ本官ハ大ニ之ヲ辯  
駁セサルヲ得ス地方制度ニ關スル法律ノ全備ヲ俟チテ施行スルハ順序ノ上ニ於テ當然ナ  
ルモ今日ハ最早餘日モ無ク其完備ヲ俟ツニ違アラサルナリ郡制ノ出ツル無クンハ本案  
ヲ議スルヲ得ストノ反對論ハ本案町村制中ニ掲クル郡參事會ノ立タサル間ハ本案ノ實  
行ニ支障スト云フニ外ナラス然レトモ斯ル理由ヨリ本案ヲ廢止スト言ハ、何レノ日ニカ  
其實行ヲ見ルヲ得ン故ニ今日ハ多少ノ取捨ヲ加ヘテ成ヘク速ニ實施スルヲ要ス郡制以

上ノ制定セララルルノ期ハ今日ニ確知スルヲ得サレハ今日ハ取敢ヘス町村制ト市制トヲ  
實施シテ地方自治制度ノ實行ニ着手シ強テ郡制ヲ俟タサルモ可ナリ十七年ニ當議場カ  
地方稅規則第三條第十五項ノ改正、區町村會法改正及區町村費規則制定、三議案ヲ廢  
棄セシハ各官ノ知ル所ニシテ是レ當時大ニ見ル所アリテ然リシナリ從來日本ニハ自治  
ノ精神アレトモ之カ機關ナク已ニ町村ノ協議費ノ如キ又戶長ヲシテ町村會ノ議長タラシ  
ムル如キハ皆ナ自治ノ精神ヲ含ムモノナリ然レトモ町村ハ猶ホ完全ナル自治體タルヲ得  
サリシ是ヲ以テ今本案ヲ以テ從來ノ自治ノ精神ヲ助ケ起シ自治ノ制度ヲ確立セントス  
ルナリ町村長ハ現時ノ戶長ナレトモ其町村長カ町村會ノ議長ト爲ルコトハ現行法ノ戶長カ  
町村會ノ議長ト爲ルト相似テ其主義ハ大ニ異ナリ又今日ハ町村事務ノ權限ハ一ニ戶長  
ニ與ヘ別ニ市長ノ設ケ無キモ市制ニ依レハ市ニハ市長ヲ置キ市參事會ノ議長タラシム  
抑、郡及ヒ市ニハ參事會ヲ置キ町村ニ參事會ヲ設ケサルハ稍、變則ニ似タレトモ是レ漫  
ニ機關ノミヲ増設シテ却テ人民ノ困難ヲ惹キ起サンコトヲ思フテナリ現在ノ町村會ト本  
案ノ町村會トハ其味ヒ大ニ違ヘリ從テ現在ノ戶長カ町村會議長ト爲ルト本案ノ町村長  
カ町村會議長ト爲ルトハ大ニ其趣ヲ異ニシ比較上此ヲ以テ貴トセサルヲ得ス又強テ現  
行法ヲ維持スルハ時勢ノ許ササル所ナリ本案ハ國歩ヲ進ムル精神ノ表發セル最モ著キ  
モノナレハ本院議官カ十七年ニ三案ヲ廢棄セシ精神ヲ繼ヘシテ本案ヲ贊成ス可キヤ勿  
論ナレトモ悲ヒ哉町村長ハ公撰タルモ尙ホ認可ノ制限アリ加之ナラス不認可ニハ參事會  
ノ同意ヲ要スルニ未タ郡參事會府縣參事會ノ設ケ無シ當選者ハ只府縣知事ニ具狀シテ



認可ヲ請フヲ得ルノミ然ラハ折角ニ町村長ヲ公選ト爲スノカヒ無ク勝手ニ不認可ヲ行ハ、大ニ人民ノ進路ヲ妨害スルノ不安心アリ然レモ自治制度ヲ斷行スル上ニハ公選法ハ之ヲ棄ツ可ラス好シ認可ナル制限アリモ彼レモ不認可此レモ不認可ト言ヒテ自ラ喧嘩ヲ好ム如キコトハ有ラスト信スレハ右ノ點ヨリ公選法ヲ危ムハ懸念ニ過ク可シ本官ハ左マテ行政官ニ信用ヲ置カサルハ何故ナルヤヲ訝ルナリ但シ行政官ハ一事一點ノ缺所ナシトマテハ斷言シ難ク又從來法律規則ヲ變革シテ朝暮ニ變遷ヲ見ルハ珍シカラネモ今日何モカモ一齊ニ定メ一齊ニ施スハ到底ムツカシケレハ先ツ土臺ヨリ定メ漸次ニ歩ヲ進ムルニ如カス遠キニ行クハ邁キヨリスルノ習ヒニテ先ツ土臺ヨリ定メサレハ働キヲ起スヲ得ス働クヲ得サレハ歩ヲ進ムルコトモ出來サル譯ナリ且二十三年ニハ百事今日ノ有様ニテ濟ム可ラス上院モ起リ參議院モ建チ其他政府ノ組織モ總テ一變スルナレハ連モ人ノ満足ヲ得ルノ改正ハ覺束ナケレモ其體裁ヲ整フルノ豫備ハ今日ニ忽ニス可ラス故ニ假令一個々々ナリモ成ル可ク歩ヲ進メ其結末ニ至リ之ヲ取捨整頓スルノ外ナク到底學校流ノ離形通りナルコト能ハス地方自治制度ヲ布ク已ニ今日晚シトセハ市町村制ト共ニ郡制ヲ布クコトハ斷念セサルヲ得ス今日ノ場合ニテハ順序ヲ言フヨリモ寧ロ仕事ノ撻取リヲ肝要トスルナリ郡制ニ付テハ各位ノ頗ル心配セララル所ナルカ本官モ亦其如何ナル組織ヲ爲スヤヲ知ラス然レモ詰マリ町村制ノ大ナルモノニテ其重モナル點ハ郡長ノ權限及ヒ稅ノ差等位ナリト想像セハ大ナル過チ無カラシ郡ニハ郡參事會ヲ設ケ又郡會ヲ起ス可ク從テ郡稅ナルモノ有ラン然ラハ租稅ハ町村稅ヨリ郡稅、府縣稅、國稅

ノ四種ト爲リ之ヲ引受クル者ハ同一人民ニシテ大ニ國ノ貧富ニモ關係ヲ及ホスコナレハ郡制ヲ發シテ地方制度ノ完全鄭重ナルハ却テ好マシカラサル所モ有ル可シ郡制ハ固ト市町村ノ監督ヲ主トシテ起スモノナランモ其方向ハ市町村制ト餘リ違ハサレハ本官ハ寧ロ郡制ハ姑ク見合ス可トスル位ナリ然ルモ郡制ヲ待ツニ非スンハ町村制ヲ行フ可ラストハ少ク解ヒサルナリ抑々市町村制ハ地方自治ヲ確立スルノ基礎ナレハ其基礎ヲ定メ然レ後他ニ及ホスハ甚タ易シ反對論者ハ本案ノ實効ヲ見テ後他ニ論及センコトヲ望ム因テ本案ヲ廢棄スルニハ同意スルヲ得ス

○五十一番 井田 本官ハ第三條ヲ見テ本案ノ舊慣ヲ守ルノ主義ニ出ツルヲ欣ヘリ本院ガ十七年ニ現行ノ區町村會法外二案ヲ議スルニ當リ本官ハ主トシテ廢案ヲ唱ヘシハ該案カ從來ノ慣習ヲ破ルヲ惡ミシ故ナリ當時本院ノ廢棄ハ行ハレサリシモ今日自治制度ヲ布クニ至リ務メテ舊慣ヲ守ラントスルハ取モ直サス本官等ノ十七年ニ主持セル論旨ヲ二十年ノ今日ニ貫クヲ得タルモノナリ本案ノ精神已ニ斯ノ如ク立派ナリ然ルニ全案ヲ通讀シテ之ヲ現行法ニ比スルニ及ヒ復ヒ其格別ニ變フサルニ驚ケリ當ニ格別ノ變リ無キノミナラス或ハ却テ苛酷ナル點アルカ如シ直言セハ自治慣習等ノ文字ヲ以テ人民ヲ喜ハシメ裡面ヨリ各條ヲ以テ其喜ヒヲ殺クノ思ヒ有ラシムルハ何ツヤ例ヘハ町村ハ從來ノ區域ヲ存スルモ戶長即チ町村長ノ職粉ニハ舊慣ヲ用ヒサルカ如シ何トナレハ本案ニテハ町村長ノ職務ヲ明定シ之ヲ公選ト爲セモ其實恰モ純然タル官吏ノ姿ヲ描キ出シタレハナリ抑々町村長ハ一自治機關ノ司ナリ官吏ト同様ナル者ヲ以テ自治機關ノ司ニ充



テ以テ自治ヲ遂ケシメントスルハ覺束ナキニ非スヤ現今職務ノ煩雜ニシテ殊ニ薄給ナル者ヲ舉ケ來レハ先ツ戸長ヨリ指ヲ屈ス可シ然ルニ本案ハ習慣ニ依ルノ精神ヲ有シナカラ戸長ノ職務ヲ分ツニ僅ニ助役、收入役ノ一二吏員ヲ以テシ其他一切ノ町村事務ハ總テ町村長ノ擔任トシ而モ其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依リ委任シタル事務ヲ行ハシム其煩雜モ又甚タシカラスヤ現行法ニテハ法文上戸長ノ職務ヲ明定セサルモ本案ノ如ク其行フ可キ職務ヲ列舉スル以上ニハ日出ニ行キ日没ニ歸ルモ猶ホ足ラサルノ繁務ハ彼ノ官選戸長ト擇フ無カラシ實ニ之レニテモ町村自治體ノ戸長ナルカ且現今ノ戸長ニハ給料ヲ給スルニ本案ハ町村長ヲ無給ト爲スヲ原則トセリ無給ヲ以テ殊ニ繁劇ナル事務ヲ處理セシムルハ道理ニ反スルノミナラス又大ニ自治ノ精神ニ背ケリ町村長ニ關スル規定此ノ如ク混雜セルヲ以テ法律面ニ多ク、イヤラシキ箇條ヲ見ルナリ第八條ニハ名譽職ノ名アルニ法律上之ヲ辭スルヲ得ストハ是レ却テ自由ヲ剝奪スルナリ加之ナラス其職ヲ拒辭スルルハ公權ヲ停止シ罰金トシテ町村費ノ幾分ヲ增加スルノ制裁ニ至リテハ頗ル苛酷ナリ何故ニ斯ル苛酷ナル箇條ヲ要スルヤト云フニ詰リ町村長ノ職務ハ農工事ノ片手業ニ行フヲ得サルヨリ人々嫌フテ之ヲ逃ル、ノ恐アルニ出テシナリ此ノ如ク各條ノ規定カ大體ノ精神ニ乖離スルハ即チ表ニハ自治ヲ與ヘテ其實與ヘサルニ同シ本官ノ最モ苦慮スルハ此點ニ存スルナリ五十四番モ言フ如ク町村ニハ參事會ノ設ケ無ク郡ハ其監督權ヲ何レノ邊マテ用ユルカヲ知ル能ハス是レ本官モ亦同感ナリ八番モ論セシ如ク自治ノ制ヲ立テ來ル上カラハ郡制出ツルモ強チ自治ノ精神ヲ奪フ程ニハ至

ラサル可シト深ク心配ヲ用ヒサルモ只其懸念ス可キ情況ノ本案面ニ見ユルヲ如何セン固ヨリ自治ヲ放任主義トセハ市、町、村、郡、府、縣ハ相分立シ國ノ脈絡通セサルニ至レハ監督權ハ是非トモニ必要ナレ其監督權ニ階級ヲ存スルニ至リテハ甚タ不可ナリ第六十一條ニ町村長ノ再選舉ヲ行ヒ猶ホ不認可ナルルハ町村費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ其職務ヲ管掌セシムルコトヲ定メリ成程再選舉以上ニ至リ猶ホ不認可ナルルハ如何ニカセサルヲ得サレレ強テ官吏マテヲ派遣シテ自治ニ立入ルヲ要セス假リニ町村會議員ヲシテ其職務ヲ行ハシムルモ可ナリ上ノ弊ハ是レ監督權ノ餘リニ強大ニ過クルヨリ出ツル所ナリ監督ハ固ヨリ必要ナルモ其及ホス可キ程度ハ豫メ考ヘサル可ラス此邊ヲ考ヘス郡長郡參事會ハヤタケニ遣リ付クルコト有ラハ是レ自治ノ精神ヲ奪ヒ去ルナリ本官ノ心配スル荒増シハ上ニ陳フル如クニシテ殆ント五十四番ト一ナリ然ラハ五十四番ニ賛成ナルカ否ナ已ニ自治ト習慣トノ精神ヲ喜ヒ之ヲ徹底センニハ五十四番ニ同意スル能ハス然レ此マ、ヲ以テ通過セハ立案ノ精神ヲ奪フノ嫌ヒ有レハ之ヲ救フカ爲メ本官ハ一ノ建議ヲ爲サント欲ス即チ再ヒ調査委員ヲ設ケ務メテ本案ノ旨趣ヲ助ケ監督權ヲシテ自治ノ精神ヲ傷ケサル程度ニ置クコトヲ研究セント欲ス現修正ハ蓋シ未タ十分ナラス即チ町村長ノ職務ノ繁劇極マル邊ニ氣付カサリシナリ本官ハ町村長ノ職務ノ如キハ成ル可ク舊慣ヲ引キ起シ古ノ庄屋ノ如キ組立ニ變スルノ可否ヲ調査センコトヲ望ム願クハ各位ノ此建議ヲ賛成シ一日モ早ク自治ノ精神ヲ實行セシメントコトヲ

退席 十三番 伊集院兼寛



○二十二番 中村 自治制度ハ日本現今ノ地歩ニ適セス猶ホ早シト論スル者アレトモ之ヲ早シトセハ國會開設モ猶ホ早シト云フ可キカコトシ本官ハ實ニ結構ナル法案ト考フルナリ未タ參事會ノ設ケ無シ云々ノ論アレトモ郡ニテモ町村ニテモ其人民ニ變リ無ク自治ノ土臺トナル者ハ市町村ニシテ第一着ニ其土臺ヲ固メ然ル後郡制府縣制ニ及フ可ク本案ハ土臺ヲ定メテ他ヲ作り出スノ手段ナレハ極メテ必要ナリ且ヤ現修正案モ至極穩當ニ成リタレハ之ヲ以テ議定スルコトハ極テ結構ナリ又本案ハ強テ全國一時ニ實行スルノ考ヘニ非ス第百三十六條ヲ見ルニ此法律ハ年月日以後地方ノ情況ヲ裁酌シテ漸次ニ施行スルノ主意明カナレハ之カ爲メニ折合ヒテ得サルノ懸念ハ決シテ有マシト信スルナリ

○三十四番 美稻 番外三番ハ午前ノ會ニ於テ本官ノ説ヲ辯駁セシカ是レ全ク本官ノ説ヲ誤開セルニ由ル因テ更ニ陳辯シ併セテ八番五十一番等ノ爲メニ一言セン本官カ本案ヲ賛成スル所ハ中央集權ノ爲メニ地方ノ衰微ヲ來スヲ恐レ又戸長ノ官選ヲ廢シテ公選ト爲スヲ可トスルニ在リ官選戸長ナル者ハ往々知事ノ鼻息ヲ窺ヒ人民ノ不利益ヲ顧ミス曲ケテ事ヲ行フノ弊アリ又現今ハ知事カ府縣會ノ議決ヲ擯斥シテ認可セサルコトハ屢々新聞紙上ニ散見スル所ナリ其理由ノ當否ハイザ知ラス常ニ斯ルコト有ルハ弊害ノ生シ易ク之ヲ救フニハ自治制度ヲ布クコト頗ル肝要ナリ然レトモ郡制府縣制ヲ併セテ實行セスンハ折角ノ自治主義モ圓滑ニ行ハルルヲ得ス是レ政府ノ自ラ認ムル所ニシテ其證據ニハ偏頗ノ譏ヲ避ケンカ爲メ郡長カ町村吏員ノ選舉ヲ認可セサルニハ郡參事會ノ同意ヲ經ヘク郡參事會同意セルハ郡長ノ具狀ニ依リ府縣參事會ノ同意ヲ經ヘキコトヲ規定セリ

假令斯ル鄭重ノ規定ヲ置クモ市町村制ノ傍ラニ郡制府縣制ノ行ハルル無クンハ猶ホ官選戸長ノ舊看ヲ脱セサルノミナラス上ノ不認可ニ關スル順序ヲ盡スヲ得スシテ到底自治主義ニ違フヲ免レス已ニ行政上ノ仕來リニテモ其不可ナルコトヲ發見セル以上ニハ宜ク一々之ヲ改ムヘシ況シテ已ニ偏頗ノ處置ヲ懸念シテ郡參事會府縣參事會ノ同意ヲ經ヘシトマテニ氣付タルヲヤ已ニ斯ノ如ク偏頗ノ弊害ニ氣付ナカラ尙ホ不完全ノマ、ニテ施行セントスルハ甚タ聞コヘサルナリ故ニ本官ハ其主意ニ賛成スルモ郡制府縣制ヲ待ツニ非サレハ之ヲ施行ス可ラスト考フルヨリ却テ五十四番ヲ賛成セシナリ然ルニ番外三番ハ曰ク三十四番ハ本案ノ主意ヲ賛成シナカラ本案ニ反對スルハ不可ナリ郡參事會云云ノ一事ヲ非トセハ之ヲ削ルモ可ナリ曖昧ノ間ニ廢案ニ付スルハ甚タ困マルト是レ番外三番ノ誤聞ニ出テ番外三番カ本官ノ説ヲ曖昧ナリト云フハ是レ曖昧ニ聞キ取リタルノ過チノミ

○六十三番 渡邊 前會ニ於テ廢案説問題ト爲リシカ本官ハ廢案説ニハ全ク反對ニシテ原案修正案孰レニモ同意ナリ問題説ハ純粹ノ廢案説ニ非スシテ當分施行ヲ見合ス可シト云フニ過キス其重ナル論點ハ只郡制府縣制ト併行セサレハ前後齊一ノ結末ヲ得スト云フニ在リ凡ソ大ナル制度ヲ變更スルニ當リテハ百端一時ニ整頓スルモノニ非ス其大體確立シテ後漸次積テ大成ニ至ルモノナリ若シ最初ヨリ万般ノ法律規則ヲ整備セシメ一時ニ完全ノ施行ヲ得ント望ムルハ却テ不完全ノ結果ヲ來スハ常ニ見ル所ナリ況ヤ本案ハ舊來ノ慣習ニ依リテ制定セラレタルモノナレハ其一日モ早ク實行センコトハ却テ大ニ



望ム所ナラスヤ凡ソ新法ハ之ヲ制定スルニ當リ十分ニ討論審議シ一ノ瑕瑾ヲ存セサルニ及ヒテ發布ス可キハ論スルマテモ無キコナレモ其實施ノ後實際ノ都合ヨリ改正ヲ要スルハ免レサル所ナレハ本案ト雖モ討論審議ノ後之ヲ發布シ實際時勢人情ニ觸ルル所アラハ幾回改正スルモ可ナリ或議官カ論述セル如ク我政府ノ組織モ最初ハ立法、行政、司法ノ區別モ無カリシカ先ツ裁判所ヲ置キテ司法權ヲ分立セシメ以後裁判官衙ヲ分チテ始審裁判所控訴院大審院ノ三部ト爲シ遂ニ訴訟ノ經過ス可キ順序ヲ確定セリ其此ニ至リシハ固ヨリ一朝夕ノコトニ非ス數多ノ年月ト數次ノ改正トヲ經過セシナリ本案モ亦此例ニ同ク一時ニ完成ヲ望ムハ固ヨリ難事ナレハ先ツ本案ニ充分ナル修改ヲ加ヘテ之ヲ施行シ然ル後之ヲ基礎トシテ順次ニ郡制府縣制ノ制定ニ及フコト至當ノ順序ナリ因テ各位ハ其廢案說ヲ棄テ原案修正案兩者ノ孰ニカ同意センコトヲ希望ス

○五十八番 直島 本官ハ未タ現動議ニ對シ意見ヲ陳ヘサリシカ五十一番ノ再調査委員撰定ノ建議ヲ聞キ至極ニ尤モナルコトヲ感シタレハ聊カ其同意ノ旨ヲ一言セン本案ハ内閣カ數年以來苦心計畫セル地方自治制度ノ新法案ニシテ全編百數十條ヲ以テ成リ活眼以テ見ル可キノ案ナリ殊ニ向キニ學識經驗ニ富メル七名ノ調査委員カ休日ニモ尙ホ會合シ罷勉調査ヲ加ヘ殊ニ第五十九條ノ認可權ノ修正ノ如キハ最モ當ヲ得タリ併シナカラ此地方自治制度ハ十四年ノ聖詔以來ノ一大新法ニシテ立憲政體組織ニ向テ歩ヲ進ムルニ重要ナル關係ヲ有セリ大體ヨリ小節目ニ及フト小節目ヨリ大體ニ進ムノ是非ハ一概ニ論斷シ難キモ立憲政體ヲ確立センニハ歩ヲ村町ノ自治ヨリ進ムルニ如カス此事アリ

後始メテ鞏固ナル立憲政體ヲ組成シ國家ノ安寧幸福ヲ致ス可キナリ宜ナル哉内閣カ數年以來苦心研究シテ今日始メテ本案ヲ下附セシコト斯ル重大ナル法案ナレハ廢案說ノ陸續トシテ出ツルモ據ナキコトナカラ其議論中三十五番ノ如ク本案ハ我國ノ情勢ニ適セストノ一事ヲ以テ論斷スルハ如何カ有ル可キカ成ル程民度ノ適否ヲ考ヘ實益ヲ見ルニ力ヲ用ヒ務テ文飾ヲ省ク可キハ勿論ナレモ此議論ハ獨リ本案ニ限リテ加フ可キモノニ非ス立法上ノ大體論ノミ三十五番ノ言ヘル法ヲ制スルニハ其國ノ人情習慣ヲ鑑ム可キノ注意ハ本案ヲ制定スルニ當リテモ固ヨリ服膺スヘキコナレモ其一論ヲ以テ廢案ノ理由ト爲スハ少ク緣遠キカ如シ其他ノ廢案說ハ本案ヲ非トスルニ非スシテ只郡制府縣制ノ如何ナルヤヲ見ス獨リ本案ヲ議定スルハ不可ナリ其整備ヲ待チ彼此相參照シテ議ス可シト言フニ在リ甚タ尤ナル論ナリ本官モ最初ハ同感ヲ懷キ本家中ニ郡參事會府縣參事會行政裁判所等ノ文字アリナカラ實際ニ之カ設ナクハ本案ノ施行ニ差支ユルノ恐アリト思惟シタリ然ルニ猶ホ退テ數回熟讀スルニ讀ム毎ニ疑ヒヲ生シ來リ遂ニ修正ヲ要スル條項十五六ヶ所ト全ク疑團ノ解ケサル條項九ヶ所トヲ見出シタリ畢竟是レ重大ニシテ且困難ナル法案タルノ故ナリ如何ニ急施ヲ要スレハトテ内閣カ數年ヲ費ヤシタル程ノ案ヲ咄嗟ニ議了ス可キニ非ス又斯ク起草ニ精神ヲ費シタルモノヲ僅々十數日ノ間ニ完全無缺遺憾ナキマテノ調査ヲ爲スハ實際甚タ難シ又之ヲ廢案スルニモ充分ノ時日ナクハ詳細ノ研究ヲ爲スヲ得サラン調査委員中必ス其調査時間ノ短キ感ヲ懷キシ者多カラシニ已ニ調査委員ノ一人ハ調査時間ノ短キカ爲メ十分ナル意見ヲ陳フルヲ得サリシ



コヲ公言セリ然ルヲ之ヲ願ミス之ヲ發布スルニ日ナシ已ニ年末ニ迫マレリトテ急速ニ議了スルハ甚タ遺憾ニ堪ヘサルナリ第五十六條ノ如キハ議論ノ集マル所ニシテ議場ニ於テ之ヲ議決スルコト甚タ難シ因テ本案ヲ再ヒ調査委員ニ付託シ來ル二十一年ノ開院ヨリ委員會ヲ開キ本官モ亦十分ニ意見ヲ陳ヘンコトヲ欲ス因テ本案ノ爲メニ全部付託再調査委員ヲ選定スルハ最モ希望スル所ナリ五十一番ハ簡單ナル監督權ノ一論ヨリ調査委員ノ建議ヲ爲セシモ本官ハ重大ナル法案ヲ猶ホ一層精密ニ研究センコトヲ欲スルヨリ賛成スルナリ各位願クハ本官ノ微衷ヲ愍ミテ建議ヲ賛成センコトヲ

○四十番 綿貫吉直 本官ハ五十一番五十八番ノ兩議官ニ賛成スル能ハス五十一番ハ監督權ノ區別ヲ立テント欲シテ再調査委員選定ノ建議ヲ發セシモ何人カ調査スルニ行政權ニ區別ヲ立ツルコト頗ル難シト信ス最前モ述ヘシ如ク行政權ヲ郡參事會町村會ニ分與スルモ  
○九番 榎村正直 議長ニ問フ四十番ハ頻リニ駁説ヲ陳フレモ五十一番ノ説ハ已ニ問題ト爲レ  
ル乎

○議長 特別建議ナレハ問題トハ爲サス

○四十番 綿貫吉直 國ノ行政權府縣ノ行政權郡ノ行政權ヲ區別スルハ甚タ難シ

○九番 榎村正直 議長ノ告クル所ニ依レハ四十番ノ駁撃ハ無要ナルカ如シ

○議長 無要ニ非ス建議説ニ對シ駁説賛成説ヲ陳フルハ當然ナリ

○九番 榎村正直 問題ニ非サルモ可ナリヤ

○六十八番 岡内重俊 建議ハ問題ト見テ可ナリヤ

○四十番 綿貫吉直 權限ノ區域ハ逆モ分別シ難シ此レマテハ國ノ行政權彼レマテハ郡ノ行政權トノ判然タル區別ハ豫メ之ヲ明定スルヲ得ス獨逸ノ罰則賦課法ヲ見ルニ罰金ヲ科スル權限ニ等差アリテ大臣ハ百「マルク」マテ府縣知事ハ六十「マルク」マテ郡區長ハ三十「マルク」マテ町村長ハ五「マルク」マテヲ科スルヲ得ヘシ然レモ本案カ行政權ヲ區別スルハ決シテ此ノ如キニ及フ能ハス然ラハ之カ爲メニ再調査委員ヲ設クルハ無要ナルノミナラス五十八番ノ賛成説ノ如キハ之ヲ了解スルニ苦ムナリ

○三十番 本田親雄 只今ハ廢案說問題中ナルニ五十一番ヨリ再調査委員選定ノ建議出テ五十八番ハ之ヲ賛成セリ特別建議ハ幾回之ヲ出スモ可ナレハ本官モ一ノ特別建議ヲ爲サン  
本案ハ第一讀會ニ於テ大體ハ之ヲ可認セラレ遂ニ調査委員ニ付託セリ調査委員ハ十數日ノ間熟論審議シテ其修正案ヲ報告シ此ニ第二讀會ヲ開キシナリ然ル上ハ各條項ニ就キ十分ニ意見ヲ陳フルコト當然ナレモ修正案本案未タ孰レカ本案ト爲スヤヲモ決セサルニ最早再付託調査委員ニ付託セントスルハ甚タ不可ナリ因テ本官ハ現報告案ヲ議題ト爲シテ第二讀會ヲ繼續センコトヲ建議スルナリ五十八番ハ五十一番ノ建議ヲ賛成シ本案ノ大體ヲ精査スルコト肝要ナレハ之ヲ再調査ニ付ス可シト説ケモ現報告書ニハ反覆審議修正ヲ加ヘタル旨ヲ掲ケタルニ非スヤ然ルニ之ヲ熟議セサリシト更ニ調査ス可シトハ解ス可ラス調査ハ何カ爲メソ若シ不完全ナラハ修正ノ完備スルマテ調査ス可キ筈ナリ已ニ修正案成リテ之ヲ報告シ其本案ト爲ルヤ否モ定マラサルニ再ヒ調査ニ付スルトハ穩當ノ建議ト爲スヲ得サルナリ論者若シ修正ノ意見アラハ逐條議ニ於テ其條ノ議



題ト爲ルニ及ヒ之ヲ提出スルヲ正當トス未タ修正案ノ議題トモ爲ラサルニ再ヒ調査ニ付スルハ大早計ト言ハンノミ

○六十八番閣内 廢案說ハ發議者タル五十四番モ自ラ陳ヘシ如ク本案ハ暫ク見合ス可シト云フニ在リテ全ク廢棄スルノ精神ニ非ス其理由甚タ多シ本官モ亦同說ナリ然レモ立憲政體ノ組立眼前ニ迫リ本案ノ制度已ニ晚シトスルモ寧ロ早シトセス然ルニ其施行ハ東京大阪京都ノ三府ヲ差シ措キテ先ツ他ノ地方ヨリ始ムルハ順序ニ非ス又第二百二十九條ヲ見ルモ郡制府縣制ノ制定ヲ見ルマテハ實際郡參事會府縣參事會ノ起ラサルヤ明カナリ此等ノ點ヨリ已ムヲ得ス廢案ヲ唱フルモノニテ其精神ハ發布ヲ見合スニ在ルノミ然ルニ幸ニモ五十一番ハ第八條ノ名譽職ノ退職ヲ許サル、ノ不可ナルヲ其他二三ノ點ヲ舉ケ更ニ大ニ修正ス可キヲ痛論セリ此點ニ至リテ本官モ大ニ感ヲ同ウセリ因テ已ムヲ得サルノ廢案說贊成ヲ取消シ更ニ再調査委員選定ノ建議ヲ贊成シ其問題ト爲リ決ヲ取ルニ及ヒ起立セントス

○八番楠本 建議說ニ就キ意見ヲ陳ヘン報告案ノ成否如何ハ倍置キ未タ本案ト爲シテ議スヘキヤノ決ヲモ取ラス抑該報告案ハ本官等委員ノ選ニ當リテ修正セルモノニテ固ヨリ満足ナル修正ナリトシ誇リテ提出セシニ非ス不行届キノ邊ハ十分ニ各位ノ判斷ヲ請ハント欲セシナリ然レモ未タ議題トモ爲ラサルニ再ヒ調査ニ付シ本官等ノ不行届ノ點ヲ一言モ論セサルハ遺憾ナリ現報告案ヲ議題ト爲シ逐條議到シ其修正ヲ要スル所ニ至リ他ノ牽連セル諸條ヲ併セテ調査ニ付スルモ決シテ差支ナシ然ルニ未タ必要ナル論

辯ヲモ盡サス突然再調査ニ付スルハ少ク急激ニ過クル論ナラスヤ某議官ハ三都府ヲ差措クハ不都合ナリト論セシカ此論ハ他ノ郡制府縣制ト併行ス可シトノ反對論ニ比スレハ其力稍ヤ微ナリ何トナレハ今ハ三都府ヲ省クモ其制ハ郡制府縣制ト同時ニ制定セラハ可ク且郡參事會ナキ以上ニハ本案ノ効ナシトノ論ヨリモ猶ホ一層薄弱ナレハナリ論者ハ此等ノ理由ヨリ再調査ヲ望ムナランモ願クハ暫ク之ヲ猶豫シ先ツ條ヲ逐フテ審議シ眞ニ本案ノ不行届ヲ撞見スルニ及ヒテ再調査ニ付センコトヲ本官等報告案ノ責ニ當リナカラ無氣ニ排斥セラハ遺憾千万ナレハ建議ノ成立セサランコトヲ歎訴スルナリ

○議長 六十八番ハ過刻問題ト爲ラハ起立ス云云ト陳ヘシカ特別建議ハ問題ト爲サス從テ贊成者ノ有無ニ拘ラス取決スルナリ

○六番宮本 建議ニ關スル諸說中三十番ノ說ク所ハ最モ正キ様ニ考ヘリ一體ヨリ云ヘハ先ツ報告案ヲ本案ト爲スヤ否ヤヲ決シ其如何ニ依リ再調査委員選定ノ建議ヲ發スルコト順序ナラン然レモ修正案原案孰レニモ決セサル以前ト雖モ再調査ノ建議ハ發セラレスト云フノ理由モ無シ已ニ煙草稅則改正案ノ場合ニモ修正報告書ノ決ヲ取ラサル以前ニ再調査ニ付セシ例アリ今ハ特別建議ヲ出スノ場合ニ非ストノ說ハ尤モナレモ前例ヲ以テセハ眞ニ尤モナリト云フヲ得ス然レモ一方ヨリ考フレハ未タ報告案ノ議題トモ爲ラサルニ之ヲ棄テ、再調査ニ付スルハ委員諸君ニハ甚タ氣ノ毒ノ次第ニテ八番ノ歎訴モ亦尤モナレモ年内最早餘日モ無ク廢存ハ運命ヲ主トスルノ外ナシ本官ハ務メテ沈黙



ヲ守リシカ實ハ五十四番ノ廢案說ニ同意ナリ併シ輕々ニ廢案說ヲ唱フ可キニ非サレハ未タ晚ラストシテ沈黙セシ間ニ五十一番ノ建議出ツルニ會ヘリ若シ再調査ニ付スルナラハ前委員ニ再託シ滿場議官ノ満足スルマデノ十分ナル修正ヲ加ヘンコトヲ望ム三十番ハ報告文ノ反覆審議ノ文字ニ關シ駁說ヲ陳ヘシカ調査委員ノ一人タル八番ハ自ら反覆審議ニ反スル如キ語氣ヲ含ンテ陳述セラレ又三十番ノ駁說モ強チ理ナキニ非ラス唯本官ハ再ヒ調査ニ付セハ完全ナル修正案ヲ得ルナラント信スルナリ願クハ建議ノ如ク決セシコトヲ終ニ一言ス再調査委員ノ撰ニ當リタル者ハ大晦日ノ借金取ニ出會フタル如ク忙ハシキ思フ爲サス緩々ト調査ヲ遂ク可シ

○七十番東久世通禧 五十一番ヨリ再調査委員ヲ置クノ建議出テシカ今朝來廢案說ニ關シ新説モ出テサルニ依ルナラント元來本案ハ内閣ニ於テ數多ノ年月ヲ費シテ審究シ本院ニ於テモ調査委員ノ討議殘ス所ナク頗ル完全ヲ致セリト思ヘハ今ハ報告案ヲ議題ト爲シ逐條討議ニ涉ルノ時機ナラント信ス但シ多少ノ意見アリテ調査ヲ要スル有ラハ其條ニ至リ付託シテ可ナリ今最初ヨリ其全部ヲ付託スルモ恐クハ時日ヲ費スノミニシテ格別著シキ修改モ爲シ難カラシ又調査委員中ニ在テモ各意見ヲ異ニシ議論ノ繁キハ敢テ議場ニ一步ヲ讓ラサル可ケレハ之ヲ逐條討議スルモ又調査委員ニ付託スルモ其時日ヲ要スルハ蓋シ一ナラン殊ニ年末ニ際シ已ニ餘日モ無ク本年内ニ議了スルハ到底覺束ナキコトナリ本官ハ逐條議到シ議論紛雜シテ決シ難キニ及ヒテ調査ニ付スルモ未タ晚カラストスルナリ

○三十五番津田真道 再調査委員選定ノ說アリ重大ナル法案ナレハ之ニ付託スル或ハ可ナラシモ其可否ハ姑ク措キ本官ノ向キノ廢案贊成說中一要件ヲ言ヒ殘シタレハ聊カ補陳セシ抑 本案ハ町村ノ自治分權ヲ成立タシムルニ在リ然ルニ此ニ一難事ノ横ハル有リ古ノ慣習ニ據レハ國稅徵收ノ事務ハ今日ノ戶長即チ古ノ名主ニ屬セリ然ルニ其事務ノ性質ヨリ考フレハ大政府行政上ノ一大要務ニシテ斯ル要務ヲ無給吏員タル町村長以下ノ者ニ扱ハシムルハ甚タ道理ニ適ハス歐米ニ於テハ行政上收稅ノ職ヲ執ル者ハ國庫ヨリ給料ヲ受クルカ又ハ一會社カ受負ヲ以テスルヲ常トス町村費ノ徵收モ之ト一例ニ出ツ可キハ當然ナリ本案ニハ從來ノ如ク國稅徵收事務ヲ町村長ニ委スルノ明文ナキモ町村長ハ常ニ上司ノ命令ヲ奉シ之ヲ辭スルヲ得サルノ明文アレハ恐クハ町村長カ國稅徵收事務ヲ負擔スルモノナラン果シテ然ラハ町村長ハ町村自治ノ事務ト政府ノ徵稅事務トノ二ツヲ受持ツノ難アリ國庫ノ收稅官吏カ此事務ヲ受持ツキハ給料ヲ與ヘ町村長之ヲ受持ツキハ給料ヲ與ヘストハ抑 亦條理ニ反セスヤ此一論ハ本官カ本案ヲ認メテ非ト爲スノ一理由ナリ本官ハ廢案論者ナレハ再調査ノ建議ニハ同意セサルモ若シ町村長ハ國庫直接ノ事務ニ與リ知ラストノ説明アラハ或ハ建議ニ起立スルヤモ知ル可ラス豫メ一言ス

○五十一番井田 七十番ハ全部ヲ調査委員ニ付託セス各條ヲ議スルニ當リ特別ニ付託スレハ可ナリト論スレモ本官ノ意ハ大ニ然ラサルナリ本官カ再調査ヲ望ムハ單ニ町村長ノ職務ノ煩劇ヲ恐ル、ノ點ニ止マラス他ノ各條ニ於テ大ニ調査ヲ要スル所アルニ依ル



ナリ今ノ戸長ノ有様ヲ以テ町村長ノ職務トスルハ大ニ自治ノ精神ニ齟齬ス若シ自治ヲ助ケントセハ町村長ノ職務ノ一事ニ止マラス監督權其他第八條ノ如キモ深ク攻究スルヲ要ス斯カル大問題ヲ第二讀會ノ逐條議ヲ以テ決セントセハ紛論ハ延ヒテ第三讀會マテニ及ハン好シ假リニ議決スルヲ得ルトスルモ本官ノ精神遂ニ貫徹スルヲ得サルコト爲リテハ遺憾ノ至リナリ本官ノ建議ハ然ク輕々ノ考ニ出テシニ非ス今本案全部ヲ舉ケテ調査委員ニ付託スルハ本案ノ爲メニ熱望スル所ナリ

○七十番東久世通順 五十一番ハ本官カ輕々ノ意ヲ以テ建議ヲ拒ム如ク説ケル本官ハ決シテ輕々ノ意ヲ以テ見サルナリ只再調査ノ建議モ多數ノ同意ニ依リ始メテ決スルモノナレハ果シテ行ハルルヤ否ヤ未タ明カナラス故ニ五十一番ハ先ツ各條ニ向テ其蓄フル所ノ修正説ヲ出シ其成敗ヲ見テ建議ヲ發スルモ未タ晩カラスト信シテ一言セシナリ

○八番楠本正隆 再調査委員ニ付託スルハ之ヲ逐條議ノ前ニ爲スト後ニ爲ストハ各見ル所ニ依ルモノニシテ他ヨリ論スルヲ得サルモ五十一番ノ論セシ點ハ現委員モ數日ヲ費シテ討議セシ所ナリ該委員會ニ於テハ議論頗ル多カリシモ其決シタル修正ハ至テ少ク字句ノ修正ヲ除ケハ重ナル修正ハ僅ニ三四ヶ所ノミ此コトハ本官等委員ハ何ノ爲メニ數多ノ日子ヲ費ヤセシヤノ詰問ヲ恐レ最初ニ於テ豫メ其故ヲ各位ニ陳ヘ置キタリ却説ク本案ニ向テ十分ナル修正ヲ加ヘントセハ先ツ逐條ニ涉リテ議論ノ方向ヲ定メ然ル後再ヒ委員ニ付託スルコソ當然ニシテ未タ報告案ノ可決ヲモ開カス直チニ再調査ニ付託スルハ本官大ニ歎訴セサルヲ得ス六番モ言フ如ク本案ハ重大ナル法案ナレハ假令年末ニ迫ル

モ輕々ニ議了ス可キモノニ非ス宜ク精密ニ討議スヘキハ勿論ナレハ先ツ逐條議ニ付シテ議論ノ方向ヲ定ムルコトハ最モ肝要ナリ再調査ノ必要固ヨリ已ムヲ得サレルモ現報告案議題ト爲ルヤ否ヤモ分ラサルニ之ヲ決行セントスルハ時機少ク早キニ過キサルカ今日報告案ノ可否ヲ決セハ今日ヨリ逐條議ニ掛ルヲ得ヘシ斯ル場合ニ在リナカラ曲テ再調査ニ付スルハ本官ノ歎訴セサルヲ得サル所以ナリ願クハ論者少ク此邊ヲ考察シテ其蓄フル所ノ修正説ヲ逐條議ニ試ミンコトヲ

○議長 昨日來ノ討論ニテ議論モ最早盡キタリト認ム例ニ從ヒ先ツ五十一番ノ建議ヲ決シ次ニ廢案説ヲ決シ終リニ修正案原案孰レヲ以テ議題ト爲スヤノ決ヲ取ラン

○議長 五十一番ノ全部付託再調査委員ヲ置クノ建議ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者五人

○議長 少數ナルヲ以テ建議ハ消滅ス

○議長 少數ナルヲ以テ廢案説ハ消滅ス  
○議長 修正案ヲ以テ本案ト爲スニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者二十五人  
○議長 多數ナルヲ以テ修正案ヲ以テ本案ト爲ス本日ハ此ニ閉會シ來ル二十六日例刻ヨリ續會ヲ開カン散會セヨ



午後第三時五分開場

○明治二十年十二月二十六日 第二讀會續會

議長 大木喬任

出席議員

四番	石井 忠亮	十九番	田中 芳男
六番	宮本 小一	二十二番	中村 正直
七番	尖戸 璣	二十三番	久我 通久
八番	楠木 正隆	二十五番	中島 錫胤
九番	榎村 正直	二十七番	尾崎 三良
十二番	黒田 清綱	二十八番	原田 一道
十三番	伊集院兼寛	三十番	本田 親雄
十四番	渡邊 清	三十一番	長谷部辰連
十五番	大久保一翁	三十四番	小畑 美稻
十六番	伊東 祐啓	三十五番	津田 眞道
十七番	壬生 基修	三十六番	安藤 則命

三十七番	山口 尙芳	五十四番	加藤 弘之
四十番	綿貫 吉直	五十五番	調所 廣丈
四十一番	長岡 護美	五十六番	林 友幸
四十三番	田邊 太一	五十七番	神山 郡廉
四十四番	坂本 政均	五十八番	鍋島 直彬
四十五番	時任 爲基	五十九番	長松 幹
四十六番	橋口 兼三	六十五番	西 周
四十七番	野村 素介	六十八番	岡内 重俊
四十九番	神田 孝平	六十九番	上杉 茂憲
五十一番	井田 讓	七十番	東久世通禧
五十二番	由利 公正		

内閣委員

番外二番	法制局參事官	水野 遵
番外三番	内務書記官	白根 專一
番外四番	内務大臣秘書官	大森 鐘一
番外五番	内務省參事官	荒川 邦藏

午前第十時二十分開場

○議長 第五百五十九號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク本案ハ條數多キヲ以テ都合ニ依リニ



三條若クハ四五條連帶シテ議題ニ付セン且目錄ヲ最初ニ議定セハ或ハ各條ノ修正ニ依リ前後齟齬ヲ生センモ測リ難キヲ以テ之ヲ最後ニ讓ラントス各官之ヲ領セヨ

書記官 西山 眞平 朗讀

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其區域

第一條 此法律ハ東京京都大坂及市制ヲ施行スル地ヲ除キ總テ町村ニ施行スルモノトス

第二條 町村ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡町村公共ノ事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス

第三條 凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但將來其變更ヲ要スルコトアルトキハ此法律ニ準據ス可シ

○五十一番 井田 本官ハ第一讀會ニ當リテ質疑ヲ怠リタレハ第二讀會ニ臨ミ逐次ニ疑義ノ在ル所ヲ舉ケ以テ内閣委員及ヒ調査委員ノ辯明ヲ請ハントス抑第一條ニ總テト言ヘルハ此法律ハ總テノ意ナルカ將タ總テノ町村ニ施行スルノ意ナルカ本官ハ得テ之ヲ解セサレトモ畢竟總テノ二字ハ之ヲ存スルモ別段ニ用ヲ爲サス之ヲ削リ去ルモ敢テ法文ノ不備ヲ致スノ恐レ無シト信ス何トナレハ此ニ總テノ二字ヲ存シ置カサルモ此法律第一條ヨリ第三百二十八條ニ至ルマテハ東京京都大坂及ヒ市制ヲ施行セサル一般ノ町

村ニ施行ス可キコト明カニシテ之ヲ市制ノ第一條ニ照スモ特ニ之ヲ掲クルノ必要アルヲ見出サレハナリ故ニ此第一條ニ就キテハ別ニ質問ヲ要セスシテ直チニ「總テ」ノ二字ヲ削去スルノ說ヲ提出ス

○二十七番 尾崎 本官ハ本案第一讀會ノ終リニ於テ全部付託調査委員ニ當選セシモ不幸ニシテ疾病ニ罹リ委員會ニ出席スルコト僅ニ一二回ニシテ其任ヲ辭退セリ其後調査モ成リ次テ第二讀會ヲ開カレ彼此議論アリシ末終ニ調査報告書ヲ本案ト爲スニ決定シ即チ今日ハ逐條審議ニ取掛ルコト、爲レリ右ノ次第ナルヲ以テ本官ハ今日マテ十分ニ思フ所ヲ演說スルノ機會ヲ得サリシカ今幸ニ發言ノ許可ヲ得タレハ一應本案ノ全體ニ對スル意見ヲ陳ヘ隨テ聊カ修正ヲ加ヘント欲スルナリ

○議長 二十七番ニ告ク只今五十一番ヨリ修正說ヲ提出セシニ因リ先ツ此說ニ付キ賛成者ノ有無ヲ見テ問題ト爲スヤ否ヲ決スル積リナレハ五十一番ニ賛成ノ說ハ演說シテ宜シケレトモ若シ別段ノ修正說ナレハ五十一番ノ說ヲ決シタル後ニ發議セヨ

○二十七番 尾崎 本官ノ修正ハ本案全體ニ關係ヲ有スルヲ以テ成ル可クハ逐條議ノ初メニ發議セシメラレシコトヲ希望ス

○議長 然ラハ只今陳述シテ可ナリ

○二十七番 尾崎 一體此町村制並ニ市制ノ兩案ハ是迄ノ翻譯文ト同様ニ非スシテ其精神モ首尾貫徹シ全體ノ氣脈モ相通シ翻譯文ノ中ニテハ頗ル好ク出來タル者ト言ハサルヲ得ス尤モ全體ヲ通讀シテ細カニ意味ヲ考フルトキハ幾分カ變ナ所モ見ユレトモ其所謂



ル變ナ所ハ僅々タル少數ニ止マレハ大體ヲ概括シテ本案ノ可否如何ト問ハ、本官ハ先ツ宜シト言フノ外ナキナリ然ラハ直チニ此案ノ儘ニ施行シテ可ナルヤト言フニ是ハ本官モ可ナリトハ言ヒ難シ蓋シ町村自治ト云ヘルコトハ我日本ニ於テモ業已ニ實際ニ行ハル、ヲ以テ今立派ニ本案ニ之ヲ掲クルトモ爲ニ町村大ナル自由ヲ得ルトカ又新ニ自治ノ精神ヲ發達スルトカ云フ如キ効能ハ無カラント思考ス試ニ實際ノ有様ヨリ論スレハ自治ト云ヒ自由ト云ヒ獨立ト云フ其名ノ洵ニ美ナルヨリ其真意ヲ玩味セスシテ漫リニ之ヲ喜フ者アラシモ深ク人民ノ實際ヲ考フルトキハ此自治此自由ノ爲ニ却テ困苦ヲ感スルモノ多シト言ハサルヲ得ス抑、是迄ノ戸長ノ職務ハ頗ル繁多ヲ極メ其事務ノ大ナル者ヲ舉クレハ第一徵稅ノ事務戸籍ノ事務勸業ノ事務製表ノ事務徵兵ノ事務ニシテ此他登記ノ事務及ヒ學務委員ヲ兼ヌルアリテ凡ソ百般ノ事務ハ悉ク戸長ノ手ニ掛ラサルハ無シ中ニ就キ徵稅事務ノ如キハ朝ヨリ晩マテ奔走シテ殆ト惟レ日モ足ラサルノ有様ナリ其他戸籍ノ如キモ隨分繁雜ヲ極ムル者ニシテ加フルニ屆出期限ノ定マリアルヲ以テ嫁取り御取リ養子離縁ニ至ルマテ一々戸長ノ手ヲ經サル可ラス又所得稅ノ如キモ結局戸長ノ與ル所ナレハ戸長ノ事務繁劇ナルコトハ中々中央政府ニ奉職スル官吏ノ類ニ非ス是等ハ職ヲ地方ニ奉シタル諸君ノ熟知スル所ニシテ今特ニ本官ノ喋々ヲ要セサルナリ畢竟スルニ戸長ハ事務繁劇ナル爲ニ毎日星ヲ戴テ出テ星ヲ戴テ歸ルノ有様ナリ是レ獨リ大ナル町村ノ戸長ノミ然ルニ非スシテ百戸二百戸ノ小町村ニ於テモ亦其通りナリ然ルニ今回自治ノ制ヲ施キ只今ノ戸長即チ町村長ヲ名譽職ト爲シ只々人口五

千以上ノ町村ニ於テハ事務繁劇ノ爲ニ餘業ヲ營ム能ハストシテ給料ヲ與フルト言ヘハ其反對ニ人口三千以下ノ町村長ハ事務ノ傍ラ餘業ヲ營ムノ暇アルヲ以テ給料ヲ與ヘストノ語アルモ何千戸以上ノ町村ハ姑ク措キ三百戸四百戸ノ町村長トテモ決シテ餘業ヲ營ム可キ暇ナキハ各官ノ能ク知ル所ナリ然ルヲ此制ヲ以テ名譽職ト爲セル以上ハ人口三千以下ノ町村長ハ是非トモ無給ニシテ其職ヲ奉セサル可ラス若シ選ニ當リシ者カ故ナク之ヲ辭スレハ之ヲ罰スルト云フニ至テハ町村長ノ迷惑甚クシテ到底實地ニ行ハレ難カラシ良シ枉テ其職ニ就クトスルモ「イヤイヤナカラ」勤メルコトニ成リ行キテハ自然ニ事務ヲ怠ルニ至ル可シ萬一徵稅ノ事務ヲ怠ル如キニ至テハ政府ノ部分ニ取テモ頗ル迷惑ナラン町村ノ事務撻取ラス徵稅ノ事務擧ラサレハ之ヲ上下不便ノ甚シキ者ト言フモ可ナラント信ス尤モ歐羅巴ニ在テハ自治自由ノ制ニ慣レ其町村長タル者モ選舉ニ當レハ喜ンテ職ニ就ケルモ歐羅巴ノ例ヲ推シテ之ヲ我邦ニ施サントスルハ抑モ難事ト云ハサルヲ得ス蓋シ政府ニ於テモ歐羅巴ノ制度ヲ其儘ニ移サスシテ多少我邦ノ民情ヲ參酌折衷セラル、ナラントハ信スレトモ歐羅巴諸州ニ於テハ我邦ノ如ク戸長ヲシテ政府ノ事務ヲ澤山ニ負擔セシムルノ例ヲ見ス今ヤ戸長ノ有様ヲ見ルニ共事務ノ官ニ屬スルモノ十中ノ七八ヲ占メ人民ニ屬スル事務ハ僅々十中ノ二三ニ過キサルカ如シ斯ル有様ナルニモ拘ラス官ノ事務ヲ澤山ニ負ハセ置キナカラ歐羅巴ニ於ケル自治町村ノ戸長ト同様ノ性質タラシメントハ甚タ六ヶ敷キ事柄ニ非スヤ歐羅巴諸國ノ町村長ハ其事務極メテ閑散ナレハ自分ノ營業アレハ其營業ヲ爲スノ傍ラ事務ヲ處辨シ得ルモ奈何セ



我日本ノ町村長ハ歐羅巴ノ例ニ非スシテ夜ヲ日ニ繼クモ尙ホ事務ノ澁滞ヲ來ス有様ナルヲ然シナカラ本官ハ一概ニ此制ヲ行フコト能ハストハ斷言セス地方ニ依リ中ニハ喜ンテ之ヲ實行セントスル所モ有ルニ相違ナケレトモ只其之ヲ行フヲ喜ハサル所ニ向テ強ヒテ之ヲ行ハントスレハ其結果ハ法律ヲ以テ自治ヲ押附ケ又壓制ヲ以テ自由ヲ荷ハシムルノ嫌ヒ有リ法律ト壓制ヲ以テ自治自由ヲ押附ケルハ猶ホ可ナレトモ其結局ハ貧村ノ立チ行カサル憂ヒ有リ其故如何トナレハ町村長ハ無給即チ名譽職トハ言ヒナカラ其レ相當ノ報酬ヲ與ヘサル可ラス縱令二百戸三百戸位ノ小町村ノ戸長トテモ報酬ヲ與ヘサレハ誰モ進テ其職ニ當ル者ハ無カラン其報酬金額モセメテハ一分ノ給料ニ相當スルダケ與ヘサレハ出ル者ハ有ラサル可シ然ルニ是迄ノ戸長ノ給料ハ各官モ承知ノ通リノ譯ニテ富村ト貧村トヲ問ハス一體ニ地方稅ニ課シテ其中ヨリ支給スルニ因リ貧村ノ戸長モ夫々相當ノ給料ヲ與ヘテ人物ヲ得ルコトニ成リ又富村ナリトテ別段ニ餘計ナ給料ヲ與ヘルコト無ク所謂貧富平均シテ賄ヒヲ爲シ來レリ然ルヲ本案ノ如ク各町村各獨立自治ノコトニナレハ貧村戸長ノ給料ヲ富村ノ出セル地方稅ニテ補助スル譯ニモ參ラサレハ勢ヒ貧村ハ貧村ニテ賄ヒヲ爲サ、ル可ラス斯ク成リ行キテハ長崎鹿兒島及其他ノ僻地寒村ニ至テハ中々戸長ノ給料ヲ賄フ能ハサルノミナラス一年ニ四拾圓カ五拾圓ノ薪炭紙筆墨費ヲモ負擔スルニ六ケ數キ所アリ此等ノ貧村ヲシテ強テ獨立セシメンカ縱令人民ハ如何ニ苦シキモ戸長ノ報酬及ヒ助役ノ給料等ヲ支拂ハサル可ラス萬一之ヲ支拂フ能ハサレハ如何ナル結果ヲ生スルカ或ハ選舉ニ當リテモ進ンテ其職ヲ勤メン

ト云フ者ナカラン若シ勤ムル者ナキトキハ管督官廳ヨリ役人ヲ出シテ其町村ノ事務ヲ執ラシメ而シテ其入費ハ尙ホ其町村人民ヨリ取立ル譯ナレハ寒村僻落ハ連モ立チ行キ難カラント信スルナリ然ラハ便法ヲ設ケテ獨立シ難キ貧村ハ他ノ村落ニ合併スルヲ得ルモノト爲サンカ成程一里カ半里ノ距離ニシテ其往來交通ニ便利ナル場所ハ合併スルコトヲ得ヘキモ山間ヤ僻地ニハ僅々五十戸カ百戸ニテ一村ヲ成シ隣村マテハ四里モ五里モ隔タリシ所モ少カラサレハ此等ノ場合ニハ合併セント欲スルモ合併ノ仕様ナキヨリ到底獨立ノ經濟ヲ立ツルヨリ外ナカラン故ニ實際ヲ細視スレハ場合ト所ニ依テ都合好ク合併ノ行ハル、所モ有ランナレトモ又他ノ一方ニハ如何シテモ合併ノ行ハレサル場所アルコトヲ想像セサル可ラス斯様ナル貧村ニ於テモ今日ノ所ニテハ一體ノ地方稅ヲ以テ賄ヒヲ爲スカ故ニ貧富流通シテ僅ニ都合好ク行ハレ居ルモ一タヒ本案ヲ發布スル以上ニハ所謂貧富流通シテ都合好ク行フコトハ出來難カラン左レハ本案ハ人民ノ情願ニ依テ實行スル者ト爲シ甲ノ町乙ノ村ニハ之ヲ行フテ差支ナシト認メノ附キタル所ニ向テ實行スルハ可ナレトモ只今陳ヘタル通りノ貧村ニ向ヒ法律ヲ以テ無理ニ自治ヲ推付ケルハ甚タ宜カラス畜ニ宜シカラサルノミナラス終ニハ之カ爲ニ貧村ハ倒レ租稅ハ納ラス人民ハ流離スル如キ哀レナル結果ヲ來サントス其レ故ニ本官ハ法律ヲ以テ無理ニ自治ヲ押付ケルコトヲ好マサルナリ又本官ハ某論者ノ如キ郡制府縣制ノ悉ク揃ヒシ上ニ非サレハ之ヲ行フ可ラスト云フ考ヘハ持タス先此町村制ノミ行フテ行ハルレハ第一着ニ是タケヲ行フモ可ナリト考フ成程町村制ト云ヒ市制ト云ヒ郡制ト云ヒ府縣



制ト云ヒ何レモ連絡シテ居ル故ニ一齊ニ發布シテ共ニ之ヲ行ヘハ都合好キニハ相違ナ  
 カランモ去リトテ必シモ同時ニ發布シテ同時ニ行フコトヲ要セサラント信スルナリ一  
 體本官ノ考ヘニテハ町村制ヨリモ市制ノ方ヲ早ク行フテ然ル可キカト思ハル共故如何  
 トナレハ市制ヲ行フ可キ市街ハ人口二萬五千以上トカ三萬以上トカ集マリテ一都會ヲ  
 成ス所ナレハ其中ニハ必ス富者モ有リ智者モ有リテ自治ノ賄ヒ位ハ出來ルニ相違ナク  
 自治ノ賄ヒノ出來得ル所ニ之ヲ行ヘハ其都會ノ人民モ追々ニ進歩ヲ現ハスニ至ラント  
 思ヘハナリ之ニ反シ邊鄙ノ貧村ニ向テ強ヒテ之ヲ行フハ甚々無理ナルコトナレハ若シモ  
 其實行ノ難易ヲ問ハスシテ之ヲ全國ニ行フトセハ寧ロ前日來各官ノ論セラル、通り暫  
 ク見合セニナル方至當ナラント思考ス然シ所謂見合セノ論ハ既ニ議場ノ排斥スル所ト  
 爲リ最早愈ヨ逐條審議スル場合ニ臨ミタレハ今更廢案トカ見合セトカ言フモ到底行ハサ  
 ルハ眼前ナレトモ何卒只今申セシ通り人民ノ請願ニ依テ之ヲ行フノ意味ニ修正センコ  
 トヲ希望ス但シ此意味ニ修正スルトキハ本案全體ノ組織ヲ改メサル可ラスト思ハル、  
 方モ有ランカ決シテ左様ナ六ヶ敷キ事ニハ非ス只第一條ニ少シク終正ヲ加フル迄ニテ  
 十分ナリ約リ此案ハ此案ニテ發布スルモ上ヨリ押付ケルコトヲ爲サス偏ニ人民ノ情願ニ  
 依テ其町村ニ實施スルノ意ヲ顯ハシ置ケハ前ニ言フ寒村僻落ノ如キ自ラ賄ヒヲ爲ス能  
 ハサル所ハ急ニ實行ヲ願ハスシテ只富村ノミ施行ヲ願ヒ出ルコトナラン其富ミタル町  
 村ニシテ一番自治ヲ遣ツテ見タイト願フ所ニハ之ヲ實施スルモ決シテ差支ナシ否ナ差  
 支ナキノミナラス其自ラ進ンテ願フ所ニ之ヲ施スハ洵ニ宜シキコトニ相違ナシト信ス

ルナリ因テ本官ハ第一條ヲ此法律ハ東京京都大坂及市制ヲ施行スル地ヲ除キ各町村人  
 民ノ情願ニ因リ府縣知事ノ具申ヲ以テ内務大臣ノ認可ヲ得漸次施行スルモノトス、ト修  
 正セン果シテ此ノ如クスレハ法律ヲ以テ自治ヲ人民ニ押付ケル弊モ無ク又此制ヲ行フ  
 所ノ精神ニモ悖ラスシテ頗ル穩當ナラント思フナリ終リニ臨ンテ尙ホ一言陳述シタキ  
 コト有リ其ハ別ノ事ナラス即チ本案ヲ熟讀スレハ自ラ郡ノ自治ヲ認メタルニ似タレト  
 モ所謂郡ノ自治ハ決シテ我日本ニ行フ可キコトニ非ス何トナレハ町村ノ上ニ郡ノ自治  
 ヲ置クハ徒ニ重複ヲ招キ人民ノ負擔ヲ重カラシムルニ止マリテ少シモ益アルヲ見サレ  
 ハナリ成程熊本縣ナトハ一郡ヲ二ツニモ三ツニモ分割シ又福岡縣ノ某郡ナトハ鹿兒島  
 ニテ言フ所ノ郷ノ如キ體裁ヲ成シ居ルカ故ニ何カ其郡一般ニ協議ヲ要スル場合ニハ町  
 村聯合會ヲ開キテ事ヲ議スル有様ナレハ斯様ナル場所ニハ或ハ郡ノ自治ト言フコトモ  
 必要ナランカ此一二縣ノ爲ニ全國皆ナ然セサルヲ得ストハ言ヒ難カラシ現ニ鹿兒島縣  
 宮崎縣大分縣ノ邊ニ至テハ其郡域廣大ニシテ一郡ノ中ニテモ昔ヨリ領主ヲ異ニシ東西  
 ノ人民互ニ顔ヲ知ラサルノミナラス絶テ往來通信ヲモ爲サ、ル所アリ斯ル有様ナルヲ  
 以テ如何ニ自治ヲ好メハトテ只平等主義ニ郡マテ自治ノ制ヲ立ツルハ宜シカラス若シ  
 萬一ニモ郡ノ自治ヲ許セハ是ヨリ甚シキ混雜ヲ來スナラント想像ス故ニ縱令町村ニハ  
 自治ノ制ヲ行フモ郡ノ自治ハ斷シテ之ヲ行フ可ラス况ヤ縣ノ自治ニ至テハ尙更之ヲ行  
 ハサルヲ良シトス勿論市ハ町村ノ大ナル者ニシテ郡ト同視ス可キニ非サレハ是ハ直チ  
 ニ今日ヨリ行フモ可ナリ然シ是トモ法律ヲ以テ貴様是非トモ今日ヨリ自治ヲセヨト



言フニハ及ハス矢張り人民ノ情願ニ因テ願フ所ニハ之ヲ行ヒ願ハサル所ハ其儘ニ爲シ置クカ穩當ナリ試ニ英國ノ制度如何ト考フレハ英國ノ制度ニ於テハ決シテ貴様必ス自治セヨト押付ケスシテ矢張り人民ノ願フ所ヨリ漸次ニ始メル仕組ナリシモ其レニテ別ニ差支モ起ラスシテ甚タ圓滑ニ行ハレタルニ似タリ左レハ市制ノ如キモ押付主義ヲ廢メ人民ノ情願ニ因テ願フ所ヨリ漸次ニ施行スルカ適當ナラン尤モ町村制ヲ議スル時ニ豫メ市制ノ事ヲ論スルハ訝シケレトモ彼ト此トハ約リ同類ナレハ豫メ此所ニテ其得失ヲ論スルモ敢テ不可ナル無カラント推想ス本官一寸市制ヲ見ルニ市長ナトノ月給ヲ國庫ヨリ支給スルノ明文アレトモ苟クモ自治ノ制ヲ行フ位ナレハ國庫ヨリ市長ノ月給ヲ支拂フハ宜シカラス思フニ假リニモ市制ヲ行フ程ナレハ市長ノ給料位ヲ支拂フコトノ出來サル所ハ無カラシ然シ果シテ之ヲ支拂フ能ハサル程ナレハ初メヨリ之ヲ行ハサルカ可ナリ然ルヲ自治ノ制ヲ施キナカラ市長ヲ官選シテ國庫ヨリ其給料ヲ支拂フト言フ如キハ抑自家撞着ノ甚シキ者ト言ハサルヲ得ス然シナカラ是ハ市制ニ屬スルコトナレハ強ヒテ茲ニ之ヲ論セサルモ只本案第一條ハ何卒只今陳述セシ通り修正センコトヲ切望ス尙ホ各條項中ニ本條ト牽連スル所アレハ其場合ニ臨ンテ修正ヲ加ヘント欲スレトモ先ツ此緊要ナル第一條ノ修正ニ各官ノ賛成ヲ得ンコトヲ願フナリ

○六番宮本 只今五十一番ヨリ總テノ二字ヲ削ル說ヲ出サレシカ是ハ是非トモ削除セサル可ラスト言フ程ニモ非サラン然シ此町村制ハ隨分長キ法律ナレハ其長キ間ニハ往々不要用ノ文字モ有レハ成ル丈ケ簡短ニスル爲ニハ不要用ノ文字ヲ削ル方宜シカラシカ

此點ヨリ考ヘ來レハ第一條ニ敢テ必要ナラサル總テノ文字ヲ削ルモ至極宜シサウニ思ハルレハ五十一番ノ說ヲ賛成ス緒又本官ハ本官ニテ別ニ此第一條ニ陳ヘ度ク存スルコト有リ其事ハ敢テ此町村制ニハ關係ヲ有セサルニ似タレトモ此次ノ第五百六十號ニ關係ヲ有スルカ故ニ一應此所ニ於テ陳述セン既ニ第一讀會ニ於テ陳ヘタル通り市制ト云フコトハ追々書物ナトニハ散見スレトモ此ノ如ク立派ニ法律上ニ現ハレタルハ今回カ始メナルノミナラス何分ニモ市制ノ文字ハ穩カナラスト思ハルレハ本官ハ市ノ字ヲ都會ノ文字ニ改メ度ク存スルナリ或ハ邑制ト爲スモ可ナランカ是ハ又餘リ捨リ過キテ面白カラス全體東京京都大坂ハ申スニ及ハス之ニ亞テ名古屋金澤ナトハ京都ニ比シテ殆ト優ルトモ劣ラサル所ナレハ斯様ノ所ニ市制ノ市ノ字ヲ用フルハ兎角ニ穩當ナラス各官モ承知ノ通り市ト言ヘハ僅ニ八日市トカ七日市トカ言フ如キ所ヲ指ス言葉ニシテ其市ト言フ所ハ町村ノ中ニ含蓄スル小部分ナレハ苟クモ都會ヲ成シ家數ノ拾萬モ有リ隨テ人口ノ二三拾萬モ有ル所ヲ指シテ市ト言フハ不都合ナラン否ナ獨リ不都合ナルノミナラス往ク往クハ其市ト言フ名ノ爲ニ飛ンダ差支ヲ生スルコト無シトモ言ヒ難シ段々考ヘ來レハ所謂都會トモ言フ可キ所ハ概子皆舊城下ナルヲ以テ市制ヲ改メテ城下制ト爲スモ可ナルニ似タレトモ何分今日ノ世ノ中ニナリテハ城下制ト改ムル譯ニモ參リ兼ル事情アリ夫レ是レ考ヘ合スレハ現在人ノ集リ居ル所ヲ都會ト唱フル例ニ働ヒ此法律ハ東京京都大坂及都會制ヲ施行スル地ヲ除キ町村ニ施行スルモノトスト改メンコトヲ望ム此說幸ニ各官ノ賛成ヲ得テ問題ト爲ラハ本懷ノ至リニ存スルナリ只今二十七番モ



縷々ト第一條ニ付テ論セラレ其論旨中ニハ隨分同意ヲ表シテ可ナル所アレトモ本官ハ前陳ノ通り別ニ意見アルヲ以テ贊成ヲ表スルコト能ハス其レハ姑ク措キ只今連帶シテ朗讀サレシ第二條ニ付テモ一應本官ノ意見ヲ陳述セン即チ本官ハ第二條ヲ丸テ抹殺セシコトヲ希望ス抑 第二條ハ町村制ノ精神即チ本體トモ言フ可キ大切ノ條ナランモ本官ハ所謂本案ノ精神本體ヲ現ハシ置クコトヲ好マサル故ニ之ヲ抹殺セント欲スルナリ諺ニモ名ト器トハ人ニ假ス可ラスト言ヘル通りノ次第ナレハ法律ノ明文ヲ以テ公然自治自由ヲ與フルハ甚タ好マシカラス先刻二十七番ハ殊更ニ自由ヲ與ヘストモ實際ニ於テ業已ニ自治ノ精神ハ行ハレ居ルト言ハレシカ其様ニ知ラス識ラス自治ノ行ハルハ素ヨリ可ナリ公然法律ヲ以テ政府ヨリ自治ノ權ヲ與ヘ置クトキハ他日如何ナル弊害ヲ生スルヤモ測リ難ク此一點カ本官ノ掛念ニ存スル所ナリ其事ハ本官カ一己ノ私見ニテ彼是レ論スル迄モ無ク各官モ十分ニ承知ノコトトハ思ヘトモ試ミニ某外國公使ノ言ヲ援テ之ヲ確メン曾テ某外國公使カ日本ノ政治上ニ付テ懇切ニ論シタル言ニ日本政府ニ於テ民權ヲ與ヘントスルハ甚タ訝シキコトナリ民權ナル者ハ政府ヨリ與ヘストモ自然ニ立ツ者ナレハ上ヨリ之ヲ與ヘントスルハ以ノ外ノコトナリ若シ之ヲ辨ヘスシテ一度上ヨリ民權ヲ與ヘタランニハ他日如何ナル都合ノ事アルモ決シテ之ヲ奪フ譯ニハ參ラス之ヲ奪フコトノ出來サル日ニハ政府ノ爲ニ言フ可ラサル困難ヲ來スコト眼前ナリ故ニ政府ヨリ之ヲ與ヘスシテ自然自然ニ民權ノ附クノハ致方モ成ケレトモ好ンテ民權ノ名ヲ附ケ政府ヨリ之ヲ與ヘントスルハ以テノ外ノ心得違ヒナリト言ハレシ聲ハ今尙

ホ耳ニ留リ居レリ此數言ニ徴スルモ第二條ヲ掲グルノ不可ナルコトハ明瞭ナラン且近來ハ民間ニ自由タノ民權タノト唱フル者アリテ其自由民權カ段々横道ニ走り或ハ自由制度ニナレハ地租ヲ納ムルニ及ハスト言ヒ或ハ民權ヲ得レハ政府ニ頭ヲ押ヘラレスト言ヒ斯ル事柄ヲ眞ノ自治自由ト考フル所ヨリ遂ニ種々ノ弊害ヲ生シ來リテ政府ノ一大困難ト爲ルノ有様ニ立チ至レリ是等モ畢竟民度ノ未タ進マサルヲ考ヘスシテ無暗ニ自由トカ民權トカ言フ名ヲ現ハス所ヨリ間違ヒヲ生シテ今更困ル事ノ出來タルニ外ナラス左レハ第二條ノ自治ト言フコトモ政府ノ思フ通りノ意味ヲ下々マテ貫徹セシメ人民モ其通リニ心得居レハ宜シケレトモ決シテ左様ニハ參ラス或ハ政府ノ目的ヲ達スル能ハスシテ却テ意外ノ結果即チ政府ノ監督ヲ受ル一事ヲ棚へ上ケ銘々自分勝手ヲ唱 政府ノ監督ヲ受ケサルニ至ランモ知ル可ラス其レニハ又生意氣ナル書生ナトカ傍ヨリ自由ハ斯ク民權ハ斯様自治ハ此通りト峻シテ益々人民ヲシテ政府ニ抵抗セシムルヨリ此ニ至テ政府ハ殆ト之ヲ治ムルニ困難ナラン斯様ナル場合ニ臨ンテモ公然法律上ニ自治ト言フ明文アル以上ハ無暗ニ之ヲ壓抑スルコトモ出來サレハ據ナク目ヲ閉チテ捨置ク如キ事モ追々ト出來スルハ自然ノ勢ナリ其レ故ニ兎角ニ法律ヲ以テ政府カ取ル所ノ針路ヲ前以テ人民ニ示スハ不可ナリ當ニ不可ナルノミナラス後來大ニ悔ルコト有リ高クモ申サレヌ事ナカフ彼ノ減租ノ聖詔ハ人民ニ取リテ此上モ無キ有リ難キ事ナレトモ今日ニ至テハ人民カ彼ノ聖詔ヲ口ニ藉テ彼是レ言フヨリ政府モ之カ處置ニ苦ムニ非スヤ是モ茶煙草材木其他ノ物品稅貳百萬圓以上ニ至レハ漸次ニ地租ヲ百分ノ一マテ減少



スルトノ明文アル故ニ彼是レ申立ル譯ナレハ兎角ニ何事ニモ證券印紙ヲ貼テ出スハ宜シカラス今ヤ日本ハ政體人情時勢ノ變革最中ニシテ未タ如何ナル點ニ赴クヤモ測リ知ル可ラサル際ニ當リ自治ナトト言フ字ヲ白地ニ法律ニ掲ケテ施行スルハ本官ノ好マサル所ナリ只之ヲ時運ニ任セ行政上ノ都合ニテ知ラス議ラズ自治ニ赴カシムルハ可ナレトモ何分之ヲ法律ニ掲ケ置クハ他日ノ杞憂ニ堪ヘサルヲ以テ第二條ヲ抹殺シ去ラント欲スルナリ但此條ヲ削ル爲ニ此制度ノ全體ヲ傷ルノ恐れ有ラハ敢テ此說ヲ主張セサレトモ是ハ畢竟本案ノ冒頭トモ言フ可キ條文ニシテ之ヲ存スルモ之ヲ削ルモ決シテ全案ニ影響ヲ及サ、ラント確信ス又序ナカラ一言セン先刻二十七番ハ人民ノ情願ニ因テ施行スルノ精神ニ改メ度シト言ハレタリ其ハ約リ第三百三十六條ノ地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ云々ヲ一層擴メタル論ナランモ一體第三百三十六條ハ實ハ甚タ不都合ナル譯ニテ前會ニ本官カ五十四番ニ同意シテ暫ク見合せ云々ノ決ヲ取ラル、時ニ起立シタルハ全ク之カ爲ナリキ前キニ調査委員ノ一人タル九番ハ本案ヲ彼ニ行ヒ此ニ行ハサレハ新日本ニ非スシテ更ニ下等ナル斑日本ト爲ラント言ハレシカ今二十七番ノ說ノ如クスレハ虎ノ皮ヤ豹ノ皮ノ如キ斑ノ間ニ更ニ細カキ斑ノ毛カ生ヘル様ナ說ニシテ甚タ宜シカラス全體沖繩縣ヤ北海道ノ如キ王化ノ未タ及ハサル所ハ斑ニナルモ已ムヲ得サレトモ其他ノ國郡ニ一齊ニ行ハレスシテ斑ニ爲ルホト不吉ナルコトハ有ラサルナリ蓋シ政府ニ於テハ速モ一齊ニ行ヒ難キヲ認メテ第三百三十六條ヲ掲ケラレシ譯ナレハ其之ヲ實行スルニ當テハ必ス斑ニナルヲ免カレサランモ本官ハ其斑日本ト爲ルヲ好マ

ス其レ故ニ廢案ニ同意シテ起立セシカ最早今日ト相成リテハ速モ廢案說ハ行ハル、見込モ無ケレハ據ナク逐條ニ就キテ意見ノ在ル所ヲ陳ルノミ倍逐條ニ就キテ意見ヲ陳ルニハ成ル可ク條例ヲ簡易ニシテ大抵ノ僻地ニモ行ハレンコトヲ主トシ且生意氣書生カ人民ヲ煽動シテ政府ノ命令ニ抵抗セシムル如キ氣風ヲ養ハサルニ務メンコトヲ欲スルナリ要スルニ此第二條ヲ存スレハ各府縣知事カ治下ノ生意氣書生ノ爲ニ困難ヲ極ムルノ杞憂ニ堪ヘス因テ本官ハ五十一番ノ說ヲ贊成シ併セテ第一條ノ「市制」ヲ都會制ト改メ尙ホ第二條ヲ全ク削除セント欲スルナリ何卒各官ニ於テモ愚說ノ旨趣ノ在ル所ヲ察セラレ同意贊成ヲ表セラレンコトヲ切望ス

○議長 六番ノ說ハ第一條ヲ此法律ハ東京京都大阪及都會制云々ト改ムルノ意ニヤ

○六番宮本 然リ市制ヲ都會制ニ改ムル積リナリ

○議長 都會制云々ハ領解セシカ尙ホ第二條ヲ抹殺セント言フ說ハ別ニ提出スル積リナルヤ或ハ連帶シテ提出スルヤ

○六番宮本 別々ニ提出シテモ可ナレトモ屢々起立スレハ徒ニ時間ヲ費ス恐レ有ルヲ以テ差支モ無ケレハ連帶シテ提出セント欲スルナリ

○議長 五十一番ノ提出セシ「總テ」ノ一字ヲ削ル說ニ贊成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○六十八番岡内 總テ「」ノ一字ヲ削ラント言フ五十一番ノ說ハ或ハ贊成シテモ宜シカラント存スルモ此文章ヲ讀下セハ總テノ字ハ餘程力アル様ニ思ハルレハ一應内閣委員若クハ調査委員ノ説明ヲ煩ハシタル上ニテ贊成不贊成ノ意ヲ決セントス一體第四條ノ其



他總テヲ削リタル以上ハ第一條ノ總テノ二字モ同様ニ削去シテ可ナルニ似タレトモ  
調査委員ニ於テ彼ヲ削リ此ヲ存シタルハ彼此場合ヲ異ニスル故ナリヤ或ハ別ニ理由ア  
リテ此ノ如クセシヤ一應承リタシ

○八番楠本正隆 只今ノ問題ニ付キ六十八番ヨリ第四條ノ總テヲ削リテ第一條ノ總テヲ削ラ  
サルハ如何トノ質問ヲ受ケタレハ調査委員ノ任トシテ一應之ニ答ヘサルヲ得ス即チ調  
査委員席ニ於テ第四條ノ其他總テヲ削リシハ全ク不必要ノ文字ナルニ由リ第一條ノ總  
テヲ削ラサルハ此文字アル爲ニ文章ノ語路モ好ク且總テノ各町村ト言フ意味ヲ示スニ  
ハ却テ之ヲ存スル方可ナラント見認メタルニ由ルナリ

退席

十二番

黑田 清綱

○九番榎村正直 先刻六番ハ本官カ第三百三十六條ノ爲ニ斑日本即チ新日本ニ非スシテ下等ナ  
ル日本ト爲ルト言ヒシ様ニ陳ヘラレシカ本官ハ決シテ左様ニハ申サ、リキ勿論此制ハ  
地方官ノ具申ニ依テ行ハル、譯ナレハ暫クノ間ハ斑ニ爲ルト迄ハ陳ヘシカ虎ノ皮ダノ  
豹ノ皮ダノ新日本ハ下等ノ日本トハ申サス故ニ下等ノ日本トカ虎ノ皮豹ノ皮トカ言フ  
コトハ多分六番議官カ始メテ説クモノトハ思ヘトモ本官カ前ニ其事ヲ言ヒシ如ク聞カ  
レテハ迷惑ナレハ一應此段ヲ陳述シ置クナリ

○三十七番山口尚芳 只今第一條ノ文字ニ付テ色々ノ説アレトモ本官ハ只意味サヘ解レハ宜  
シキモノト見做シテ別段ニ修正説ハ出サス全體第一條ハ此法律ハ東京都大阪其外市  
制ヲ施行スル地ヲ除キ總テノ町村ニ施行スルモノトスノ主意ニ外ナラサルモ本案ノ文

章ニテハ形容詞ヲ副詞ニ用ヒタル爲ニ異論ヲ生セシモノナラン約リ總テノ文字ヲ總テ  
ノノ意味ニ解スレハ敢テ疑ヒヲ生セサラント信ス因テ五十一番ノ説ハ尤モニ思ハルレ  
トモ總テノ二字ヲ削リテハ文章カ變ナモノニ爲ランヲ恐レテ賛成ヲ表セサルナリ

○五十一番井田 本官ノ修正説ニ賛成者ヲ得タルハ満足ナレトモ其賛成者カ別ニ第一條  
ニ付テ修正説ヲ出サレ尙ホ其他ニモ五十一番ノ説ハ五十一番ノ説ハ六番ノ説ハ二十七番  
雜ヲ生センモ測リ難シ因テ五十一番ノ説ハ五十一番ノ説ハ六番ノ説ハ二十七番  
ノ説ハ二十七番ノ説ト別々ニ決ヲ取ラレンコトヲ願フナリ

○議長 固ヨリ其通りニスル積リナリ

○五十一番井田 只今三十七番ヨリ辯駁ヲ受ケシカ駁論者ノ言ハル、通り總テノ下ニノ  
ノ字アレハ本官モ別ニ修正ヲ試ル譯ニ非ス只茲ニノノ字ヲ加ヘサル爲ニ此法律ノ總テ  
ハ町村ニ施行スルモノトスト爲ランヲ恐レテ寧ロ之ヲ削リ去ラント發言セシノミ大體  
是ハ原書ニアラユル町村ト有ルヨリ本案ニ總テ町村ト書ケルナランモ所謂アラユル  
町村ヲ邦語ニ譯スレハ總テノ町村ト爲ル故ニ三十七番ノ解スル通り總テノ町村ト有レ  
ハ固ヨリ別ニ論スル迄モ無キ譯ナリ然シナカラ市制ノ方ハ如何ト考フレハ市制ニハ總  
テノ市街地ニ施行スルモノトストハ掲ケサルニ因リ旁タ市制ノ文章ト對照シテモ總テ  
ノ二字ヲ削ル方可ナラント考ヘヨリ説ヲ出シタリ要スルニ本案ノ通りニスレハ總テ  
ノ字ハ法律ノ方ニ附從シテ法律ノ總テハト爲ルノ不都合アレハ三十七番ニモ其思召ニ  
テ全ク本官ノ説ハノノ字ノ無キ所ヨリ起リシモノト領承アラントコトヲ望ム



○三十五番 津田 只今ノ問題説ハ總テノ二字ヲ削ルト言フニ在リ如何サマ原案ノ儘ニテハ一テニヨハ一ノ格ニ合ハサルカ如シ然ルニ三十七番ハ總テノトスレハ別ニ差支ナシト言ヒ問題發議者ニ於テモ亦ノ字アレハ固ヨリ其レニテ宜シト言フヲ見レハ或ハ左様カモ知レサレトモ總テノ字モ何モ無シニ只各町村トスレハ尙ホ一層完全ニ爲ルヤモ知ル可ラス然シ是ハ些細ナル文字上ノコトナレハ其孰レニ決スルモ本案施行ノ上ニ差支ヲ生スル程ノコト無シトシテ姑ク之ヲ措クモ第一條ニ付テハ五十一番ノ説アリ六番ノ説アリ二十七番ノ説アリテ意外ノ紛議ヲ生センモ測ラレサレハ議長ノ陳告サレシ通り別々ニ分テ決ヲ取ラル、ハ至當ノコトナリ扱別々ニ決ヲ取ラル、ナレハ只今ノ問題ハ可否孰レニ決スルモ第一條ハ未タ決セサル譯ナルヲ以テ二十七番ノ説ニ賛成ヲ得レハ更ニ其レヲ問題ト爲サル、ヤ議長席ノ見込ハ固ヨリ其積リナラントハ想像スレトモ萬一左モ無クテハ甚タ不都合ト考フレハ念ノ爲メ一應質問ス

○議長 二十七番ノ説モ六番ノ説モ賛成者アレハ問題ト爲ス積リナレトモ若シ賛成ヲ得サルトキハ問題ト爲スヲ得ス

○三十五番 津田 然レハ本官ハ現問題ヲ賛成ス然シ隣席ノ議官ヨリ「」ノ字ヲ加フル説出テナハ是ニモ賛成ヲ表シテ可ナリ

○議長 二十七番ノ修正ハ稍ヤ長文ニ涉リ或ハ各官ノ心ニ貫徹セサルカト思フニ因リ一應書記官ヲシテ朗讀セシメン

書記官 西山 朗讀

第一條 此法律ハ東京京都大阪及市制ヲ施行スル地ヲ除キ各町村人民ノ情願ニ依リ府

縣知事ノ具申ヲ以テ内務大臣ノ認可ヲ得漸次施行スルモノトス

○議長 二十七番及ヒ六番ノ修正説ニハ賛成者ナキヲ以テ共ニ消滅ス

○三十五番 津田 本官ハ先ツ現問題ノ決ヲ取ラレシ後ニ二十七番ノ説ニ賛成ヲ表セント欲シタリキ

○議長 然レハ只今ノ陳告ヲ暫ク取消サン但シ賛成ノ旨趣ヲ陳ルコトハ暫時見合ハサレヨ

退席

十六番

伊東 祐啓

○五十八番 鍋島 本官ハ議場ノ體裁ニ付テ一言セン只今五十一番ノ修正説カ問題中ナル

ニモ拘ラス二十七番及ヒ六番ヨリモ修正説ヲ出シ約リ一時ニ三様ノ修正説アル姿ナリ然ルニ若シ起立ノ際ニ多數ヲ以テ五十一番ノ説ニ可決シ次テ二十七番ノ説モ亦多數ノ同意者アリテ可決シタランニハ前ニ多數ヲ以テ議決シタル修正モ後ノ議決ニ動かサル、様ニナリ結局曖昧ノ議決ニナリハセメカトノ掛念アリ如何ン

○議長 五十八番ニ告ク修正説ヲ出スハ何回ニ限ルトノ制限ナキヲ以テ縱令如何様ニナルトモ其ハ致シ方ナキナリ

○七十番 東久世 無用ノ言ナルヤモ知レサレトモ一應本官ノ思フ所ヲ陳ヘテ議長ノ參考

ニ供セント欲ス抑、此町村制ハ頗ル重大ナル法律ナレハ逐條審議ノ際ニハ定メテ種々ノ修正説モ出ルナラント想像セシニ案ノ如ク開卷第一ノ第一條ニ付テ先ツ五十一番ノ



修正説アリ次テ二十七番ヨリモ六番ヨリモ各修正説ヲ出サレタリ然シ問題ハ五十一番ノ修正ノミニシテ他ノ兩説ハ只五十一番ノ豫備ノ修正即チ五十一番ノ説カ消滅スレハ此ノ如キ修正ヲ出サントノ豫言ニ過キサル可シ斯ル場合ニ如何ナル順序ヲ以テ如何ナル取決ヲ爲スヤハ固ヨリ議長席ノ見込次第ナレトモ只同時ニ二ツノ説ヲ問題ト爲スコトハ出來サル筈ナリト信ス蓋シ一ノ問題中ニ自分ノ意見ヲ豫陳スルコトハ苦シカラサレトモ其豫言ニ對シテ豫メ賛成ヲ爲ストカ又ハ豫メ不同意ヲ唱フルトカ言フコトヲ許セハ約リ其議論ハ必ス問題外ニ涉リテ爲ニ議事ノ運ヒヲ妨クルノ恐レ有リ因テ本官ハ先ツ五十一番ノ説ニ付テ可否ヲ論シ其説ノ濟ミタル後ニ二十七番ノ説ニ賛成者アレハ之ヲ問題ト爲シ其説ヲ決シテ然ル後六番ノ説ニ賛成アレハ其説ヲ問題ト爲サンコトヲ希望ス苟モ然ラスシテ豫言ニ賛成ヲスルトカ賛成セヌトカ言フトキハ甚ダシキ混雜ヲ生センモ測リ難シ元來第二議會ニ於テハ第一着ニ出テタル修正ニ決スル上ハ最早其議決ヲ動カスコトヲ得サルニ依リ修正説ヲ出ス者モ餘程念ヲ入レテ提出セサレハ動モスレハ肝要ナル修正ヲ遺スノ憾アリ故ニ修正發議者ハ十分ニ注意ヲ加ヘテ提出シ又議長席ニ於テモ議事ノ錯雜ヲ避クル爲メ前陳ノ通り慣例ニ依テ整理セラレンコトヲ望ム

○議長 七十番ノ陳述サル、如クセサレハ議決ノ際ニ混雜ヲ來サント思フニ依リ本席ニ於テモ其通りニ爲サン積リナリ

○五十一番 津田 朗讀ノコトニ付テ一應建議ヲ致シ置カン本會ノ初メニ議長席ヨリ都合ニ因テハ二三箇條連帶シテ議題ニ付スル旨ヲ陳告セラレ乃チ書記官ハ第一條ヨリ第三

條マテ朗讀セシカ一體此案ハ餘程六ヶ敷キ故ニ數條連帶シテハ混雜ヲ生スルニ因リ矢張り一條ツ、朗讀スル方却テ簡便ナラント信ス愈々起立ト言フ時ニ臨テモ朗讀ノ部分總體ニ付テ起立スルコトニナレハ可ナレトモ一條ニモ二條ニモ三條ニモ各説アルトキハ非常ノ混雜ヲ來サントス因テ第四條以下ハ一條ツ、朗讀セシメラレンコトヲ希望ス

○議長 一體ノ論旨サヘ判明ナレハ幾多ノ説出ルトモ敢テ混雜スル憂ハ無カラント信シテ二三箇條ツ、連帶シテ朗讀セシメント陳ヘシカ斯ノ有様ニテハ矢張り混雜ヲ免レサルニ因リ即チ五十一番ノ建議ヲ容レ一條ツ、議題ニ付スルコトト爲サン

○三十五番 津田 本官カ議長席ノ處分方ヲ伺ヒシトキニハ只今ノ問題ヲ決シテ後ニ二十七番ニ賛成アレハ其決ヲ取り又次ニ六番ニ賛成アレハ其レヲ問題ト爲スト言ハレシニ因リ成程其通りニスルカ至當ナラント考ヘ居タルニ只今七十番ヨリ只今ノ問題ニ可決スレハ最早第三議會マテハ外ノ説ヲ出スコトハ出來スト申サレタリ果シテ七十番ノ言ハル、所カ慣例トナラハ致シ方ハ無ケレトモ然シ第一條ニ付テ五十一番二十七番六番ノ説ハ各其趣キヲ異ニスル所アリ此ノ如ク各其主意ノ異ナル時ハ

○議長 三十五番ノ發言中ナレトモ念ノ爲ニ一言セン七十番ノ言ハレタル主意ハ一ツノ問題中ニ他ノ修正説ヲ出スモ其説ハ豫言ニ止ルト言フニ在リテ結局本官カ前刻陳述シタル主意ト異ナラサレハ左様ニ領承セラレヨ

○三十五番 津田 然ラハ現問題ノ決シタル後ニ再ヒ修正説ヲ出スモ可ナルヤ

○議長 固ヨリ可ナリ



○二十七番 尾崎 本官ハ議事ノ體裁ニ熟練セサルヨリ少シク期ニ先ツテ發言セシカ只今七十番ノ說ヲ聞クニ及ンテ本官ノ誤リナルコトヲ發明セリ左スレハ本官ノ前說ハ五十一番ノ說カ決スル後ニ提出スル所ノ豫陳說ト致シ茲ニ聊カ五十一番ノ修正ニ不同意ナル所以ヲ陳述セン元來總テノ文字ヲ削リ去ルトキハ何タカ文章カ足ラヌ所アル様ニ見エ爲ニ本條ノ主意マテモ茫トシテ明瞭ナラサルノ嫌ヒ有リ況シテ此文字ヲ削レハトテ格別此案ニ對シテ影響ヲ及ホス程ノ大修正ニモ非サレハ寧ロ原案ノ通りニシテ別ニ修正ヲ加ヘサルガ宜シカラント思ハル、ニ因リ本官ハ當問題ニ同意ヲ表スルコト能ハサルナリ扱此問題カ消滅ニ歸スル以上ハ過刻本官カ陳ヘタル修正ヲ提出セント欲スルモ各官ノ中ニ其意味ニハ同意ナルモ其文字上ニ付テ何分同意ヲ表シ難シト思ハル、方モ有ラント想像ス若シ果シテ左様ナル考ヘヲ抱カル、方アラハ文字上ノコトハ務メテ贊成者ノ見込ニ從フ積リナルニ因リ何卒本官ノ修正ノ主旨ニ同意アリテ文字上ノ氣ニ入ラヌ所ハ幾重ニモ教諭セラレンコトヲ請フ本官ノ所思ハ右ノ通りナレハ此レモ豫メ陳述シテ各官ノ參考ニ供ス

○議長 當問題即チ五十一番ノ修正ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者五人

○議長 少數ナルニ付キ五十一番ノ說ハ消滅ス

○三十五番 津田 眞道 二十七番ノ豫言サレタル修正ニ同意ヲ表ス願クハ問題ト爲リテ各官ノ贊成ヲ得ンコトヲ

○議長 二十七番カ先刻陳ヘラレシハ豫言ニ過キサレトモ只今三十五番ノ贊成モ有ルコトナレハ二十七番ヨリ更ニ前說ヲ提出シタル者ト見做シテ其修正ヲ問題ト爲ス

○十四番 渡邊 清 只今問題ト爲リシ修正說ハ以ノ外ノ事ト存スルナリ全體現問題ノ通りニスレハ政府ハ此ノ如キ法律ヲ發布スルモ之ヲ實行スルト否トハ汝等ノ勝手次第ニスルガ宜シト言フ譯ニナランガ左様ナ事ハ世界中何處ニモ例ノ無キ事ニシテ此法律ハ九テ夢ヲ見タ様ナ法律ト爲ラン然シ發議者モ此等ノ事ヲ考ヘスシテ無頓着ニ修正ヲ出サレシ譯ニモ非サル可ケレハ或ハ此法律ヲ無理ニ行フテハ爲ニ人民ノ困苦ヲ來サンヲ憂フル所ヨリ發シタル說ナラント想像ス果シテ其掛念ヨリ出タル說ナレハ附則第三百三十六條ニ此法律ハ年月日以後地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣ノ指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シトノ明文モ有レハ府縣知事カ自分一己ノ意見ヲ以テ最早我縣下ニハ施行シテ可ナリト言フ譯モ無ク必ス地方ノ情況ヲ察シ人民ノ事情ヲモ斟酌シテ具申スル筈ナレハ敢テ二十七番ノ憂慮ニモ及ハサルナラン既ニ第三百三十六條ノ明文アルニモ拘ラスシテ第一條ニ人民ノ好ミニ依テ施行スル旨ヲ掲ケタランニハ其レコソ途方モ無キ有様ニ成リ行カン元來此法律ハ人民ノ自治トカ地方分權トカ言フ部類ニ屬スル者ナレハ之ヲ施行スルニ當リ深思熟考シテ成ル可ク無理ナ事ノ無キ様ニ務ムルハ勿論ナレトモ去リトテ又此法律ヲ人民ノ勝手人民ノ好イタ儘ニ遣レト言フハ甚タ不都合千萬ナル次第ナリ苟クモ現問題ノ主意ヲ擴ムレハ刑法ニモセヨ治罪法ニモセヨ其他ノ法律規則ニセヨ悉ク皆其精神ヲ以テ定メサル可ラサルモ右様ノ事ハ斷然我日本帝國ニ於テ



ハ相成ラヌ事ナリ要スルニ現問題ハ實ニ以テノ外ノ次第ト存スルニ因リ聊カ茲ニ一言スルコト然リ

○三十五番 津田眞道 本官カ前キニ此案ニ對シテ廢案ヲ唱ヘタルハ法律面ノミ餘リ急進ニ過ルハ宜シカラストノ主意ニ外ナラザリシガ只今二十七番ノ修正ハ矢張り急進ヲ避ケ漸進主義ヲ以テ此法律ヲ行ハント言フニ在レハ歸スル所ハ本官ノ論旨ト略ホ同様ナルヲ認メテ贊成ノ意ヲ表シタリ然ルニ十四番ハ凡ソ法律ヲ施行スルニ當リ人民ノ情願ニ依テ進退スルトキハ一方ニ行ヒ一方ニ行ハサル有様ト爲リ其彼ニ行ヒ此ニ行ハサル法律ヲ發布スルハ世界萬國ニ比類ナシト確言致サレシモ是レ恐ラクハ十四番カ世界萬國ヲ見タルコト無キ故ニ此ノ如キ議論ヲ發スルナラント想像ス試ニ一帶ノ海ヲ隔テタル隣邦即チ亞墨利加合衆國聯邦ノ制度ヲ看ヨ合衆國聯邦ノ制度ハ所謂大同小異ナレトモ中ニハ相同シキ有リ相異ル有リテ必シモ畫一ニ非ス然シ是ハ合衆國ノ事ナレハ援テ以テ日本帝國ノ比例ニハ爲シ難シト言ハレシモ知ル可ラサレトモ更ニ進ンテ獨逸國ノ有様如何ヲ看ヨ獨逸ハ今更言フ迄モ無キコトナカラ歐米各國ノ中ニテモ最モ勢力アリテ最モ富強ヲ極メタル帝國ナルカ其獨逸ノ法律ハ聯邦ニ通シテ一致合同ナルカト問ヘハ決シテ一致畫一ニハ非ス先ツ法律ノ中ニテモ憲法ハ一番大切ナルモノニシテ其次ハ民法ナル者カ法律中ノ最モ大法律ナレハ其民法ハ獨逸聯邦一致ナルカト言フニ否ナ決シテ一樣ニ非ス元來今日ノ獨逸帝國ハ數個ノ王國ヲ併セテ成立チ居ル所ノ帝國ニシテ孛漏生ニハ孛漏生ノ民法アリ巴威里亞ニハ巴威里亞ノ民法アリ撒遜尼ニハ撒遜尼ノ民法ア

リ其各自ノ民法ハ矢張り大同小異ナルモ殊更ニ獨逸國一般ニ施行ス可キ民法ヲ布告シタルヲ聞カサルナリ其故如何ト考フルニ今ハ獨逸帝國ト唱フルモ其聯邦ノ風土人情習慣宗教ヨリ人民進歩ノ度ニ至ルマテ何分各州一樣ニ參ラサルヨリ已ムヲ得ス舊來ノ儘ニ法律ヲ施行シ置キ段々ト漸ヲ以テ獨逸一統ノ法律ヲ施行スル積リナラント思ハルハナリ尤モ獨逸帝國ト稱シタル日ヨリ直チニ法律ヲ改正シテ聯邦一樣ナラシムルヲ得ルナレハ喜ンテ之ヲ改メシナランモ獨逸ハ如何ニ富強ナリト雖トモ一時ニ之ヲ改メテ一樣ニ歸セシムル能ハサル爲ニ今日ノ如キ有様ト爲リ居ル譯ナラン抑々法律ハ何ノ爲ニ之ヲ設ケ何ノ爲ニ之ヲ施行スルヤト言フニ約リ人民ヲ保護スル爲メ一國ヲ富強ナラシムル爲ナレハ其時ノ宜キニ隨ヒ其土地ノ便利ヲ計リ尙ホ人情ニモ適ヒ時勢ニモ應スル様ニセサレハ法律ヲ設クル詮ナカラン其レ故ニ獨逸帝國ニ於テモ佛蘭西民主國ニテ民法ヲ一樣ニ爲シタル例ニ倣フコト能ハサルナリ英國ノ如キニ至リテモ矢張り其通りノ姿ニテ愛兒蘭ニハ愛兒蘭ノ風俗人情ヲ存シ英虞蘭ニハ英虞蘭ノ風俗人情アリ蘇格蘭ニハ自ラ蘇格蘭ノ風俗人情アルニ因リ其風俗人情ノ異ルニ從テ其法律モ多少ノ異同ヲ存スト云フ然ルニ先刻六番カ斑日本云々ト演說セラレタルニ付キ九番ヨリ之ニ向ツテ辯駁セラレシカ然シ本官ノ見ル所ヲ以テスレハ所謂斑ヲナルカ世ノ中ノ自然ノ道理カト思ハルハナリ左レハ日本ノミ斑日本ニ非スシテ獨逸モ斑ヲ獨逸佛蘭西モ斑ヲ佛蘭西英吉利モ斑ヲ英吉利ナルカ當然ナラン現在此議場ニ列席スル七十ノ議官ニシテモ人心ノ同シカラサルハ其面ノ如クニテ之ヲ大ニスレハ全國三千八百萬ノ人民モ悉ク其面ノ異



ルノミナラス身材ニモ長短アリ肉ノ肥タルモ有リ瘦タルモ有リ其外智慧ノ有ル者モ有  
 リ智慧ノ無キ者モ有レハ縱令政府ニ於テ法律ヲ一様ニ施サントスルモ人形師カ離人形  
 ヲ造リ又ハ鳥ノ形獸ノ形ヲ造ル様ニハ決シテ出來サルナリ彼ノ佛ノ像ヲ鑄ルニハ一定  
 ノ鑄型ヲ以テスレトモ其鑄型ニ入レテ製造シタル佛像ニテモ此方ノ觀音ト彼方ノ觀音  
 トハ多少ノ違ヒ有リテ到底微塵モ違ハサル様ニハ出來サルニ非スヤ蓋シ同シカラサル  
 ハ物ノ情ナリト支那ノ昔ノ賢人カ言ヒシ通り僅ニ似タ物ハ出來得ルモ決シテ同シ様ナ  
 物ヲ幾個モ拵ヘルコトハ出來ス是レ則チ天地萬物自然ノ道理ト見エルナリ勿論本官ナ  
 トハ自然ノ道理ト言フコトヲ能ク辨ヘサレトモ只天下事物ノ上ニ顯ハレタル所ヲ見レ  
 ハ物ノ同シカラサルハ自然ノ道理ナルニ似タリ左レハ法律ヲ施行スルニモ矢張り天地  
 萬物自然ノ道理ニ據テ施行スルノ當然ナルハ論ヲ竝タスシテ明カナリ成程我日本ノ如  
 キモ斑日本ト言ヘハ甚タ面白カラサル名義ナレトモ試ミニ海外ノ有様ヲ見レハ矢張り  
 斑歐羅巴斑亞米利加ニシテ獨リ日本ノミ斑日本ト爲ル譯ニモ非サレハ敢テ其名義ノ面  
 白カラサルヲ心配スルニモ及ハサラン否ナ心配ニ及ハサルノミナラス畫一ノ法律ヲ施  
 行シテ大人小人悉ク之ニ據レト言フコトハ逆モ出來ナイ相談ナリ刑法ノ如キハ成ル可  
 ク同様ニスル積リナレトモ尙ホ大人ト幼年者トヲ區別シテ幼年者ノ犯シタル罪ハ大人  
 ノ刑ヨリモ輕ク爲シアルコトハ刑法ヲ一讀シタル者ノ能ク知ル所ナリ又罪人ヲ監獄ニ  
 入ル、ニモ男囚ト女囚トヲ區別シテ必ス之ヲ同一ノ所ニ置クコトハ出來サルニ非スヤ  
 左レハ法律ヲ施行スルニ當リ成ル可ク同シ様ニ致シ度キハ勿論ナレトモ其レハ事實行

ハレサル故ニ已ムヲ得ス自然ノ道理ニ從ヒ漸ヲ以テ畫一ノ場合ニ赴カシムルノ外ナカ  
 ラント信ス是レ本官カ只今二十七番ノ修正ヲ贊成シタル所以ナリ如何サマ十四番ノ如  
 キ法律ヲ畫一一統ニスルヲ好ム眼ヨリ見レハ現問題ヲ訝シナモノト言フモ無理ナラ子  
 トモ奈何セン畫一一統ト言フコトハ事實爲ス可ラサルノ情況アリ今ヤ日本全國ニハ何  
 十萬ノ町村アルヤヲ知ラサレトモ之ヲ大別スレハ京阪地方ヨリ西南ノ諸國ハ早ク開ケ  
 タレトモ東北ノ地方即チ關東奥羽ノ諸國ハ其進歩稍ヤ遅キ故ニ彼ト此トヲ一様ニスル  
 コトハ六ヶ敷カラシ況ヤ沖繩縣下ノ如キ北海道ノ如キハ固ヨリ論ナキヲヤ是ニ由テ之  
 ヲ觀レハ縱令同一ノ制度ヲ設ケルモ其之ヲ施行スル期限ニ至テハ關東ト關西ト餘程遅  
 速ヲ異ニス可ク之ヲ細言スレハ關東ノ中ニテモ都下ニ近キ所ハ早ク行ハレ邊鄙ノ地方  
 ハ頗ル後レテ實行スルナラント想像ス現ニ都下ニ住メル者ハ日本ノ人民ハ悉ク米ヲ食  
 フト思ヒ居レトモ僻境邊陲ニ至テハ米ヲ食フコトノ出來サル村方モ澤山ニ有リトノコ  
 トナレハ成ル可ク物ヲ捕ヘ度キハ勿論ナカラ實際捕ハサル者ヲ無理ニ捕ヘントスレハ  
 或ハ意外ノ弊害ヲ生スルモ知ル可ラス其レ故ニ初メヨリ畫一急進ノ主義ヲ執ラス漸次  
 ニ自治獨立ノ町村ト爲ルヲ待チテ徐々ト此法律ヲ施行スルカ天地自然ノ道理ニ適フ順  
 序ナランカト考フルナリ一體政府ニ於テモ初メヨリ此法律ニ一步モ違フコトハ相成ラ  
 ヌト言フ主義ニ非サル故ニ二十七番ノ言フ通り實際行ヒ難キ所ニ於テハ暫ク之ヲ行ハ  
 サルモ可ナリトノ意味ヲ末條ニ掲ケラレタルナラン果シテ然ラハ其意味ヲ冒頭ニ持來  
 リテ此法律ハ東京京都大阪及ヒ市制ヲ施行スル地ヲ除キ各町村人民ノ情願ニ因テ漸次



ニ施行スルコト即チ日本帝國一致ニ施行スル譯ニ非サル旨ヲ掲クルモ決シテ惡キ筈ハ無カラント思惟ス之ヲ要スルニ沖繩縣ノ如キ小笠原ノ如キ北海道ノ如キハ無論直チニ施行シ難キノミナラス内地ト雖トモ所ニ依テハ中々直チニ之ヲ行フ譯ニハ參ラスト信スレハ何卒本官カ履唱フル通り漸進ノ主義ニ從テ此法律ノ行ハレンコトヲ切望スルナリ

退席

十三番

伊集院兼寛

○五十八番 直嶋 只今ノ問題ニ對シテ一言セン現今ノ民狀ト戸長役場ノ繁劇ニ堪ヘサル有様トハ如何ニモ二十七番ノ言ハル、通りニ相違ナシト信スルニ因リ本官モ此案ニ對シテ二十七番ト同様ノ考ヘ無キニハ非サレトモ素ト此法律ハ他年立憲政體ニ改メラル、ニ付キテ其基礎タル町村ノ本ヲ固クスル爲ニ要用ナル法案ナレハ將來ニ國ノ隆盛ヲ致スモ此法案ノ實施如何ニ基クナラント信ス然シナカラ二十七番ノ言ハル、通り萬一ニモ此法案實施ノ上ニ付テ宜キヲ失フ如キコト有ラハ或ハ却テ反對ノ結果ヲ生シ他日一國ノ衰頹ヲ來スコト無シトモ斷言シ難シ其邊ヲ考フルトキハ此法案ノ實施如何ハ實ニ重大ナル事件ト言ハサルヲ得ス因テ只今ノ問題說ハ實際ノ事情ヨリ觀察スレハ至極尤ナル說トハ思ヘトモ本官ノ考案ヲ以テスレハ必シモ此開卷第一條ニ向テ右ノ如キ修正ヲ加フルニモ及ハサレハ寧口第三百三十六條ニ至テ現ニ此法案ヲ行ヒ得ヘカラサル寒村僻邑ニ畫一ノ主義ヲ執ラサル旨ヲ詳カニ示ス方宜シカラント思考ス因テ本官ハ二十七番ノ心配ノ點ニハ同意ナレトモ第一條ニ對シテ修正ヲ加フルニハ同意ヲ表スルコト

能ハサルナリ

○五十一番 井田 本官モ問題ヲ賛成スル能ハス其理由ハ即チ丁度五十八番ノ言ハル、通り現問題ハ附則ノ部分ニ屬スル者ニシテ本案ノ冒頭タル第一條ニ入ル可ラサルモノト考フレハナリ元來此條ノ主眼カ内務大臣ニ於テ云々スルト言フ部分ナレハ問題ノ通りニスルモ敢テ差支ナカル可キモ此法案ハ法律ト爲リテ出ルカ又ハ勅令ト爲リテ出ルカ未タ分ラス然ルニ第一條ニ向ツテ現問題ノ如キ修正ヲ加フレハ此法律ハ全ク内務大臣一己ノ取定ル如キ精神ヲ描キ出スノ嫌ヒ有ルカ如シ固ヨリ敢テ修正ノ精神ヲ嫌フ譯ニハ非サレトモ是等ノ事ハ情ニ依リ斟酌シテ行ケハ十分ニ修正說ノ精神ノ如ク行ハル、ナラント信ス要スルニ第一條ニ於テ此法律ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ云々ト言フトキハ此法律ヲ舉ケテ内務大臣ニ委スル様ナ疑ヒ有ルト又此大體町村制タル重ナル精神ヲ害スル嫌ヒ有ルトノ二點ヲ以テ現問題ニ賛成ヲ表セス但シ他ノ條々ニ就テ現問題ノ主意ヲ現ハス可キ修正說ヲ提出スルヤモ計リ難ケレハ豫メ此意ヲ陳述シ置クナリ

○四十九番 神田 二十七番ノ論述セラル、主意ハ本官モ同感ナルニ因リ何卒左様アリ度キモノト存シテ熟考致セシカ段々考ヘテ費シテ見ルトキハ何分思フ通りニモ參ラサル次第アリ其譯ハ如何ト申スニ第九十四條ノ如キ數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者前條ノ町村稅ヲ賦課スルトキ云々ノ場合ニハ頗ル繁雜ヲ生スル恐レ有レハナリ勿論此事ハ繁雜ヲ厭ハストセハ無理ニ押附ケテ押附ラレサルニハ非サレトモ第三百三十七條ニ至リ此法律ヲ施行スルト同時ニ從來ノ法律規則ヲ廢止スルノ明文アレハ此町村ニ於テ



ハ從來ノ法律ヲ廢止シ隣ノ町村ニ於テハ依然トシテ從來ノ法律カ生キテ居ル如キコト  
 モ出來シ各町村毎ニ斑ヲ生シテ其レコソ大變ナ混雜ヲ引起スナラン政府ニ於テモ此案  
 ヲ編成スル時ニ成ル可ク自治自由ニ任セタキ主意ニテ有リシナランモ餘リ混雜ヲ生シ  
 テ其混雜ヲ收拾スル丈ノ見認カ付カサル所ヨリ各町村人民ノ情願ニ因テ此法律ヲ實行  
 スルコトヲ許サレサルモノト存スルナリ若シモ十四番カ言ハル、通りノ畫一主義ナレ  
 ハ各府縣ノ斑ニ爲ルコトヲ許サ、ル筈ナレトモ本案ニ於テ各府縣ノ斑ニ爲ルコトヲ許  
 シタルヲ見レハ所謂認メノ付ク丈ハ斑ニ爲ルコトヲ許シ只各町村毎ニ細カク斑ニ爲リ  
 テハ法律ノ生死ヨリ何所マテ混雜ヲスルカ其認メカ付カサル故ニ據ナク各町村ノ斑ニ  
 爲ルコトヲ許サ、ル主意ナラント察スルナリ結局二十七番ノ修正說ハ最初ヨリ本官ノ  
 希望スル所ナレトモ只今申ス通りノ事情アツテ何分手ヲ下スコトカ出來サル故ニ全部  
 付託調査委員席ニ於テ調査スル時分ニモ已ムヲ得スシテ原案ニ從ヒ置キタル譯ニ付キ  
 十四番ノ反對トハ其主意ヲ異ニシテ矢張り二十七番ノ修正ニハ同意ヲ表スル能ハサル  
 ナリ

○外四番 大森 只今ノ問題即チ二十七番ノ修正說ニ對シテ一應辯シ置カン蓋シ只今ノ問  
 題ハ都鄙ノ別ニ因リテ此制ヲ畫一ニ施行スルコトハ逆モ出來サル筈ナルニ此案ノ各條  
 ハ無理ニ自由ヲ押附ケ壓制ヲ以テ自治ヲ遣ラセル様ナ嫌ヒ有リトノ掛念ヨリ出ル所ノ  
 修正說ナラント想像ス果シテ其掛念ナレハ尤千萬ナル掛念ニテ此制ノ立案者ニ於テモ  
 都鄙ノ別ヲ問ハス全國各地方一時ニ押付ケテ施行スルコトハ出來難カラントノ精神ヲ

以テ立案シタルニ因リ其主意ニ至テハ二十七番ト立案者ト同感ナリト言フモ可ナリ去  
 リ乍ラ其主意ヲ満足セシムル爲ニハ業已ニ出來得ル丈ノ餘地ヲ與ヘ有ルヲ以テ本官等  
 ノ考フル所ニテハ殆ト二十七番ノ考ヘラル、所ト此案ニ存シ居ル所ト格別ノ差異ハ無  
 カランカト思フ即チ別段ニ修正ヲ加ヘラル、程ノ要用ハ無カラント迄ニ考フルナリ其  
 譯ハ第三十六條ニ此法律ハ年月日以後地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ内  
 務大臣ノ指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シト有レハ此法律ヲ實行セント思フトキハ府縣ノ知  
 事タル者カ十分ニ地方ノ情況ヲ觀察シ最早此地方ニハ此制ヲ實施シテ宜シカラントノ  
 見認ガ付キタル上ニ其旨ヲ内務大臣ニ申立テ尙ホ内務大臣ニ於テ其地方ニハ施行シテ  
 可ナリト認メタル後ニ初メテ施行スルコトヲ許ス手順ナルニ因リ所謂度合ノ適當セサ  
 ル所ニ向テ無理壓制ニ此法律ヲ施行スル如キコトハ萬々之レ無シト存スルナリ然シ立  
 案者ハ第三十六條ノミニ満足セシテ其外ニモ數箇所ノ餘地ヲ與ヘタリ即チ第三百三  
 十二條ニモ前條ノ外特別ノ事情アル地方ニ於テハ町村會及町村長ノ具申又ハ郡參事會  
 ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律中ノ條規ヲ中止スルコトアル可シトノ明文ヲ掲ケ一  
 方一府縣内ニ此町村制ヲ施行スル上ニテモ尙ホ町村會議員選舉ノコト町村長選舉ノコ  
 ト租稅ノコト其他何分町村ニ於テ行ヒ切レヌ事アルトキハ其事情ヲ具申スレハ勅令ヲ  
 以テ其行ヒ切レヌ條規ヲ中止スル旨ヲ示シタリ是モ所謂餘地ヲ與ヘタル一端ナリ  
 其他此法律ニ於テハ二級選舉ヲ本則ト爲スニ拘ラス第十四條ノ特別ノ事情アリテ前條  
 ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選舉ノ特別ヲ設クルコトヲ得ト掲ケ



テ等級選舉ノ行ハレ難キ時ニハ從前ノ例ニ依ルモ苦シカラサルヲ示シ又議員ノ定員モ八人十二人十八人廿四人三十人ト定メ置キナカラ矢張り町村條例ヲ以テ其人員ヲ増減シテモ可ナリト言ヒ又ドダイ町村會ヲ開クコトノ出來サル寒村僻邑ニ於テハ其土地ニテ選舉ニ與カル權利アル者カ寄集ツテ會ヲ開ク如キ便法ヲ許シ此他町村條例ヲ以テ別段ノ例規ヲ設クルヲ得ト言フコトヲ示シタル箇條ハ一々枚舉ニ違アラサル程ニテ此等ガ即チ町村ノ自由ニ任セ此法律ノ範圍内ニ於テ十分ニ餘地ヲ與ヘタル證據ナリ右ノ通りノ次第ナレハ別段ニ第一條ニ人民ノ情願ニ因リ云々トノ文言ヲ加ヘストモ二十七番ノ掛念セラル、點ハ十分ニ満足セシムル丈ノ餘地アリト信ス且又第一條ハ畢竟何々ヲ除キテ各町村ニ施行スルト言フコト即チ此町村ヲ施行スル土地ノ區域ヲ定ムルカ主眼ニシテ施行ノ年月ヤ施行ノ手續ヲ定ムル條ニ非サルハ第一款町村及其區域ト言フ文字ヲ見テモ明瞭ナラン約リ第一條ハ東京京都大坂及市制ヲ施行スル地ヲ除キ其外ノ各町村ニ此法律ヲ施行スル旨ヲ示ス迄ニシテ施行ノ順序等ハ附則ノ中ニ委シク掲ケタレハ此第一條ニ向テ情願云々ヲ加ヘントスルハ恐クハ其宜シキヲ得サルモノナラン此說明ニテ別ニ修正ヲ加フル必要ノ無キ理由ハ大抵了解ニナリシナラント信スレトモ尙此法律ニ於テ出來得ル丈ノ餘地ヲ與ヘ務テ押附ケ壓制等ノ弊ヲ避ケタルコトハ各條ノ明文ニ付テ詳ニ承知アラシク希望ス

○八番楠本正隆 本官モ問題ノ取決前ニ簡短ニ意見ヲ陳ヘン成程壓制ヲ以テ無理ニ此法律ヲ施行シテハ宜シカラサルニ依リ十分ニ其邊ヲ取舍シテ餘地ヲ與ヘタル所以ハ已ニ番外

ノ辯明ニテ至極明瞭ナリト思ヘハ本官ハ重子テ申サ、ル積リナレトモ然シ當問題ハ頗ル大切ナル事ニシテ苟クモ人民ノ情願ニ因リ府縣知事ノ具申云々ト言フコトニナレハ第一國體即チ帝權ニ迄モ關係ヲ及ホスカ故ニ敢テ一言セサルヲ得ス抑、此法律ヲ施行スルニ付テ十分ニ取舍折衷スルコトハ附則第三百二十二條ニ特別ノ事情アル地方ニ於テハ町村會及町村長ノ具申又ハ郡參事會ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律ノ條規ヲ中止スルコトヲ得ト有リテ其取舍折衷ヲ許スト許サ、ルトハ全ク天子ノ特權ニナリ居レリ然ルニ原案ニハ勅令ヲ以テ此法律ノ條規ヲ中止スルコトヲ得ト有ルモ天子カ中止スルコトヲ得トハ抑、面白カラサル文章ニテ所謂中止スルコトヲ得トハ官吏又ハ人民ノ間ニ權限ヲ受ケ得タル者ニ止マル言葉ニシテ一天萬乘ノ天子ハ得ルタノ得サルタノト言フ可キ者ニ非サレハ無上ノ權ヲ有スル聖天子ニ向ヒテ中止スルコトヲ得ト言ヘルハ甚タ不都合ナリトノ議論ヨリ調査委員ニ於テ中止スルコトアル可シト修正セリ是ハ甚タ些細ナル修正ノ如クニ見ユレトモ其實ハ國體帝權ニ關係スル所ノ一大修正ナリ斯様ノ事情ナルニモ拘ラスシテ萬一ニモ現問題ノ如ク本案ノ冒頭ニ人民ノ情願云々ノ文字ヲ掲クレハ他日如何ナル結果ヲ生ス可キカ即チ其極端ヨリ論スレハ獨リ此法律ノミ人民ノ情願ニ因テ施行スルニ止マラス他人ノ一般ノ法律モ矢張り人民ノ情願ニ因テ施行スル様ナコトニ爲ランモ知ル可ラス故ニ發議者カ此法律ヲ無理ニ押附ケ人民ノ好マサル所ニ向テ押シ賣リヲ爲ス如キ弊害ヲ恐ル、ノ情實ニ於テハ誠ニ尤千萬ナレトモ去リトテ最早此法律ヲ施行スルコトノ決シタル以上ハ行政官即チ內務大臣府縣知事ノ爲ス所ニ信用



ヲ置クノ外別ニ致方モ無カント思考ス勿論行政官ノ中ニ地方ノ情况モ察セス人民ノ意向如何ヲモ視スシテ只自分ノ物好ミヨリ寒村僻地マテ一齊ニ施行セ子ハ相成ラヌト言フ如キ者アリトセハ二十七番ノ心配モ當然ナランカ其點マテ立入テ杞憂ヲ抱クコトニナレハ已ムヲ得ス此案ヲ廢棄ニ付セサル可ラス其レ故ニ本官ハ只管現問題ヲ排撃スルコトヲ爲サレトモ何分人民ノ情願ニ因テ施行スト言ヘハ終ニハ國體帝權ノ上ニモ關係ヲ及ホスモノト認ルニ依リ各官ニ於テモ深ク此邊ニ注意セラレンコトヲ切望ス畢竟スルニ此案ニ付テハ兎角ニ二十七番ノ言ハル、如キ心配アルヨリ動モスレハ其心配ノ餘リニ右等ノ大主意ヲ失ハントスル恐レ有リ由テ現問題ノ是ト非トハ姑ク措キ國體帝權ノ一點ト法律執行ノ權限上ニ於テ深ク注意ヲ加ヘサル可ラスト思ヒ爲ニ發言ヲ願ミスシテ一言ヲ陳述シタルナリ

○二十七番尾崎 本官ノ提出シタル第一條ノ修正ニハ幸ニ賛成者アリテ問題ト爲リシモ段々之ニ付テ駁撃モ有レハ一應辯シ置カント欲スルナリ第一ニ十四番ハ人民ノ情願ニ因テ施行スルモノトナレハ此法律ハ法律ニ非スシテ夢ノ様ナモノニ爲ルト言ハレシカ是ハ如何様ナル法律學ヨリ出タル説カハ知ラサレトモ恐クハ大變ナ間違ヒナランカト思考ス元來法律ニハ「コムバルソレ」即チ強制法ト「ヴォランタレ」即チ任意法トノ二種アリテ強制法ハ政府ヨリ是非トモ此法律ニ據レト命スル者ヲ云ヒ任意法ハ政府ヨリ強令セスシテ此法律ニ據ラント欲スル者ハ據レト言フモノヲ指スナリ其類例ハ實際ニモ澤山アリテ一々之ヲ言フニモ及ハサレトモ彼ノ會社法ノ如キモ會社ヲ結フ者ハ必ス

之ニ據レト命スルニ非ス即チ會社法ニ據ラスシテ會社ヲ設立スルハ固ヨリ人民ノ隨意ナレトモ只此會社法ニ據テ會社ヲ設立セントスル者ハ之ニ據レト云フニ過キサルナリ其他學校ニ係ル規則ノ如キモ只學校ヲ建ルニハ斯クセヨト言フ迄ニテ必ス學校ヲ建ツ可シト命スルニ非ス左レハ十四番ノ駁説ハ取ルニ足ラサル論トハ信スレトモ尙ホ一例ヲ舉ケテ本案ハ畫一主義ニ非サルヲ明ニセン既ニ番外四番モ立案者ハ平等主義畫一主義ニ非サルヨリ第三百三十六條ニ地方ノ情况ヲ裁酌云々ノ明文ヲ掲ケタリト言ハレシカ本官ハ立案者ノ心配ヨリモ更ニ一層心配シテ人民ノ情願ニ任セント欲スルノミ約リ十四番ハ平等均一ニセサレハ法律ニ非サル様ニ言ハル、モ一體平等主義ハ甚タ政治上ニ害アルモノニテ其反對ニムラムラト爲リ居ル中ニ言フ可ラサル妙所アルモノナリ譬ヘハ奥羽ノ人ト薩摩ノ人トハ自ラ違フ所アリ又同一ノ府縣内ニ於テモ都會ノ近所ト山ノ中トハ自ラ其進歩ニ遲速アリ其進歩ニ遲速アレハ隨テ法律モ適不適ノ差異アルハ自然ノ勢ナラン是ハ僅々一例ニ止マレトモ人間萬事皆ナ其通りノ有様ナルニ因リ法律ヲ施行スルニモ務メテ無理ノ無キ様ニ注意セサル可ラス此ノ如ク論シ來レハ最早畫一主義平等主義ヲ執レル十四番ノ説ノ不可ナルコトハ明瞭ナラント信スレハ是ヨリ第二ノ反對説ニ對シテ一辯セン即チ第二ニ四十九番ハ現問題ニ對シテ本官モ二十七番ト同様ノ心配ヲ爲シタレトモ若シ問題ノ通りニスルトキハ甲ノ村ハ此法律ニ據リ乙ノ町ハ舊來ノ法律ニ據ル様ナコトニナリ實際混雜紛亂シテ不便ナラント存スルニ因リ已ムヲ得ス原案ニ從ヒ置キタリト言ハレタリ成程は一應尤ナル説ニシテ反對論ノ中ニテモ最モ



勢力アル論トハ思ヘトモ退テ考一考スレハ其混雜ヲ避クルニハ隨分如何様ニモ便利法  
 カ出來ルナラント信スルナリ其譯ハ縱令此ニ人民ノ情願ニ因リト言フコトヲ掲ケ置ク  
 ニモセヨ人民カ願ヘハ直チニ其町村ニ施行スル譯ニハ非スシテ府縣知事カ人民ノ情願  
 ヲ尤ト思ヘハ内務大臣ニ其旨ヲ具申シ尙ホ内務大臣ニ於テ差支ナシト認メタル上ニ始  
 テ施行スル運ヒニ至ル筈ナレハ若シ人民ノ情願アルニ當テモ府縣知事ニ於テ甲ノ村ト  
 乙ノ町ト斑ニナリテハ不都合ト見認レハ實際如何様ニモ取計ヒ方アラシクモ其取計  
 ヒヲ爲スコト能ハストセハ第三百三十六條ノ地方ノ情况ヲ裁酌シ云々ノ事モ實際ハ甚タ  
 六ヶ敷キモノト言ハサルヲ得ス一體本官ノ考フル所ヲ以テスレハ第三百三十六條ノ情况  
 ヲ裁酌云々ハ府縣ノ知事タル者カ自分ノ治ムル縣内府内一般ニ今日ヨリ行ヒ明日ヨリ  
 施シテモ可ナリト言フコトヲ裁酌スルノミニ限ラスシテ其裁酌ノ區域ハ今少シ廣カラ  
 ント思ハル其故如何トナレハ同シ京都府下ニ於テモ伏見ノ邊ニハ此法律ヲ行ヒ得ラレ  
 丹波ノ山ノ奥ニハ中々行ヒ難キモノト假定センニ其行ヒ難キ所ノ有ル爲ニ他ノ十分ニ  
 行ヒ得ラル、所ニ行ハサル譯ニハ參ラス又其十分ニ行ヒ得ラル、所ニ行フ爲ニ山ノ奥  
 ノ行ヒ難キ所マテ押付テ行フコトハ出來サル筈ナレハ即チ第三百三十六條ノ裁酌云々ハ  
 一府一縣内ノ彼ト此トヲ裁酌スル意味モ含蓄シ居ル可キ道理ナレハナリ若シモ左様ナ  
 ル意味ニ非サレハ如何ニ押付ケ主義ニ非スト辯解スルモ到底實際ニ至テハ押附ケト爲  
 ルヲ免レス故ニ本官ハ第三百三十六條ノ裁酌ヲ廣ク見テ一府一縣ノ中ニ就テモ彼ニ行ヒ  
 此ニ行ハサルコトヲ裁酌具申スル譯ト解セサルヲ得ス掇果シテ府縣ノ知事カ一府縣ノ

中ニ就テ彼ニ行ヒ此ニ行ハサルヲ裁酌具申スルモノト爲レハ手モ無ク此方ノ町村ニハ此  
 法律ヲ行ヒ彼方ノ町村ニ於テハ之ヲ行ハサル様ナコトモ必ス出來スルニ相違ナシ勿論府  
 縣知事カ實際ノ便否得失ヲ熟考シテ具申スルナレハ此村ト隣ノ村ト別々ニ爲ス如キコ  
 トハ無カラシモ然シ同シ管轄ノ中ニ此法律ヲ施行スル町村ト施行セサル町村カ出來ル  
 ニ相違ナシト信ス左レハ原案ノ通りニスルモ幾許カ同シ管内ニ之ヲ行フ所ト行ハサル  
 所ノ出來スルハ無論ノコトナレハ寧ロ現問題ノ如ク人民ノ情願ニ因テ施行スルモノト  
 スレハ縱令此法律ヲ行フ所ト行ハサル所ハ出來ルニモセヨ決シテ政府ヨリ押附ケサル  
 精神ハ益々明カニナリ且自治ヲ與フル精神モ貫徹シテ宜シカラント考フルナリ第三ニ  
 内閣委員ハ立案者ニ於テモ餘程掛念アル故ニ段々各條ノ中ニ融通ヲ附ケ町村會ノ行ハ  
 レ難キ所ニテハ其町村ノ物持カ寄集リテ相談スルコトヲ許シタリト言ハレタリ成程其  
 レモ至極結構ナルコトニハ相違ナケレトモ全體本官ハ町村會ノ行ハレ難キヲ心配スル  
 ニ非スシテ戸長即チ町村長ヲ公選ト爲シ尙ホ之ヲ名譽職トシテ實際ノ事務ヲ取扱ハシ  
 ムルカ頗ル六ヶ敷キコトナラント言フ所ヨリ修正說ヲ提出シタルナリ既ニ前年一旦戸  
 長ヲ公選トシテ行政上ニ段々差支ヲ生シタルヨリ再ヒ公選ヲ廢シテ官選ト爲シタル實  
 驗アルニモ拘ラス強ヒテ此法律ヲ寒村僻地ニマテ行ハントスレハ重子テ政府ノ爲ニモ  
 ナラス人民モ大ニ困ル様ナ事ヲ生スルノ恐レ有リ且ツ町村長ヲ名譽職トシテ報酬ヲ與  
 ヘサレハ誰アツテ其職ヲ務ムル者ナク去リトテ詰ラヌ者ヲ連レ來ツテ其位地ニ置クト  
 モ決シテ事務ノ撻取ル譯ニ參ラサレハ結局監督官廳ヨリ官吏ヲ派出シテ其町村ノ事務



ヲ管理セシムル場合ニ立至ルハ必然ナリ然ルニ其入費ハ如何スルヤト言ヘハ即チ其入費ハ國稅ト同様ノ方法ヲ以テ其町村人民ヨリ徵收スルト言フコトニナリ其レカ爲ニ甚タ人民ノ感觸ヲ惡クセン尤モ政府ノ方ニ於テハ貴様カ自ラ爲ス可キ事ヲ爲サ、ル故ニ此方ニ於テ貴様ノ事務ヲ爲シ貴様ノ事務ヲ爲ス以上ハ其方ニ於テ入費ヲ出スハ當然ナリト言ハ、其理屈ハ固ヨリ立派ニ立ツナランモ奈何セン人民ハ左様ナ理屈ヲ考ヘスシテ又々政府ハ何トカ彼トカ名ヲ付ケテ稅ヲ取ルトノミ思フニ相違ナシ又一方ヨリ人民ハ何ト思フモ如何ニ感觸ヲ惡クスルモ其レ等ハ敢テ構フニ足ラスト假リ定メテ見ルモ業已ニ今日スラ地方稅町村費等ヲ納メ得サル爲ニ續々公賣處分ヲ受クル者ノ斷エサル中へ強ヒテ此法律ヲ施行シ是ハ貴様等ニ取ツテ最モ善キ事ナリ最モ善キ事ヲ貴様等カ自ラ爲サヌ故ニ此方ニ於テ代ツテ之ヲ爲ス然ルニ貴様等カ其入費ヲ出サ、ル故ニ公賣處分ヲスルト言ヘハ縱令其理屈ハ立派ナルニモセヨ實際ハ人民ノ困窮ヲ増シ結局稅源涸竭ト言フ最モ恐ル可キ結果ヲ現ハスニ至ラン是レ本官カ甚タ憂慮ニ堪ヘサル所ナレハ成ル可ク人民ノ情願ニ因テ施行スルモノト致シ置カンコトヲ望ム所以ナリ第四ニ八番ノ論ハ甚タ老練ナル說ニシテ其大要ヲ言ヘハ無論此法律ヲ一齊ニ寒村僻地マテ行フ譯ニ非ス我ハ行政官カ十分ニ斟酌シテ無理ニ施行スル如キコト無キヲ信ス今日ノ行政官ハ寒村僻地マテ平等ニ之ヲ行フヲ手柄トスル者ニ非ス故ニ殊更ニ修正ヲ加ヘストモ原案ノ儘ニシテ府縣知事ノ裁酌取舍ニ任セテ可ナリト言フニ在リ是ハ眞ニ感服三歎ス可キ說ナレトモ既ニ此法律ヲ寒村僻地ニ押付ケルコトノ不可ナルト今日ノ行政官ハ其

レ程エライ人間ニシテ無理ニ之ヲ施行スル者ナシト信シ居ラル、ナレハ矢張り現問題ノ如ク人民ノ情願ニ因テ行フモノトスルカ八番ノ考ヘニ適應スル譯ナラスヤ成程今日ノ行政官ハ其人ヲ得タルニ相違ナク其人ハ皆エライニ違ヒ無シトハ本官モ信シテ疑ハサレトモ其人ハ縱令エライニモセヨ一府縣ニ在ル何千萬ト云フ町村ヲ一々自ラ實際ニ就キテ調査スル譯ニハ參ラサルニ依リ其實際ニ至テハ必ス屬官トカ何トカ云フ者ヲシテ調査セシムルノ外ナカラン各地方ニ於テ往々人民カ縣令ヲ相手取テ訴ヲ起ス如キコト有ルモ蓋シ之カ爲ナランカ左レハ行政官ノ裁酌ノミニ任セスシテ人民ノ情願ニ因ルコトヲ明示シ自治ノ精神ニモ適ヒ且行政官ノ過チ無キ様ニスルカ安心ナラスヤ斯ク論シ來レハ最早八番ハ本官ニ同意ヲ表セラル、ナラント想像ス第五ニ五十八番ハ修正ノ主意ニハ反對ヲ唱ヘサルモ第一條ニ向テ情願云々ヲ加フルハ適當ナラスト言ハレタリ成程是モ一理アル論ナレトモ然シ人民ノ情願ニ因リ云々ハ此法律ヲ行フ上ニ於テ最モ關係アル最モ緊要ナルコトニテ此說若シモ成立タサレハ寧ろ此案ヲ廢棄ニ付スル方人ノ爲ニモ爲リ政府ノ爲ニモ宜カラント信スル程ナレハ其大切ナル主意ヲ第一條ニ加フルカ適當ナランカト思考ス抑、第一條ハ總則中ノ最モ總則冒頭ノ最モ冒頭ト言フ可キ者ナレハ其冒頭ニ此法律ハ人民ノ情願ニ因テ施行スル旨ヲ掲ケ以テ一部法律ノ精神ヲ總括シ益、人民ニ自治ヲ與ヘ益、人民ヲ保護シ益、一國ヲ文明ニ進マシムルト言フ政府ノ厚キ志ヲ貫徹セシメント欲スルナリ本官ノ修正ヲ提出シタル主意ハ大略前陳ノ通りナレハ何卒各官ニ於テモ熟考ノ上賛成セラレンコトヲ希望ス尙ホ終リニ臨ンテ議長



ニ請求スルコト有り即チ只今ノ議題ハ第一條ヨリ第三條マテナルモ第一條ハ頗ル大切ナル問題ナレハ先ツ第一條ノミ別ツテ決ヲ取ラレンコトヲ希望ス

○議長 最早午時ヲ過キタレハ一應休會シテ午餐ノ後ニ續會ヲ開カン

午後零時三十五分閉會

午後第一時三十分開會

退席

- |      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| 十九番  | 田中 芳男 | 四十六番 | 橋口 兼三 |
| 二十五番 | 中島 錫胤 | 四十七番 | 野村 素介 |
| 二十八番 | 原田 一道 | 五十四番 | 加藤 弘之 |
| 三十五番 | 津田 眞道 | 五十七番 | 神山 郡廉 |

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○六番 宮本 一 二十七番ノ修正ハ至當ナル可キモ本官ハ聊カ考フル所アリ同意スル能ハス

諸修正説ノ賛成者ナル三十五番ハ十四番ノ説ヲ駁スルニ方リ獨逸聯邦亞米利加合衆國ノ各邦各州制度ヲ異ニセルコトヲ引キ我邦ノ各町村モ別異ノ制度ヲ施行スルノ差支ナキ例證ト爲セルモ本官ハ甚事理ニ違ヘリト思考ス獨逸聯邦中ニハ其土地日本全國ヨリ大ナルアリ又合衆國ハ各其制度ヲ異ニセルハ當然ナリ之ヲ我邦ノ町村ニ比スルヲ得ス但今日ノ情況ニテハ此制度ヲ行フニ適セル土地ニノミ之ヲ施行スルハ時宜ニ合フモノナ

ラン然ラスシテ一縣内ノ各町村ニ向ヒ一様ニ之ヲ施行セントセハ二十七番モ言ヘル如ク曖昧ノ民ヲ説諭シ強テ之ヲ施スノ場合ナシトセス然ルニ此等ノ民ハ縱令説諭スルトモ此制度ノ何ニタルヲ理會スル能ハス此際或ハ奸黠者アリテ愚民ノ心ヲ煽起セハ徒ラニ騷擾ヲ爲スノ階トナランノミ是レ無知ノ小兒ニ狡智ヲ付クルニ同シ二十七番ノ修正ハ深ク此ニ考フル所アリ土地人民ノ程度ヲ計テ之ヲ施行セントスルハ感服スル所ナルモ其説ノ如クナレハ町村毎ニ各異ノ制ヲ行フコト爲リ國政ハ成立セサル可キヲ以テ遺憾ナカラ賛成シ難シ本官ノ望ム所ハ本案百數十條ノ中ニ就キ方今ノ民度ニ合ハスト思フ所ヲ削除シ之ヲ施行スルニハ成ル可ク各町村一様ニスルニ在リ是レ大ニ將來ニ關係スルヲ以テ一言シテ各官ノ考按ヲ請フナリ

退席

七番

六戸

磯

○三十七番 山口 尚芳 此案ハ國家ノ必要ヨリ起リシモノニシテ此ノ如クセサレハ地方ノ治安ヲ保スル能ハサル上ハ各町村一様ニスルヲ以テ至當ト爲ス然レハ固ヨリ人民ノ情願ニ任ス可キニ非ス從來ノ習慣アリ土地ニ因リテハ直ニ此制度ヲ施シ難キ故ニ第三百三十六條ニ於テ取除ノ法ヲ掲ケタリ六番ハ前途ニ掛念シ務メテ民度ニ合セシム可シト云ヒタルモ是迄ノ町村ニ施行シ來リシ事ト此制度ト幾何ノ差違アルヤヲ觀察セハ其掛念ヲ須井ルニ及ハス即チ第三十三條ニ掲ル町村會ノ議決ス可キ事件ノ概目ヲ見ルニ皆從前ノ制ト異ナラス其異ナル所ハ從前ノ戸長ハ官選ナルモ此制度ノ町村長ハ公選ト爲シ又選舉セラレタルトキ之ヲ辭スルヲ得サルト無給ノ吏員アル如キ數件ニ止マリ其他ハ是迄



ノ事ト同シ但是迄ハ之ヲ成文ト爲サ、ルノミ然レハ此制度ヲ施行シタリトテ爲メニ大ナル變化ヲ起スト云フハ之レ無カル可シ或ハ從前ハ戶籍徵兵ノ事ニ於テモ無智ノ者之ヲ取扱ヒタルモ此制度ヲ施行スルニ及テハ知識アル者之カ取扱ヲ爲シ却テ便宜ヲ得ルコト考フル程ナリ

○十四番 渡邊 先キニ本官ノ陳述ハ語氣少シク平穩ヲ缺キタルヲ以テ各官ノ駁論ヲ來セリ因テ今一回穩和ニ理由ヲ陳述セン凡ソ國家ノ制度ヲ施行スルニハ縱令共和國ナリトモ單ニ人民ノ情願ニ任スコトハ之レナキナリ但裁判上ノ如キハ民間ノ習慣ニ從フアルノミ然レハ此町村制ヲ施行スルニ只人民ノ情願ニ依ルトスルノ不可ナルハ固ヨリ明白ナラスヤ且政府ニ於テモ此制度ヲ設クルニ付民間ノ事情ヲ察シ條文中頗ル斟酌スル所アリ是レ各官ノ知ル所ナラン若シ問題ノ如クセハ一府縣中ニテモ各町村經濟ヲ異ニシ府縣會ニ於テ土地ノ費用ヲ議スルニモ土木衛生等ノ事ヲ定ムルニモ茫手トシテ五里霧中ニ在ル如クナル可シ尤モ島嶼ノ如キ地ハ他府縣ト同一ナラシムル能ハサルハ已ニ此法案中ニ斟酌セル如ク特別法ニ屬スヘキモ他ハ平等ニ施行セサル可ラス大體制度ノ精神ニ就テ之ヲ考フルモ人民ノ隨意ニ任スハ尤モ不可ナリ後來民法訴訟法等ヲ布クニ當リテモ此制度ノ一般ニ行ハレサルハ不都合ナリ發議者ハ事ノ煩雜ヲ避ケントセハ取扱上宜シク寛ナラシム可シト云ヘルモ此制度ヲ一般ニ施行セサルニ於テハ後來ノ改正法律モ圓滑ニ行フ能ハスシテ却テ煩雜ヲ致ス可シ是レ本官ノ一般平等ニ此レヲ施行セント欲スル所以ナリ

退席

四十三番

田邊 太一

○六十八番 岡内 本官モ問題ニハ不同意ナリ此制度ヲ施行スルコトヲ人民ノ情願ニ任ストセハ到底行ハル可ラス何トナレハ此制度ヲ布ケハ餘程人民ノ負擔ヲ増シ名ハ自由ノ制度ナルモ實ハ不自由ナレハナリ縱令此制度ハ人民固有ノ權利ヲ保有シ其幸福ヲ増進スルモノナリトモ人民ノ智識未タ其度ニ至ラサルトキハ此制度ノ施行ヲ望マサル可ケレハ今日ニ於テハ政府ヨリ斷然施行セサル可ラス且二十三年國會開設ノ期モ已ニ近キニアレハ其迄ニ地方自治ノ實効ヲ舉ルヲ必要トス故ニ本官ハ各縣ハ勿論三府ニ至ル迄モ一時ニ此新制度ヲ施行シタキ念慮ヲ抱ケリ好シ其迄ニ至ラストモ各縣ノ町村ニハ同一ニ施行スルヲ可トス

○二十七番 尾崎 本官ハ初メヨリ此案ハ自治ト云フモ實ハ壓制法ナリト思ヘルヲ以テ遂ニ人民ノ情願ニ任スコシト云ヘル修正説ヲ提出シタルナリ然ルニ六十八番ハ之ヲ駁撃スルニ人民ハ各自ノ負擔ヲ増加スルヲ以テ此制度ノ施行ヲ願ハサル故ニ上ヨリ強テ施行ス可シト云ヘルハ甚解ス可ラス既ニ人民ノ願ハサルヲ知リナカラ問題ヲ可認セサルハ何ソヤ抑モ此案ハ催租ノ如ク之ヲ強フ可キニ非ス本ト恩典上ヨリスルモノナルニ好マサル者ヲ強フルトハ何如ニ考フルモ理ナキナリ又此制度ヲ施行セサレハ二十三年國會開設ノ際ニ不都合ナリト云フモ是レ又不可思議ノ説ニテ國會ハ自治ナキ今日ニテモ開設シテ差支ナシ設令二十三年ニ至リテ自治ニ非ル町村アルモ何ノ不都合ナルヲカ之レアラシ思フニ今日ニ於テモ各町村ノ中ニハ此自治制度ヲ願フ所モ之レアラシ其願フ



所ニ之ヲ施キ願ハサル所ハ強テ爲サシム可ラス是尤モ時宜ニ適シタルモノト信ス

○六十八番 重内 本官ノ強テ之ヲ施行セントスルハ固ト善意ニ出テ二十七番ノ説ノ如ク

ナラス例ヘハ此ニ小兒ノ疾病ニ罹リシトキ小兒ハ服藥ヲ欲セサルモ強テ之ヲ飲マシムルハ其病ヲ治セント欲スルニ外ナラス國家ノ事亦然リ苟モ後來ニ好結果アリト思ハ、強テ之ヲ行フモ何ノ不可カララン

○議長 問題ノ決ヲ取ラン之ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ問題ハ消滅ス

○議長 六番ニ告ク午前ニ陳セシ豫言ハ只今之ヲ提出スルモ可ナリ

○六番 宮本 賛成者ハ無カル可キモ試ミニ提出セン第一條ノ市制ナル市ノ字ハ適當ナラス昔日市ト云ヘル語ハ商賣上ニ關シタルモノナルカ是レヨリ誤リテ土地ノ名稱ニ市ノ字ヲ用ヒ恰モ府縣等ノ名稱ト性質ヲ同ウスルニ至レリ藩政時代ハ姑ク置キ今日ニ於テ土地ノ重モナル者ニ市ノ名ヲ附スルハ不可ナリ仙臺、名護屋、金澤、廣島ノ如キハ本ト市ト稱ス可キモノニ非ス此レ皆都會ト稱ス可シ都ノ字ハ「ミヤコ」ト訓スル故ニ輦轂ノ下ニ限ル如ク思フ者アルモ決シテ然ルニ非ス又昔時ノ城下等ニハ邑ノ字ヲ用フルモ適當ニテ兒童ノ誦讀スル小學讀本ニモ名邑ノ文字ヲ用ヒタリ然レトモ邑ハ「ムラ」ト訓スレハ或ハ村落ト混スルノ恐レアレハ矢張都會ノ字ヲ用フルニ如カス因テ市制ヲ改メテ都會制ト爲サントス此レニシテ賛成者ヲ得ハ望外ナルモ否ラサレハ市制會議ノ際更ニ提

出セントス

○議長 六番ノ修正説ハ賛成者ナシ問題ト爲ラス

○議長 第三條迄朗讀畢リシモ二十七番ノ建議モアレハ一條毎ニ決ヲ取ラン

○六番 宮本 第二條ヲ修正セント欲ス可ナルヤ

○議長 第一條ヲ畢リタル後ニスヘシ

○議長 第一條ハ別ニ發議ナケレハ可決ト認ム

○六番 宮本 本官ハ第二條ヲ削除セントス此ニ「法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ云云」ノ文字アルヲ嫌フナリ此ク六ヶ敷文字ヲ陽ハニ用ヒサルモ其精神ヲ含蓄セシムレハ可ナリ思フニ無知ノ小民ヲ導クニハ所謂知ラス識ラス帝ノ則ニ遵フト云ヘル方法アルヲ要ス權利義務等ノ文字ヲ掲クルトキハ却テ自由黨ノ如キ政府ニ抗スル者ノ資ト爲リ此輩或ハ無知ノ小民ヲ煽動スルコトナキヲ保タス三十七番ハ此制度ハ從前施行シ來リシ所ト差シタル異動ナシト云ヘルカ本官モ此制度ヲ不可トスルニ非ス但自治ノ事ヲ仰ヤレク文字ニ顯ハスヲ不可トスルナリ此等ノ文字ヲ顯ハセハ新聞記者等ハ喜フ可キモ實際ハ之レナキヲ宜シトス嘗テ茨木縣人ニテ日本ノ籍ヲ脱セント欲スルコトヲ明言シテ罰ヲ受ケタル者アリシカ此等ノ文字ヲ餘リ顯ハニスルハ後來再ヒ此ノ如キ弊ヲ起スコトナキヲ知ラス因テ本條ヲ削ラントス各位ノ熟考アルヲ望ム

○議長 六番ノ削除説ハ賛成者ナケレハ問題ト爲ラス

○議長 第二條ハ外ニ發議ナケレハ可決ト認ム



○議長 第三條モ可決ト認メ第四條ニ移ル

書記官 西山 朗讀

第四條 町村ノ廢置分合ヲ要スルトキハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議決シ内務大臣ノ許可ヲ受ク可シ

町村境界ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル町村會及地主ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ議決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ヲ變更スルモノハ府縣參事會之ヲ議決ス

町村ノ資力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘス又ハ其他總テ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ハラズ町村ヲ合併シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアル可シ

本條ノ處分ニ付其町村ノ財產處分ヲ要スルトキハ併セテ之ヲ議決ス可シ

○五十一番 井田 内閣委員ニ質問ス本條ノ第三項ニ「關係者ノ異議ニ拘ハラズ町村ヲ合併シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアル可シ」トアリ又第四項ニ「本條ノ處分ニ付云々之ヲ議決ス可シ」トアリ境界變更ハ何人ノ議決スル所ナルヤ

○外四番 大森 即チ前項ト同シク府縣參事會之ヲ議決スルナリ

退席

二十七番

尾崎 三良

○五十一番 井田 番外四番ノ答辯ノ如クナレハ府縣參事會ノ制ヲ町村條例中ニ突入セシメシモノナリ町村ニ關スルコトハ町村會ノ意見ヲ聞ク可キニ府縣參事會ノ權ヲ以テ隨意ノ處置ヲ爲スハ町村自治ノ精神ニ反シ甚不適當ト思考ス故ニ第三項ハ之ヲ削除セン又第四項ハ之ヲ修正シ「財產處分ヲ要スルトキハ」ノ下ヲ町村會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會

之ヲ議決スト爲サン此ク議決スル者ヲ掲ケサレハ之ヲ議決スルハ何人ナリヤ知ル可ラス或ハ前項ヲ願ミレハ解ス可シト云フモ財產處分ニ關スルコトハ務メテ之ヲ明瞭ニシ人ニ疑ヒナカラシムルヲ要ス

退席

五十五番

調所 廣丈

○三十四番 小畑 番外四番ノ答辯ニ疑ヒアリ第三項ニ掲グル異議ニ拘ハラズ町村ヲ廢置分合スルハ府縣參事會ノ議決スルモノニシテ境界ノ變更ハ其數郡ニ涉ラサルトキハ郡參事會ノ議決スル所ナリト思ヒシニ答辯ニ依レハ何レモ府縣參事會ノ議決スル所ナル

カ如シ何如

○外四番 大森 答辯ノ誤リナリ三十四番ノ見解ノ如シ

○五十一番 井田 番外四番ノ答辯ノ誤リハ之ヲ領スルモ本官ハ修正説ヲ取消サ、ルナリ

○六十八番 岡内 五十一番ニ質問ス只今ノ修正ニハ町村會及郡參事會ノ文字ヲ入ル、カ

○五十一番 井田 修正ハ町村會ノ意見ヲ聞キト爲スニ在ルモ此ニ就テハ猶ホ一應番外ニ

質問シタル後ニ決セン番外ニ問フ第三項ノ議決ハ府縣參事會郡參事會何レノ爲ス所ナルヤ今一應確答アリタシ

○外四番 大森 第一項ニ掲ル如ク町村ノ廢置分合ハ府縣參事會ノ議決ニ付シ第二項ニ掲

クル如ク町村境界ノ變更ハ郡參事會之ヲ議決シ若シ其數郡若クハ市ノ境界ニ涉ルハ府縣參事會ノ議決ニ付スルモノニシテ第四項ハ即チ前項ノ場合ニ際シ併セテ之ヲ處分スルナリ



○六十八番 岡内重俊 然レハ第四項ニ「本條ノ處分ニ云々トハ前三項ヲ含蓄スルヤ

○ 外番大森鐘一 然リ廢置變更共ニ處分ノ文字中ニ含蓄セリ

○五十八番 直島鍋島 本官ハ本條ニ付自己ノ解スル所ヲ述ヘ當否ヲトセン本條ノ處分トハ町  
村ヲ廢置分合シ又境界ヲ變更スルニ際シ設令關係者ノ異議アルモ之ニ關セス監督官廳  
ヨリ其處分ヲ行フトキハ其財產處分ハ同シク監督官廳ニ於テ之ヲ爲スコナルヤ

○ 外番大森鐘一 第三項「町村ノ資力」云々ハ前二項ノ取除ナリ前二項ハ町村自ラ廢置變更  
ヲ申出ル場合ヲ指シ第三項ハ監督官廳ニ於テ強テ之ヲ分合廢置又ハ變更セシムル場合  
ヲ指スナリ而シテ末項ノ「本條ノ處分」云々ハ町村ヨリ申出テタルトキ及監督官廳ヨリ  
強テ之ヲ爲サシムル場合ニモ同シク之ヲ爲スナリ

○五十八番 直島鍋島 然レハ本官ノ見解ノ如シ

○五十一番 井田直 六十八番ニ答ヘン聞ク如ク内閣委員ノ答ニ依レハ第四項ノ議決ニハ郡  
參事會モ關係スルナレハ前ノ修正ヲ取消シ更ニ提出セン本官ハ内閣委員ノ答辯ヲ聞ク  
ニ及テ益々末項ニ修正ヲ加ヘントスルノ意見ヲ固フセリ即チ委員ノ答辯ニ依レハ郡  
府縣ト二様ノ議決アルニ法律上一様ノ文辭ヲ以テ二義ヲ含マシムルハ不可ナリ文字ハ  
少シク煩ナリトモ權限ハ分明ナラシメサル可ラス因テ第四項ノ「要スルトキハ」以下ニ  
町村會ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ議決シ又ハ郡參事ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議決  
スノ數十字ヲ加フルコトニ改メン又先キニ第三項ヲ削除スル理由ハ略ホ陳述セシモ猶ホ  
之ヲ補陳セン第三十一條ニ小町村ノ處理法ヲ掲ケアルニ拘ハラス若シ本項ノ如ク其資

力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘサルトキハ之ヲ他ニ合併セシムルトセハ第三十一條  
ノ主旨ヲ隨意ニ抹殺スルコトナル可シ若シ公益上ニ於テ之ヲ合併スル等ノ必要アラハ  
小町村ノ負擔ニ堪ヘサル者ノミニ限ル可ラス大町村ト雖モ猶之ヲ合併シ又ハ境界ヲ變  
更ス可シ此第三項ハ到底第三十一條ニ抵觸スルヲ以テ削除セサル可ラス

○三十七番 山口尚芳 少シク内閣委員ニ質問セン第三條ニ「凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之  
ヲ變更セストアリ第四條ニハ「町村ノ廢置分合ヲ要スルトキハ」云々トアリ固ヨリ必要  
ノ場合ニ非ルヨリハ決シテ妄ニ第三條ニ反ス可ラサルモ其要用ハ何ニ由ルヤ即チ第三  
項ノ資力法律上ノ負擔ニ堪ヘサル場合例ヘハ一村ニシテ學校ヲ設立維持シ難キトキハ  
二ヶ村ヲ合併スル如キ又公益上ノ必要例ヘハ道路ノ都合ニ由テ合併變更ヲ行フ如キハ  
關係者ノ異議ニ關セサルモ可ナリ然ルニ第四項ノ財產處分ニ至テハ深ク勘考セサル可  
ラス此處分ニ就キ町村會并ニ郡參事會共ニ可トスルトキハ差支ナキモ否ラサレハ何如  
處分スルヤ其事不明ナリ故ニ第二項ノ下ニ明カニ處分法ヲ掲クルヲ要ス町村ノ分合ハ  
強テ爲スヲ得可キモ財產ヲ處分スルニハ差支ヘルナラン

○ 外番大森鐘一 町村ノ廢置分合ヲ要スルハ何如ナル場合ニ在リヤトノ質問ナルモ廢置分  
合ノ事タル此法律ヲ立ルノ後始テ起ルニ非スシテ從前ヨリ之レアリ第三條ノ「町村ハ  
從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セスト云フ」ハ大體ノ規則ニシテ第四條以下ハ取除法  
ナリ廢置分合ノ一例ヲ舉クレハ從來僻村ニシテ全村三四戸ニ過キサリシモ土地開進シ  
テ戸數ヲ増スカ又ハ從來戸數多キ村モ追々衰微シタル爲メニ便宜上分合廢置スルコト



アリ或ハ山川ノ變遷等ニ因テ分合廢置セサルヲ得サルコトアリ然ルニ其廢置分合タルヤ事ノ重大ナルヲ以テ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトニ定メタルナリ又財產處分ニ關シテハ町村會ノ承諾シタルトキハ差支ナキモ監督官廳ヨリ強テ之ヲ處分スル場合ニ於テハ何如スルヤト云フモ強テ之ヲ處分スル場合ト雖モ固ヨリ其廢置分合又ハ境界ノ變更ノ際併セテ之ヲ處分スルナリ町村會ノ意見ニ從テ差支ナキ限リハ之ニ從フト雖モ已ムヲ得サルトキハ此強制法ヲ用フルナリ然ルニ強制トハ云フモノ、郡參事會又ハ府縣參事會ノ議決ニ依ルモノニシテ郡長知事ノ獨斷ニ任スルニ非レハ決シテ不公平ナル處分ヲ爲スニハ至ラサルナリ

○五十八番 直島 只今番外四番ノ三十七番ニ答ヘタル言ニ依テ更ニ疑ヒヲ生セリ若シ監督官廳ニ於テ町村ノ廢合ヲ要スル場合ニハ町村會ノ意見ヲ聞クハ明文ニ掲グル所ナルモ只意見ヲ聞クノミニシテ處分ノ權ハ固ヨリ監督官廳ニアリトセハ廢置分合ヲ必要ト爲ス場合ハ第二項ニ於テ之ヲ爲シ得サルコトナシ然ルトキハ第三項ハ贅項ト爲ルニ非スヤ

○番四 大森 五十八番ノ言ノ如ク議決ノ權ハ郡參事會又ハ府縣參事會ニ在ル故ニ第三項ハ贅項ナリト云フハ一應理アルカ如クナルモ之ヲ必要トスルノ理由ナキニ非ス第一項第二項ハ町村ノ便宜上ヨリ其人民ノ希望アルニ依リ其意見ニ從フノ場合ヲ指シ第二項ハ公益上ヨリ町村ノ意見ニ關係セス處分スルノ場合ナレハ第一項第二項ハ第三項トハ事柄ニ差異アリトス是レ贅項ニ非ルナリ又質問外ニ渉ルモ參考ノ爲メニ一言セン或

ハ町村ノ事ハ必スシモ府縣參事會ニ依ラス町村會ヲシテ議決セシムルヲ當然トスト云フ者アラシモ町村人民ハ此際直接ニ利害ニ感スルヲ以テ其思想ハ一方ニ偏シ公平ヲ失スルコトアレハ府縣參事會ノ議決ニ任スニ如カス因テ此ノ如クセシナリ

○三十七番 山口 本條第一項第二項ハ町村ノ便宜上ヨリ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スル場合ニテ其際財產ノ處分モ併セテ議決スルト云フ其意ハ之ヲ領會セリ然ルニ第三項ハ強制法ニテ前二項ノ場合ト異ナレハ此第三項ノ次ニ「本條ノ處分」云々ヲ置クハ順序宜キヲ得ス故ニ第四項ハ第二項ノ次ニ入レ町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ際併セテ財產處分ヲ議決スルコトノ意ヲ明示ス可シ然ルニ第三項ノ強制法ニ於テハ廢置分合ノミハ町村會ノ否決ニ拘ハラズ監督官廳ノ隨意ニ處分シ得可キモ財產ニ至テハ何如シテ處分スルヤ或ハ行政裁判所ニ訴フルノ手段ヲ用フルヤ曩キニ舊幕府時代ノ庄屋名主ヲ廢シタルトキ肥前ノ長崎豊前ノ唐津等ニ數代庄屋タリシ者アリシカ其庄屋付ノ地所ト云フモノニ付爭論ノ起リシコトアリ彼レト此レトハ事體ヲ異ニスルモ町村等ニハ土地財產ノ頗ル錯雜セルモノアレハ尤モ注意セサル可ラス因テ今一應質問ス

○番四 大森 第四條第三項ノ町村ノ資力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘサルトキ之ヲ合併スルニハ府縣參事會ニ於テ之ヲ議決スル故ニ其財產處分モ併セテ之ヲ爲シ其町村境界ノ變更ハ郡參事會ノ議決スル所ナレハ其際財產處分モ併セテ議決スルコトニシテ實際ハ町村ニ諮問スルコトアル可キヤハ知ラサルモ此法律面ニ於テハ固ヨリ參事會ニ於テ議決スルモノニシテ別ニ行政裁判所ノ手ヲ假ルコトナキナリ



○六番宮本 五十一番ニ協議ス第三項ヲ削除スルニハ同意ナルモ第四項ノ修正ニハ本官少シク考フル所アリ故ニ第三項削除ノミニ止メ第四項ヲ別ニセハ喜テ賛成セン

○五十一番井田 本官ハ第四條ニ付修正ヲ提出シタルモ條中項ヲ分テルヲ以テ項ニ依テ賛成不賛成ノ別アリトシ六番ヨリノ協議ナルモ既ニ提出シタル上ハ之ヲ分ツニモ及ハサル可シ只今ノ修正ノ問題トナリタル上議長ニ於テ分ツテ取決アラシムヲ望ム

○議長 五十一番ニ告ク連帶シテ提出セル上ハ連帶ノ賛成ヲ得サレハ問題ト爲ス能ハス

○五十一番井田 然レハ改メテ第三項ノミヲ提出ス

○六番宮本 五十一番ノ第三項ヲ削ルノ説ヲ賛成ス番外四番ヨリ第三項ニ就テハ種々辯明アリシモ關係者ノ異議ニ拘ハラス處分スルトハ實ニ已ムヲ得サル場合ニ限ルナラン此ノ如キ事ハ法文ニ掲ケス府縣ノ都合ニ依テ臨機ノ處分ヲ爲スヲ可トス又境界ヲ變更スル如キハ古來兎角異議ヲ生シ易ク數十年ノ間訴訟ノ決セサルコトアリ例ヘハ林草ヲ刈取ル原野ノ如キ村内ノ共有地ト爲リ容易ニ境界ヲ分ツ能ハサル如キ到底郡參事會ノ議決シ能フ所ニ非ス況ンヤ郡參事會ハ有名無實ニシテ今日ハ郡長ニ於テ之ヲ代理スルヲヤ然ルニ漠然公益上ト云フ如キ捕ヘ所モナキヲ以テ異議ニ關セス處分ストセハ必ス弊害ヲ生セントス

○議長 本官ハ已ムヲ得サル事故アリ退席ス

議長退席シ副議長東久世議長席ニ着ク

○議長 五十一番ノ説ヲ問題トス

○十四番渡邊 第三項ノ事ハ調査委員席ニ於テモ論究シタル所ナリ然ルニ已ムヲ得サル場合ニハ異議ニ關セスシテ處分スルノ權ハ法律上之レ無カル可ラス町村分合境界變更

等ニ就キ異議ヲ生スル場合ハ常ニハ之レナカル可キモ萬一之レアリタル場合ノ處分法ナカル可ラス内務大臣モ上ニ在リ決シテ知事郡長ノ專横ニ任スルコトナシ若シ此第三項ノ權ヲ定メ置カサレハ公益上已ムヲ得サルニ際シ町村人民ハ公益ノ點ヲ認ムル能ハス妄ニ之ヲ拒ムコトアラン從來ハ境界ノ變更等ハ監督官廳ノ意ニ任シタルモ此案ニ於テハ之ヲ改メテ公平ノ點ニ歸セシメタリ但第三項ハ事ノ困難ナルニ際シ之ヲ處分スルノ權ヲ與ヘタルモノニシテ是レ亦必要ナリトス

○五十一番井田 本官ノ第三項ヲ修正セシハ「堪ヘス」ノ下又ハ「」ノ二字削除ニナリ居レリト思ヒタレハナリ「又ハ」ノ二字ナキトキハ唯貧村ニ限リテ異議ニ拘ハラス合併變更スルコトナリ甚不公平ナリト爲シタルニ「又ハ」ノ二字存スル上ハ公益上ニ於テハ貧村ト否ラサルトヲ問ハサルコト分明ナリ依テ修正ヲ取消サント欲ス

退席

三十七番

山口 尙芳

○議長 六番ハ問題ヲ賛成セシモ發議者ハ之ヲ取消サント云フ何如

○六番宮本 本官ハ初メヨリ「又ハ」ノ二字ハ削除ニナリ居ラサルモノトシテ賛成シタレハ若シ五十一番ニシテ取消スナレハ本官ノ説トシテ提出セン縱令公益上已ムヲ得ストモ異議ニ關セスト云フヲ嫌フナリ

○議長 五十一番ハ取消スト云フモ六番ノ改メテ之ヲ提出スルハ可ナリ因テ該修正ニ賛



成者アレハ改メテ問題ト爲ス可キモ之レナキヲ以テ問題ト爲サス因テ五十一番ノ取消ノ事ヲ衆議ニ問ハン

○五十一番 井田 本官現問題ヲ取消ス上ハ別ニ修正ヲ出サントス

○四十番 綿貫 吉直 少シク内閣委員ニ質問セン第三項ハ監督官廳ノ命令ノ權ヲ掲ケタル如ク又府縣參事會ノ處分權ヲ示セルモノト見ユルモ本官ハ府縣參事會ノ處分權ニシテ命令權ニ非スト信ス何如

○外四番 大森 鐘一 此處分ハ郡參事會又ハ府縣參事會ニ於テ之ヲ爲スモノニシテ決シテ知事又郡長一個ノ處分ニ非ス即チ參事會ノ職權ヲ示スニ非スシテ分合廢置等ノ處分權ヲ示セルナリ

○四十番 綿貫 吉直 參事會ヲ置カサル前ハ知事又ハ郡長ニ於テ廢置分合等ノ處分ヲ爲スコハ領會スルモ知事郡長ハ參事會ノ資格ヲ以テスルカ又監督官廳ノ資格ヲ以テスルカニ疑ヒアリ

○外四番 大森 鐘一 本條ハ第三項第四項トモニ參事會ニ依テ處分スルナリ

○五十一番 井田 先キニ豫言セシ如ク更ニ修正ヲ提出セントス

○議長 暫ク待ツ可シ

○議長 各官ニ告ク五十一番ハ其提出セル修正ヲ取消サンコトヲ請求セリ然ルニ既ニ問題トナリタルナレハ衆議ニ問ハン之ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者十六人

○議長 多數ナルヲ以テ請求ノ如クス

○五十一番 井田 先キノ修正ハ本官ノ誤見ヨリ爲シタルナレハ之ヲ取消シタリ然レハ別ニ修正ヲ要セサルカト云フニ又然ラス第三項ハ少シモ町村ニ權ナクシテ監督官廳ノ權ノミヲ張レリ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ハラス合併變更ノ處分ヲ行フトノミ掲ケハ町村ノ精神ハ少シモ存セサルナリ且本項ノ處分ト第四項ノ併セテ議決スルコトハ前項ノ例ニ依ルト云フモ前項ハ分明ニ處分ス可キ者ノ大小ニ依テ府縣參事會若クハ郡參事會ノ議決スルコトヲ掲ケタレハ何人ニモ瞭解シ得可キモ第三項ニハ之ヲ掲ケサル故ニ甚分明ナラス因テ之ヲ修正シテ必要アルトキハ下ニ市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ關係者ノ異議ニ拘ハラス府縣參事會ニ於テ町村ヲ合併シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアル可シト爲サン

退席

三十六番

安藤 則命

○三十番 本田 親雄 五十一番ノ發議ハ尤モナルモ惜ムラクハ修正ノ文章少シク不明ナル所アレハ賛成シ兼ヌルナリ然モ第三項ハ必要ナル處分ナルニ此ニ議決スル權ノ在ル所ヲ示サス末項ニ於テ一筆ニ併セテ之ヲ議決スルトスルヲ不可トスルニハ同感ナレハ第三讀會迄ニハ何ニトカ此法文ヲ明瞭ナラシムルノ好修正ヲ考ヘントス

○議長 三十番ハ唯五十一番ノ發議ニ同感ナリト云ヘリ同感ノミニテハ問題ト爲ス能ハス因テ只今ノ修正ハ消滅ス若シ五十一番他ニ說アラハ陳述セヨ

○五十一番 井田 只今ノ修正ハ問題ト爲ルニ至ラサルモ今後猶ホ第三讀會モアリ又ハ本



案ヲ再調査ニ付スル場合ナシトモ云ヒ難ケレハ其際ニ提出セン第三項ハ公益上ノ場合ニ監督官廳ノ見込ヲ以テ強制スルモノナレハ關係者ノ異議ニ拘ハラサルモ已ムヲ得サルコトナカラ市町村會郡參事會ノ意見ヲ聞クハ適當ナルコト爲シ修正セシモ行ハレサリシハ遺憾ナリ

○五十八番 鍋島直彬 第四條ニ就テハ種々ノ議論起リタリ此文章ニテハ頗ル解シ難ケレハ修正ヲ提出セントスルモ今日ハ到底成立セサル可シト思フヲ以テ陳述セス

○議長 他ニ發議ナクハ可決ト認ム

書記官 西山眞平 朗讀

第五條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ郡參事會之ヲ裁決ス其數郡ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

○九番 榎村正直 第四條ヲ「其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノ」ト改メタル上ハ第五條モ「其數郡ニ涉ルモノ」ト云フヲ「數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノ」ト爲シ彼此同一ナラシメサル可ラス此レハ委員席ニ於テ修正ノ際見落シタリ因テ此修正ヲ提出ス各官之ヲ領セヨ

○五十八番 鍋島直彬 贊成

○十四番 渡邊清一 本官モ贊成ス固ヨリ前ノ第四條ト同一ナラシメサル可ラス

○外四番 大森鐘一 敢テ抗辯スルニ非ルモ此事ハ市制ノ第五條ヲ見レハ分明ナリ市ノ境界ハ

必ス町村ニ接スルモノニテ市ト市トノ境界ハ之レナシ例ヘハ横濱ノ境界ト云ヘハ即チ野毛村トノ境ナルカ如シ此レハ已ニ市制ニ於テ示シタレハ本條ニ掲クルモ無用ナラン

○九番 榎村正直 既ニ第四條ニモ掲ケタレハ此ニモ之レナカル可ラス市制ニ明掲シタリトテ此ニハ無用ナリト云フ可ラス

○外四番 大森鐘一 市ノ境界ノ事ヲ此ニ掲ルハ重複ナリト思フモ之ニ關セス掲ケ置クトナレハ強テ拒マス

○九番 榎村正直 本條ニ掲ケサレハ市制ヲ參照セサル可ラサルノ煩アリ

○十四番 渡邊清一 市制ト町村制トハ別異ナレハ縱令市制ニ掲ケタリトテ此ニハ之レナカル可ラス

○議長 九番ノ修正ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者十四人

○議長 多數ナルヲ以テ修正ニ決ス今日ハ此レニテ閉會セン

○五十一番 井田讓 本條可決ノ演告ハ未タ之ヲ聞カス

○議長 既ニ一問題出テ、之ニ可決シタレハ其レニテ通過シタリ

○六番 宮本小一 質問ヲ爲スハ可ナルヤ

○議長 可ナリ

○五十一番 井田讓 議長ハ何ニ對シテ質問ヲ許スヤ既ニ可決シタル者ハ質問スルノ限ニ非ルヘシ



○議長 本席ハ第五條ニ對シ質問セントセシニ非スト思ヒ之ヲ許シタルモ五十一番ノ言

フ所ハ理ナキニ非ス因テ可決後ノ質問ヲ許スヘキヤ否ヲ議場ニ問ハン

○十四番 渡邊 清 既ニ第二讀會ニ可決シタル上ハ質問ハ第三讀會ニ於テスヘシ五十一番ノ

言ハ當然ナリ

○三十番 親雄 本田 五十一番ノ說ノ如クニテ可ナリ議場ニ問フニモ及ハサルヘシ

○五十八番 直彬 鍋島 三十番ト同感ナリ

○議長 然レトモ一應之ヲ議場ニ問ハン五十一番ノ說ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者二十三人

○議長 多數ナルヲ以テ五十一番ノ言ノ如クス先刻ヨリ疾ヲ推シテ議場ニ居ル議員モア

リ之ヲ除ケハ定數ヲ缺ク故ニ今日ハ此レニテ閉場ト爲サン散會セヨ

午後第四時三十分閉場

○明治二十年十二月二十七日 第二讀會續會

議長 東久世 通感

出席議員

三番 永山 盛輝  
四番 石井 忠亮

六番 宮本 小一  
八番 楠本 正隆

九番	榎村 正直	四十一番	長岡 護美
十四番	渡邊 清	四十三番	田邊 太一
十五番	大久保一翁	四十四番	坂本 政均
十七番	壬生 基修	四十五番	時任 爲基
二十番	岩村 定高	四十六番	橋口 兼三
二十二番	中村 正直	四十九番	神田 孝平
二十三番	久我 通久	五十一番	井田 讓
二十五番	中島 錫胤	五十二番	由利 公正
二十六番	河田 景與	五十五番	調所 廣丈
二十八番	原田 一道	五十六番	林 友幸
三十番	本田 親雄	五十七番	神山 郡廉
三十一番	長谷部辰連	五十八番	鍋島 直彬
三十三番	津田 出	五十九番	長松 幹
三十四番	小畑 美稻	六十一番	楫取 素彦
三十五番	津田 眞道	六十五番	西 周
三十七番	山口 尙芳	六十八番	岡内 重俊
四十番	綿貫 吉直	六十九番	上杉 茂憲

内閣委員



午前第十時開場

○議長 第五百五十九號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク但昨日ノ會議ニテ第五條マテ經過シ  
タレハ本日ハ第六條ヨリ始メン

書記官 西山 朗讀

第二款 町村屬民及其權利義務

第六條 凡町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其町村屬民トス

凡町村屬民タル者ハ此法律ニ從ヒ公共ノ營造物并町村財產ヲ共用スルノ權利ヲ有シ  
及町村ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但民法上特別ノ權利及義務アル者  
ハ此限ニ在ラス

○五十八番 鑄島 内閣委員ニ問フ他ノ條項ニハ大抵皆ナ町村有財產ト有ルニ獨リ本條ノ

ミ有ノ文字ヲ省キテ町村財產ト言ヘルハ何等ノ理由ナルカ一應承リタシ

○外四番 鐘一 五十八番ノ問ヒニ答ヘン町村ノ財產即チ町村有ノ財產ト言フ意味ニシテ  
有ノ字ノ有無ニ因テ別段ニ意味ヲ異ニスル譯ニ非ス

○五十八番 鑄島 領會セリ然ラハ此條モ他ノ條ト文例ヲ同ウスル爲ニ「町村」ノ下ニ有ノ

一字ヲ加フル修正ヲ提出ス

○五十一番 井田 賛成

○二十二番 中村 市制ニモ市有財產ト有リテ之ト睨ミ合ヒニナル可キ文字ナレハ此所ニ  
ハ有ノ字ヲ加フル方可ナラン因テ五十八番ノ修正ヲ賛成ス

○議長 五十八番ノ修正說ヲ問題ト爲ス

○六番 宮本 本案ノ目錄第四章ニ町村有財產ト有ル以上ハ無論ニ此條ニモ有ノ字ヲ加ヘ  
テ可ナレハ本官モ問題ヲ賛成ス然シ本官ハ屬民ヲ住民ト爲シタルコトニ付キテ聊カ意  
見アレハ現問題ノ決ヲ取ラレシ後ニ發言セントス

○議長 只今六番ノ豫陳アリシヲ以テ先ツ五十八番ノ提出セル修正ダケノ決ヲ取ラン即  
チ現問題ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者二十一人

○議長 多數ナルヲ以テ五十八番ノ修正ニ決ス

○六番 宮本 調査委員ニ於テ住民ヲ公民屬民ヲ住民ニ改メラレシハ何か餘程ノ意味アル  
様ニ説明セラレシカ本官ハ矢張り原案ノ通り住民ハ住民屬民ハ屬民ト爲シ置カンコト  
ヲ望ム調査委員ハ公民ノ文字ハ古事記ニ在リトテ其出所ヲ示サレシモ其ハ人民ヲ「オ  
ホミタカラ」ト言ヒ縣令ヲ國造ト唱ヘ至尊ヲ天何々尊ト稱シ奉リシ世ノ中ノコトニシ  
テ至尊ヲ天皇陛下ト稱シ朝廷ヲ政府ト唱フル世ノ中ニ改マリシ以來ハ未タ曾テ公民ノ  
文字ヲ法文ニ用ヒタル例ヲ見ス勿論人民ニ階級ヲ立ツルハ秩序ノ一端トモ言フ可キ譯



ナレハ其階級ヲ立ツルヲ不可トスルニハ非サレトモ只公民ノ文字ヲ平民ニ少シク毛ノ生ヘタ者ノ名詞ト爲スハ宜シカラスト思ハル、ナリ尤モ一タヒ之ヲ法文ニ掲ケ追々用ヒ慣ルレハ強ヒテ解シ難キコトモ無カラシナレトモ尙ホ原案ノ通り住民ト唱フルノ穩カナルニ如カス何トナレハ某處ノ住民ト言フコトハ軍談師モ落語家モ常ニ口ニ唱フレトモ何村ノ公民何町ノ公民ト言フコトハ何分ニモ解シ難ケレハナリ然シナカラ公民ヲ住民ニ復スルトキハ隨テ住民ヲ屬民ニ復セサルヲ得ス然ルニ屬民ノ屬ハ盜賊ノ賊ノ字ト音相通スル所ヨリ屬民ハ何カ惡事ヲ爲スヤノ嫌ヒ有リテ餘リ好マシキ文字ニハ非サレトモ他ノ一方ヨリ考フレハ屬ハ即チ何府縣貫屬ノ屬ニ同シキ意味ナレハ敢テ賊民ト紛ラハシキ心配ヲスルニモ及ハサラント想像ス本官ノ意見ハ凡ソ只今申シ陳ヘタル通りナレハ外ニ好修正アレハ喜ンテ同意ヲ表セント欲スルモ何分差當リ好キ考案モ有ラサルニ因リ先ツ兎モ角モ下付ノ原案ニ從ヒ住ヲ屬ニ復スル修正ヲ提出ス

出席

七番

穴戸

璣

十九番

田中

芳男

○三十番 本田 親雄 六番ノ論スル通り公民ノ文字ハ穩ナラサレハ寧ロ原案ノ如ク住民屬民ト爲スニ如カス只原案ノ屬民ハ少シク妥當ナラサルヤノ感アレトモ是トテモ別段ニ障ル所ナキ以上ハ故サラニ改ムルニモ及ハサラント思考ス因テ本官ヨリ原案ニ復スル説ヲ出サント思ヒ居タリシカ只今幸ニ六番ノ發議アリタレハ喜ンテ贊成ヲ表ス

○議長 六番ノ修正説ニ贊成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○八番 楠本 正隆

公民住民ノ修正ニ付キテハ調査委員席ニ於テモ之ヲ以テ完美善良ト見做シ安シテ提出シタル譯ニモ非サレハ此事ニ付テ各官ノ議論アルハ如何ニモ當然ナレトモ本官ノ見ル所ヲ以テスレハ修正案ノ原案ニ勝ルコト萬々ナリト想像ス蓋シ屬民トハ其村ノ支配ヲ受ケ其村ニ屬スル民ナルコトヲ領解シ得ラル、モ住民トハ公權ヲ有シ及ヒ租稅ヲ納ムル民ナルコトヲ解スルニ難カラン何トナレハ住民ト言ヘハ獨リ公權ヲ有スル獨立ノ男子ノミニ非スシテ其町村ニ寄留スル者モ住民婦女子モ住民義務ヲ分任セサル者モ住民ニハ相違ナケレハナリ是ヲ以テ調査委員ハ其町村ニ住居ヲ占ムル者ヲ總テ住民ト爲シ租稅ヲ納メ義務ヲ分任シ獨立ノ男子トシテ公權ヲ有スル者ヲ公民ト爲シタリ然ルニ問題提出者ハ調査委員カ古事記ニ據テ公民ノ文字ヲ出シタル如ク言ハレシモ委員ニ於テハ古事記ノミニ因リテ此文字ヲ出シタル譯ニ非ス只タ之ヲ古キニ温ヌルモ確乎徵スル所アリト言ヘルノミニ要スルニ調査委員ハ公民住民ヲ以テ十分満足ナル修正トハ思ハサレトモ尙ホ原案ヨリハ優レリト信スルニ因リ原案修正案ノ文字以外ニ好文字ヲ求メラレンコトヲ望ム

○三十五番 津田 眞道

只今ノ問題即チ公民住民ヲ原案ノ通り住民屬民ニ復セントスル修正ハ重モニ第七條ノ公民ノ文字ヲ穩當ナラストスル所ニ原因シ居ルカ如シ如何サマ公民ノ文字ハ耳新シキ故ニ左様ナル感觸アルモ無理ナラ子トモ此ノ如キ法律ヲ作爲シテ普通ノ人民ヨリ一層重キ權利ヲ持チタル人民ナルコトヲ見ハスニハ新シキ文字ヲ用フルモ蓋シ已ムヲ得サルナリ本官曾テ古キ譯文ニ就キ公權ヲ有シ選舉ノ事ニモ與カル權利



ヲ有スル人民即チ本案ニ公民ト譯セシ原語ヲ詩經ニ所謂彼都人士ノ意味ニ解シテ都人士ト譯シタルヲ見タリ左レハ歐米各國ニ於テモ公權ヲ有スル人民ニ美稱ヲ與ヘテ普通ノ人民ト區別シ在ルハ固ヨリ論ヲ竣タス我日本ニ於テモ新ニ此制度ヲ定ムルニ當リ全國ノ人民ニ代テ法律ヲ議スルトカ又ハ政治ヲ議スルトカ云フ者ニ美稱ヲ與ヘテ公民ト稱スルハ甚タ適當ノコトニシテ決シテ訝シキ譯ニハ非サラン尤モ公ト民トヲ別ケテ考フレハ少シク不穩當ナルニ似タレトモ之ヲ別々ニ見スシテ公ナル民ト見レハ敢テ訝シキコトハ無カラシ密ニ訝シカラサルノミナラス尙ホ一層進ンテ公士ト言フモ可ナリ畢竟是迄ニ未ダ曾テ有ラサル公權ヲ有シタル民ト言フ意味ヲ見ハス爲ナレハ新ニ公民ノ文字ヲ出スモ決シテ差支ナシト信スルナリ然シ論者カ分ラヌト言ハルハ以上ハ或ハ分ラヌヤモ測リ難ケレトモ若シ此公民ノ文字ヲ分ラヌト言フトキハ第十二條ノ法人ハ尙更分ラヌト言ハサルヲ得ス約リ新法ヲ立ツルニ當テ新文字ヲ用フルハ已ムヲ得サルコトナレハ本官ハ却テ付託調査委員ノ改メラレタル修正ヲ以テ宜シキヲ得タルモノト考フ既ニ八番ノ論スル通り住民ト言ヘハ婦女子モ住民寄留者モ住民ニシテ他日治外法權ヲ撤去シ外國人ノ來住スル者アレハ外國人モ亦住民ナルニ相違ナシ又屬民トハ何府縣貫屬ノ屬ヨリ來リシヤモ知ル可ラサレトモ斯ル狹キ文字ヲ用ヒンヨリモ寧ロ意味ノ廣キ住民ノ文字ヲ用フル方宜シカラシ故ニ本官ハ現問題ニ同意スルコトハ出來サルナリ諸起立ノ序ニ一寸内閣委員ニ質問セン本條ノ但書ニ民法上特別ノ權利及義務ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラスト有リ是ハ何レ民法上ニ特別ノ權利義務ヲ制定セラルハナ

ランモ本官ハ其所謂特別ノ權利義務ハ如何ナル權利義務ナルヤ一寸考ヘ當ラサレハ一應内閣委員ノ辯明ヲ請フ

○外番二番<sup>水野</sup> 三十五番ノ質問ニ答ヘン本條ノ但書ハ公共ノ營造物并ニ町村有財産ヲ使用スル權利ノ例外ヲ示ス爲ニシテ一口ニ言ヘハ此法律ハ素ト公法ナレハ民法上ノ契約ハ此限ニ在ラストノ意ヲ明ニスルノミ若シ此但書ヲ附セサレハ民法上ノ契約ニテ公共ノ營造物并ニ町村有財産ヲ使用スル者アルニ拘ラス其町村住民ニ於テモ之ヲ使用スルノ權利ヲ有スル如キ看ヲ成シ忽チ公法ト民法ト矛盾ヲ來スノ恐レ有リ故ニ此但書ヲ附シテ公法ト民法トノ區別ヲ明瞭ニセリ

○三十五番<sup>津田</sup> 番外ノ説明ヲ得テ但書ヲ加ヘタル意味ハ領會スルコトヲ得タレモ尙ホ少シク冰解セサル所アリ其ハ他ノ事ニモ非ス番外ハ民法上ノ契約ハ此限ニ在ラスト言フ意味ニテ説明サレシカ單ニ民法上ノ契約ト言ヘハ民法上普通ノ契約ニシテ特別ノ契約トハ見做シ難カラシ然ルニ本條ニハ殊更ニ民法上特別ノ權利義務云々ト載セタレハ是ハ所謂普通ノ契約ニハ非スシテ民法上ニ於テモ一種特別ノ契約ヲ指スナラント想像ス又本條ノ明文ニ據レハ本案ハ公法ニモセヨ此公法ヲ以テ民法上ニ於ケル特別ノ權利義務ヲ打消スコトハ出來サル様ニ見ユレトモ全體本官ノ考フル所ニテハ縱令民法上ニ於テ如何ナル權利義務ヲ有スルトモ特別ノ國法即チ公法ノ力ヲ以テ其レヲ打消スコトヲ得ルハ當然ニシテ苟モ公法ニ屬スル者ヲ民法ノ力ニテ打消スコトハ出來サル筈ナリト思ハル然シ是ハ隨分大切ノ事柄ナルニ依リ公法ヲ以テ漫ニ民法上特別ノ權利義務ヲ